

ハ七百萬「フランク」アリ千八百五十九年ニ於テ羊毛ノ輸入税ハ七百五十萬「フランク」ニシテ輸出ノ爲メニ拂戻シタルハ六百萬「フランク」ニ達セリ由是觀之ハ其粗生品ニ課スル所ノ租稅收入高ト拂戻高ノ差ハ微々タル者ト云フヘシ其微々タル收入ヲ得ント欲シテ貿易上ニ非常ノ不便ヲ與ヘ内國一般羊毛ノ價ヲ増加セリ甚キニ至テハ毛織物輸出ノ拂戻シ高ハ羊毛ノ輸入稅收入高ニ超過シタルコアリ

貿易條約ノ後千八百六十一年ニ於テ關稅ノ收入高ハ鹽稅ヲ除キ一億三千五百萬「フランク」ニシテ其一億二千六百萬「フランク」ヲ輸入稅トナス而シテ輸出恩賜金及拂戻シノ高ハ二千三百萬「フランク」ニ過キサリシヲ以テ關稅ノ純收入總額ハ一億千二百萬「フランク」ニシテ千八百五十九年ノ收入高一億五千萬「フランク」ニ比スレハ實ニ三千八百萬「フランク」ノ減少ナリ其減少シタル所以ハ一ニ咖啡及砂糖ノ輸入稅ノ減少ニ由ル千八百六十二年ニハ關稅ノ總收入ハ一億五千九百萬「フランク」内輸入稅ノ收入高一億五千二百萬「フランク」ニシテ恩賜金四千萬「フランク」ヲ減シ純收入一億二千萬「フランク」アリ千八百六十

九年ニハ其收入高一億二千二百萬「フランク」ニシテ輸入稅ノ收入ハ一億二千萬「フランク」アリ此年佛國ハ粗生品ノ輸入稅ヲ廢シ拂戻シノ法ヲ改メ暫時輸入免許ノ法ヲ以テ之ニ代ヘタルヲ以テ又扣除スヘキ者ナシ

由是觀之ハ千八百六十年ノ改正以前ニアリテハ最大ノ收入ヲ得タルハ一億五千萬「フランク」ニシテ改正以後ハ九年ノ後ニシテ一億二千二百萬「フランク」ヲ以テ最大額トナス然ルニ其差違アル者ハ重ニ砂糖稅咖啡稅ノ減少ニ由レリ右ノ租稅減少ハ貿易改正ト同時ニ舉行セリト雖モ當時此輕減ヲ行ハサルモ貿易改正ノ經濟上ノ效驗ヲ減スルコトナカルヘシ加之ス千八百五十九年ヨリ千八百六十九年ニ至ル迄ノ間大ニ稅關官吏ノ數ヲ減シタルヲ以テ關稅ノ徵收費ハ凡ソ一千萬「フランク」ヲ減セリ是等ノ實況ヲ斟酌シテ之ヲ見レハ關稅ノ眞ノ純收入高ハ改正後數年ニシテ改正以前ノ額ニ復セリト云フヘシ然ラハ則チ政府ハ其收入ニ於テ損スル所ナクシテ商業上ニ大利ヲ得タル者ナリ其減少セシ租稅ノ額ハ左ノ如シ

生綿

一九〇〇〇、〇〇〇「フランク」

羊毛	七、五〇〇、〇〇〇 フランク
油種	一、二〇〇、〇〇〇 フランク
穀物	八〇〇、〇〇〇 フランク
藍	六〇〇、〇〇〇 フランク
麻	六〇〇、〇〇〇 フランク
生皮	五〇〇、〇〇〇 フランク
合計	三〇、二〇〇、〇〇〇 フランク

右収入額ノ一部分ハ輸出ノ時拂戻シヲナセシ者ナリ凡ソ營業ニ便ヲ與フルハ租稅ヲ廢スルノ效ハ却テ小ニシテ寧ロ種々ノ煩文ヲ去リ輸入ノ際租稅ヲ徵收シ輸出ノ際拂戻シヲナスカ爲メニ取引ノ遲滯ヲ生セシメサルノ便ヲ以テ大ナリトス

之ヲ歐洲諸國ノ實驗ニ徵スルニ大ニ經濟上ノ不便ヲ生セシテ關稅ノ收入ニ巨額ヲ得ヘキ者ハ植民地ノ物産ト稱スル所ノ外國品ニ課スル者是ナリ之ニ反シテ内地ニ於テ均ク生産スル所ノ外國産ノ粗生品若クハ農産品若クハ

製造品ニ課スル所ノ租稅ハ收入ノ少ナキ工業商業ノ負擔ヲ重フシ内國ノ物價ヲ騰貴スルノ三失アリ

保護制度ノ盛ナル時千八百五十年ニ於テ植民地ノ生産品ニ課シタル輸入稅ノ收入ハ砂糖稅ヲ合セテ七千六百七十一「フランク」アリ同年内地ニ於テ均ク生産スル所ノ農産品ノ輸入稅ハ三千二百四十二萬「フランク」製造品ノ輸入稅ハ二千五十七萬六百二十八「フランク」ニシテ此二種ノ租稅ヲ合スモ尙ホ植民地産品ノ輸入稅收入高ノ三分ノ二ニ過カサルナリ（オーヂフレ―侯著「レシステム、フイナンシエ、デラ、フランス」第一卷二百八葉ニ於テ千八百五十年ノ關稅收入表ヲ見ルヘシ）

千八百七十年千八百七十一年ノ國難後佛國ノ關稅中製造品ノ輸入稅ハ變動ナキモ植民地産品ノ輸入稅ハ大ニ増加セリ千八百七十三年ニ於テ佛國關稅ノ收入高ハ二億五千七百十九萬三千七百九十三「フランク」ニシテ稅關ニ於テ徵收スル所ノ鹽稅ノ收入二千五百九十二萬四千五百五十九「フランク」ヲ減スレハ眞ノ關稅收入高ハ二億三千二百三十六萬九千二百三十四「フランク」トナル

之ヲ分テ五項トナス第一雜納即チ罰金印紙稅等ノ收入高二百八十五萬二千
 八十三「フランク」第二航海稅ノ收入高四百四十二萬九百五十七「フランク」第三
 從數稅即チ國境ヲ出入スル所ノ荷物ニ每箇十「サンチム」ヲ課スル租稅ノ收
 入高五百五十萬六十四「フランク」第四輸出稅ノ收入高三十四萬二千百十七「フ
 ランク」第五輸入稅ノ收入高二億千八百十五萬四千十三「フランク」是ナリ近年
 或ハ以爲ラク輸入稅ヲ以テ千八百七十三年ノ收入高ヨリ多キ「五六千萬」フ
 ランク「若クハ八千萬」フランク「ヲ徵收スル」ヲ敢テ大ニ内國ノ營業ヲ害セサル
 ヘシト是レ實際ヲ知ラサルノ說ニシテ思ハサルノ甚キ者ト云フヘシ右ノ如
 キ巨額ヲ得ント欲セハ粗生品ニ稅スルノ外他ニ得ル所ナカルヘシ然ル時ハ
 大ニ佛國營業ノ發達ヲ妨ケ之ヲシテ外國ノ競争ニ當ル「能ハサラシムル」ニ
 至ルヘシ

若シ右ノ輸入稅二億千八百萬「フランク」ヲ區分セハ其大部分ハ僅々數種ノ物
 品ニ課スル者ニシテ實ニ輸入稅全額四分ノ三以上ハ僅ニ六品ノ輸入稅ニア
 ルヲ見ルヘシ千八百七十三年度ノ收入ニ於ル六品ノ輸入稅ハ左ノ如シ

第一	咖啡	六七、六〇〇、〇〇〇フランク
第二	殖民地產ノ砂糖	三七、五〇〇、〇〇〇フランク
第三	外國產ノ砂糖	三一、九〇〇、〇〇〇フランク
第四	油及石油	一二、四〇〇、〇〇〇フランク
第五	石炭及木炭	九、〇〇〇、〇〇〇フランク
第六	椰子	七、四〇〇、〇〇〇フランク
合計		一六五、八〇〇、〇〇〇フランク

右六品ノ輸入稅額ヲ扣除スル時ハ千八百七十三年ノ輸入稅ハ僅ニ五千二百
 四十萬「フランク」ニ過キサルナリ其五千二百四十萬「フランク」ハ米、麥、胡椒「ピ
 マン」等ノ如キ食品ニ課シタル者ヲ多シトス製造品ノ輸入稅ハ甚々重ク八分
 乃至一割五分ニシテ鐵ノ如キハ三割ニ達スト雖モ千八百七十三年ニ於テ其
 收入高ハ僅ニ二千二百萬「フランク」ニ過キス即チ之ヲ細別スレハ

木綿織物	六、一〇〇、〇〇〇フランク
毛織物	五、九〇〇、〇〇〇フランク

木綿糸	二、六〇〇、〇〇〇フランク
機械	一、八〇〇、〇〇〇フランク
麻織物	一、三〇〇、〇〇〇フランク
工具	一、〇〇〇、〇〇〇フランク
鋼鐵	六〇〇、〇〇〇フランク
麻糸	四〇〇、〇〇〇フランク
絹糸	三〇〇、〇〇〇フランク
生皮	一〇〇、〇〇〇フランク
雜製造品	一、八九一、〇〇〇フランク

千八百七十五年四月二十四日刊行「レコノミスト」フランセ「新聞」ヲ見ルヘシ

千八百七十七年佛國關稅ノ收入高ハ鹽稅ヲ除キ二億七千三百萬フランク千八百七十八年即チ萬國博覽會ノ年ニ於テハ二億八千九百萬フランクニ達セリ

由是觀之ハ佛國ニ於テハ大ニ製造品ノ輸入稅ヲ減スト雖モ著ルシク政府ノ收入ヲ減セサルヲ知ルヘシ加之ス全ク其輸入稅ヲ廢スルモ全体ノ收入ニ於テハ自然ノ增加高ヲ以テ其不足ヲ補フヲ得ヘシ

尤モ千八百七十七年千八百七十八年ニ於テハ製造品ノ輸入増加セシヲ以テ其輸入稅モ亦増加シ凡ソ三千萬フランク乃至三千二百萬フランクノ收入ニ達セシナルヘシト雖モ是レ未タ以テ巨額ト云フヘカラス宜ク漸次外國製造品ノ輸入稅ヲ輕減シ平均五分ノ稅率ニ至ラシムヘシ

開明ノ進度已ニ佛國ノ如キニ至リシ者ハ重ニ富民ノ消費ニ供スル所ノ植民地產品ニ課スルニ重稅ヲ以テスヘシ例ヘハ咖啡ニ重稅ヲ課スルモ敢テ妨ル所ナシ如何トナレハ佛國ニ於テハ葡萄酒、林檎酒ヲ以テ普通一般ノ飲料トシ咖啡ハ上等ノ飲料ナルヲ以テナリ砂糖モ亦非常ノ高度ニ達セサレハ稍々重稅ヲ課スルモ大ニ難スヘキ者ナキカ如何トナレハ砂糖ハ已ニ前篇ニ陳述セルカ如ク消費ノ多少ハ最モ能ク財力ニ應ジテ比例スル所ノ者ナレハナリ其他椰子、茶、胡椒、ビーマンノ如キモ亦關稅ヲ課スルニ適スル者ト云フヘシ

方今諸國ノ政府皆巨額ノ國債ヲ負ヒ巨萬ノ軍隊ヲ備ルヲ以テ關稅ノ法決シテ廢スルヲ得ス右ニ枚舉スル所ノ諸品ノ如キハ關稅ノ中最モ害ナクシテ之ヲ課スルニ最良ナル者ト云フヘシ

之ニ反シテ五穀菓物ノ如キ農産品若クハ普通ノ食品トナル者ニ關稅ヲ課スルハ大ニ厭フヘキ者アリ斯ノ如キ物品ニ輸入稅ヲ課スル時ハ一般食料ノ價ヲ騰貴シ人民カ拂フ所ノ者ハ遙ニ政府カ得ル所ニ超エ僅々タル收入ヲ收ルカ爲メニ漫ニ關稅ノ規則ヲ縝密ニシ又大ニ取引ノ活動ヲ妨クヘシ五穀ノ稅ハ假令僅少ナリト雖モ麥粉干温飽等ノ輸出ヲ妨クヘク石炭石油眞鍮鉄材木染料生皮ノ如キ粗生品ノ輸入稅モ亦然リ宜ク他ノ物品生産ニ用フル所ノ物品ハ一切輸入稅ヲ課スヘカラス又製造品ノ稅ニ至テハ其收入甚々微々タル者ニシテ財政上ノ點ヨリシテ之ヲ見レハ實ニ徵收スルニ足ラサル所ノ者タリ今ヨリ宜ク漸次諸製造ニ用フル粗生品及眞鍮鉄鋼鐵機械工具生皮材木ノ如キハ全ク其輸入稅ヲ廢スルヲカムヘシト度之カ改正ニ着手セハ宜ク糸及織物ノ租稅ヲ減シテ四分乃至五分トナスヘシ然ル時ハ關稅ノ稅率ハ此ニ

於テ全ク保護稅ノ性質ヲ失ヒ純然タル國餉稅トナラン而シテ同時ニ又内國租稅ノ法ヲ改正シ一切ノ營業ヲシテ外國ノ競争ニ當ルニ容易ナラシムルヲカムヘシ

關稅ノ中最小ノ租稅ニシテ往々最大ノ不便ヲ生スル者アリ是故ニ簡單ノ方法ヲ求ムルヲカメサルヘカラス千八百七十年及ヒ千八百七十一年以後ノ設置ニ係ル所ノ租稅ニシテ其外觀ハ甚々輕稅ノ如クニシテ實際輸出ニ最大ノ害ヲ與フル者ヲ從數稅トナス從數稅ノ收入高ハ僅カニ六百萬フランクニ過カサル者ナリ之ヲ發議セシ所ノ大藏卿ハ斷言シテ曰ク諸君國境ニ入ルヤ其荷物ニ十「サンチーム」ノ稅ヲ拂フモ其僅少ナル或ハ知ラスシテ經過スヘシト蓋シ一二ノ荷物ニ於テハ其レ或ハ然ラン然ト雖モ巨量ノ商品ヲ出入スルニ至テハ決シテ然ラス該稅ハ藍一箱絹一捆ニ課スル時ハ實ニ微小ナリト雖モ價格ノ小ナル商品ニアリテハ頗ル重稅ニシテ時トシテハ禁制稅タラサルヘカラス例ヘハ或ル藥品ノ價一箱二十「フランク」ナル者アリ之ニ十「サンチーム」ノ租稅ハ千分ノ五ニ當ル又西班牙葡萄牙ノ内部ヘ送ル所ノ「サンダル」一包ハ

量目六十「キログラム」ニシテ其價十「フランク」ナリ之ニ輸出ノ時十「サンチーム」ノ稅ヲ課スルハ輸入ノ從數稅ヲ問ハスシテ百分ノ一ニ當ル斯ノ如キノ類甚々多ク枚舉ニ暇マアラヌ此無用ナル十「サンチーム」ノ從數稅ノ爲メニ或ル藥品製造所ニ於テハ毎年八千「フランク」ヲ拂フト云フ右ノ稅額ヲ以テ外國ノ消費者ニ負擔セシメント欲スルモ到底能クスヘキニアラス全ク製造家ノ負擔スル者ナリ該稅ハ輕少ナリト稱スレトモ其實甚々重稅ニシテ外國へ輸出ヲナス者ハ之ヲ拂ハサルヘカラス佛國ノ内地用ニ供スル者ハ其輸入ニ拂ヒタル從數稅ハ佛國ノ消費者ヲシテ之ヲ拂ハシムルヲ以テ毫モ之ヲ負擔セス豈ニ不公平ノ租稅ニアラスヤ或ハ云フ輸出品ノ製造者ハ其價ヲ騰貴シテ償ヲ外國人ニ得ヘシト是レ過テ爾ノ甚シキ者ト云フヘシ如何トナレハ購買者ハ低價ニ就クヲ以テ若シ佛國製造品ノ價獨リ騰貴スル時ハ外國ノ商賈ハ寧ロ物品ヲ英國若クハ米國ニ求ムヘシ故ニ佛國ノ製造者ハ其從數稅ヲ負擔セサルヘカラス從テ外國製造者ト競争スルニ當リ其困難ヲ增加ス從數稅ノ收入高ハ僅ニ五百萬乃至六百萬「フランク」ニシテ輸出品ノ製産者ノ負擔トナル

重ク大ニ外國ノ經過ヲ妨ケ殆ト之ヲ停止セントス元來佛國ニ於テ從數稅ヲ行フハ其不條理ニシテ有害ナルト他ノ諸國ニ於テスルヨリ甚シ如何トナレハ佛國ノ輸出品ハ重ニ小品ニシテ荷物ノ嵩甚々小ナル者多ケレハナリ而シテ其嵩ノ大ナル者ニ至テハ又其價格ノ小ナル此ニ引證シタル藥品ノ如キ者少ナカラス

佛國ニ於テ被稅品ヲ減シテ重ニ植民地ノ生産品ニ課スル者トシ製造品ノ租稅ヲ減シテ四分乃至五分トナスモ政府ハ尙ホ關稅ノ收入トシテ凡ソ二億「フランク」ヲ得ヘシ英國ノ關稅法改革ヲ行フヤ慎重精巧ニシテ能ク其歲入ヲ減セス次ヲ逐フテ之ヲ六成セリ往年英國關稅法ノ煩雜縳密ナリシトハ尙ホ佛國ノ千八百六十年前ニ於ルカ如シ然ルニ今日ニアリテハ其輸入稅ヲ課スル所ノ重要ナル者ハ僅ニ六種ニ過キスシテ其他微々タル者凡ソ十二種アリト雖モ久シカラスシテ之ヲ廢スルニ至ルヤ疑ヲ容レサルナリ

英國ニ於テハ四十年以來年トシテ關稅ヲ減シ或ハ之ヲ廢セサルハナシ二三十年前ニ於テハ關稅ノ收入高六億乃至七億「フランク」ニ達セリト雖モ方今ハ

五億乃至五億一千萬フランクニ下レリ然ト雖モ其之カ爲メニ得タル所ノ利益ヲ算スレハ千八百六十年若クハ千八百五十年ト千八百七十七年ノ關稅收入高ノ差違ヲ償フニ餘アリト云フヘシ加之ス英國ニ於テ若シ關稅ノ收入高ヲ增加セント欲セハ既ニ廢シタル無數ノ輸入稅ヲ再置セサルモ砂糖茶及ヒ咖啡ノ稅ヲ以テ二十年前ノ稅率ニ復セハ三億フランク餘ノ收入ヲ増加スルニ足ラン近年英國ハ全ク砂糖ノ輸入稅ヲ廢シ大ニ茶ノ稅ヲ減セリ是等ノ二品ハ英國ニ於テハ普通ノ消費物ニシテ中等以下細民ニ至ル迄盛ニ需要スル所ノ者ナレハナリ

千八百七十六年度英國關稅ノ收入高ハ四億九千七百萬フランク(千九百八十九萬六千三百八十六ポンド)ニ達セリ之ヲ細別スレハ左ノ如シ

- 茶稅 九三、〇〇〇、〇〇〇フランク(三、七二三、一四七ポンド)
- 咖啡稅 五、〇〇〇、〇〇〇フランク(二〇〇、四一八ポンド)
- 火酒稅 一四五、〇〇〇、〇〇〇フランク(五、七六九、二五二ポンド)
- 葡萄酒稅 四四、〇〇〇、〇〇〇フランク(一、七三八、五五五ポンド)

烟草稅 一九四、〇〇〇、〇〇〇フランク(七、七七五、五七五ポンド)

諸品稅 一六、二五〇、〇〇〇フランク(六四八、一三九ポンド)

雜收入 一、〇〇〇、〇〇〇フランク(四一、三〇〇ポンド)

由是觀之ハ諸品ノ稅ヲ廢スルモ英國關稅ノ收入ハ尙ホ四億八千萬フランクヲ得ヘシ

茶、蒸酒、葡萄酒、烟草ハ佛國ノ關稅收入ニ巨額ヲ表ハスヘキ者ニアラス如何トナレハ茶ハ佛國人民ノ常用品ニアラス蒸酒葡萄酒ハ多ク内地ニ於テ生産シ輸入スル者甚々少ク烟草ハ政府ノ特占スル所ニシテ内地稅ヲ以テ之ヲ徵收スレハナリ然レトモ砂糖、椰子、咖啡ノ消費ハ英國ヨリ多キヲ以テ他ノ植民地產物ノ輸入稅ヲ合セテ佛國ノ關稅收入高ハ二億フランクニ達スルヲ得ヘシ殊ニ或ル製造品ニ課スルニ四分乃至五分ノ輸入稅ヲ以テ右ノ收入額ヲ得ルハ敢テ難キニアラサルヘシ

余輩ハ前篇ニ於テ關稅ノ徵收費ヲ論セリ(第四篇ヲ参照スヘシ)佛國ノ關稅徵收費ハ甚々大ナリ然ト雖モ關稅ノ事タル内地ノ間稅ト相連結シテ離ルヘカ

ラサルヲ以テ單立シテ關稅ヲ論スヘカラス必スヤ二稅ノ徵收費ヲ合セテ二稅ノ合計收入高ニ對比スルニアラサレハ徵收費ノ收入高ニ於ル精密ノ比例ヲ知ルヲ得ス千八百七十五年佛國ノ關稅收入高ハ二億六千七百萬フランクニシテ其徵收費ハ三千二十四萬フランク即チ一割一分ト八分ノ五ニ當ルレオンゼー氏ノ報告ニ據レハ收入高百フランクニ付テノ徵收費ハ千八百六十年以來大ニ減少セリ該報告ノ表ハ則チ左ノ如シ

關稅收入高百フランクニ付徵收費ノ割合

年代	徵收費
千八百六十年	二五フランク
千八百六十一年	二三フランク四分ノ一
千八百六十二年	二二フランク二分ノ一
千八百六十三年	二三フランク二分ノ一
千八百六十四年	二三フランク四分ノ一
千八百六十五年	二〇フランク四分ノ三

千八百六十六年 一九フランク二分ノ一
 千八百六十七年 一八フランク四分ノ三
 千八百六十八年 一九フランク
 千八百六十九年 一九フランク三分ノ一
 千八百七十年 一八フランク三分ノ一
 千八百七十一年 一五フランク二分ノ一
 千八百七十二年 一六フランク二分ノ一
 千八百七十三年 一一フランク八分ノ五

表中末年ニ至リ大ニ徵收費ノ比例ヲ減シタルハ戰爭後大ニ植民地產ノ物品ノ輸入稅ヲ増加セシニ由ル
 左ノ表ハ均クレオンゼー氏ノ報告ニ據ル者ニシテ大ニ佛國關稅法ノ進歩ヲ見ルニ足ル

佛國關稅官吏員數

年代 官吏員數

千八百五十八年	二七、七九一八
千八百五十九年	二七、八五一八
千八百六十年	二九、四三八八
千八百六十一年	二八、〇七六八
千八百六十二年	二八、〇八四八
千八百六十三年	二七、七七一一
千八百六十四年	二六、七五八八
千八百六十五年	二五、九八二八
千八百六十六年	二二、八〇九八
千八百六十七年	二二、〇八四八
千八百六十八年	二二、〇七三八
千八百六十九年	二二、〇八四八
千八百七十年	二二、一六五八
千八百七十一年	二二、一五六八

千八百七十二年	二二、九三二八
千八百七十三年	二二、九二四八
千八百七十四年	二二、九〇二八
千八百七十五年	二二、九二四八

右ノ表ニ由テ之ヲ見レハ千八百六十年ヨリ千八百六十九年ニ至ル迄ノ間税關官吏ノ數ヲ減スルコト七千三百五十四人ノ多キニ及ヘリ千八百六十九年以後復タ八百四十人ヲ増加セリ此増加ヲナシタルハ或ル租税ヲ増加セシカ爲メニ密賣ノ弊盛ニ起リ之カ監察ヲ嚴ニスルコトノ必要ナルニ至リシニ由ル然レトモ千八百六十年ニ比スレハ税關官吏ノ數ハ實ニ六千五百十四人ヲ減セリ故ニ該改正ハ六千乃至七千人ノ被役者ヲシテ農業若クハ工業等有益ナル事業ニ從事セシムルニ至リシ者ニシテ經濟上貿易上ノ改正ヲ兼ル者ト云フヘシ若シ尙ホ一層關稅ノ法ヲ簡單ニシ微々タル小稅ヲ廢シ年ヲ經テ遂ニ製造品ノ稅ヲ廢スルニ至ラハ尙ホ三千乃至四千人ノ官吏ヲ減スルヲ得ヘシ然ル時ハ千八百六十年以前ニ於テハ毫モ生産ニ從事セサリシ所ノ一萬ノ壯士

ヲシテ生産ニ從事セシムルニ至ル者ナリ豈ニ國家ノ大利ナラスヤ
 凡ソ關稅ノ情況ヲ詳カニセント欲セハ必ス商賈及邊境ノ民ヲシテ如何ナル
 規則ニ復セシムルヤ殊ニ稅法繞密ニシテ夥多ノ物品ニ稅スル時ハヲ研究セ
 サルヘカラス元來租稅ハ其種類ノ如何ヲ問ハス多少人民ノ自由ヲ牽制スル
 所ノ者ナリ直稅ト雖モ若シ不平均ナカラシメント欲セハ尙ホ此患ヲ免レサ
 ル者トス然ト雖モ租稅ノ種類ニ由リ查察煩苛專制ノ度ニ輕重大小アリ
 關稅徵收ノ法ハ諸國皆頗ル嚴刻ナル者ニシテ千八百六十年以前ニアリテハ
 佛國ヲ以テ最トナス爾後稅率漸ク減シ稅法漸ク簡ナルニ從テ徵收ノ法漸ク
 寬ナリ然レトモ稅關アレハ法規ナカルヘカラス關稅ノ法ハ常ニ煩キヲ免レ
 サル者ニシテ從テ物品ノ輸出入ヲ抑制シ又邊境區畫内ノ人民ノ自由ヲ抑制
 スルハ止ヲ得サル者ニシテ其有スル所ノ權利ハ遙ニ内地ノ人民ニ及ハサル
 所アリ

一國ノ周圍ヲ環繞スルハ一市街ヲ圍ムカ如キ者ニアラサルナリ若シ天嶮ノ
 境界ヲ限ルナケレハ官吏ヲ派出シテ之ヲ監視セシムルモ竊カニ其界線ヲ超

ユルコト豈ニ難シトセンヤ之ヲ以テ佛國ニ於テハ稅關ノ徵稅ヲ免ル者ナカラ
 シムルカ爲メニ邊境ニ添フ所ノ地方ニ區畫ヲ置キ區内人民ノ舉動ヲ抑制シ
 甚キハ其自由ヲ妨ルコト少ナカラス其區畫陸地方ニ於テハ國境線ヨリ内部ニ
 向テ二十「キロメートル」ニ至ル迄トナシ或ハ地勢ニ依リ二十五「キロメートル」
 ニ至ル迄トナス海岸及江河堀割ノ海ニ通シテ内部ノ港ニ達スル者ハ岸ニ沿
 フテ十「キロメートル」以内ヲ邊境區畫トナス故ニ陸地方ノ邊境區畫ハ遙ニ大
 ニシテ住民ヲ束縛牽制スル所ノ規則モ亦陸地方ニ於テハ遙ニ嚴ナリ然ラハ
 則チ島嶼ニ於テハ關稅ノ法大陸國ノ如ク煩ハシカラサルヲ知ルヘシ
 陸地ノ邊境ニ於テハ稅關ヲ二處ニ置ク一ハ國境ニ接シテ之ヲ設ケ一ハ退テ
 邊境區畫ノ界ニ置ク之ニ反シテ海邊境ニ於テハ只一重ノ稅關アルノミ是等
 ノ稅關ハ皆稅率ヲ賦シ徵收規則ヲ行フ所トナス加之ス内部ノ大都府ニ於テ
 往々稅關ノ局ヲ置キ稅關ノ封印ヲ受テ外國ヨリ直チニ商品ヲ該局ヘ送ルコ
 ト得セシム

邊境區畫内殊ニ陸邊境區畫内ノ人民ハ常ニ政府ノ疑フ所トナリ法律上是等

ノ人民ハ密賣買者若クハ密賣買ニ誘引セラレヘキ者ト見做シテ處置スル者トス故ニ如何ナル場合ニ於テモ証書ヲ携帯セサル所ノ物品ハ兩稅關ノ間ヲ經過スルヲ得ス之ヲ犯ス者ハ物品ヲ取押ヘテ官ニ沒入シ而シテ罰金ヲ附加ス其証書トハ已ニ租稅ヲ仕拂ヒタル場合ニ於テハ其請取証ヲ以テシ稅關ノ倉庫入り若クハ單ニ經過ノ場合ノ如キハ免許ノ証狀ヲ以テシ若クハ無稅品ナレハ通行免狀ヲ以テス若シ物品ノ出處届先キ品位量目多寡運搬時限ヲ示ス所ノ証書ヲ携帯セサル商品ハ一切密賣品ヲ以テ之ヲ處ス該地方ニ於テ右ノ証書ヲ要セサル者ハ只食品及指定シタル農間ノ生産物(魚類、麵麥、葡萄酒、林檎酒、麥酒、獸肉、家禽、獲物、牛酪、野菜)ヲ以テ市府ノ市日若クハ市場ニ輸送スル者及邊境地方ニ於テ自家用ノ爲メ織物及他ノ消費物ヲ購求シテ白晝ニ我家ニ送達スル者ニ限ル但シ自家用ノ分ハ制限アリテ毛織物ハ五メートル絹木綿其他ノ織物ハ八メートル砂糖咖啡ノ如キハ三キログラム以上ヲ過ルヲ得ス其規則ノ無益ニシテ有害ナルハ辨ヲ待タサルヘシ海岸ノ邊境區畫ニ於テハ其規則遙ニ寬ニシテ晝間ハ官府ノ証書ナキモ一切ノ商品ヲ搬運スルヲ得

夜中ハ織物、木綿糸、鹽魚、烟草、植民地ノ產品ヲ搬運スルヲ禁ス之ヲ犯ス者ハ物品ヲ官ニ沒シ五百フランクノ罰金ヲ附加ス陸邊境區畫ニ於テハ人民ノ自由ヲ束縛スルヲ此ニ止マラス其市邑ニ於テ人口二千ニ足ラサル者ハ輸出稅ヲ課スルカ若クハ輸出ヲ禁スルカ又ハ百キログラムニ付二十フランク以上ノ輸入稅ヲ課スル所ノ製造品若クハ一切ノ商品ヲ藏スヘキ倉庫ヲ築クヲ許サス是等ノ規則ヲ犯ス者ハ物品ヲ官ニ沒シ百フランクノ罰金ヲ附加ス又右ノ如キ市邑ニ於テハ商人ハ其店ニ備ル所ノ商品ヲ以テ稅關ノ帳簿ニ記載ス都テ陸邊境ニ於テハ器械所製造所ヲ府外ニ起サント欲セハ特別ノ許可ヲ得サルヘカラス而シテ政府ニ於テ右ノ製造所カ密賣買ノ便ヲナシタル証跡ヲ發見スル時他處ヘ移轉ヲ命スルヲ得ル者トス又國境ヨリ二キロメートル半以内ニアル所ノ水車風車ハ其密賣買ヲ助クトノ報告アル時ハ單ニ其報告ニ基キテ之ヲ閉業セシムルヲ得ル者トス而シテ稅關線ヲ經過スルヲ得ヘキハ特ニ晝間ニ於テ官道ヨリシ稅關ニ申告シタル者ノミ

海岸ノ邊境區畫ニ於テハ右ニ述ルカ如キ規則ナシト雖モ海岸ヲ去ルコト四リ
一グ以内ハ稅關ノ所轄内ニシテ此處ニ碇泊スル所ノ船舶ハ特別ノ規則ニ從
フコトヲ要スルモノトス

邊境地方ノ人民ノ自由ヲ束縛スルコト大率斯ノ如シ今ヨリ有稅品無稅品ノ別
ナク輸出入品ノ履行スヘキ規式ヲ示サン其規式タル甚タ繞密ニシテ一般ノ
輸出入ニ行フヘキ者アリ物品ニ應シテ特別ノ規則アリ又陸路ノ輸出海路ノ
輸出ニ由テ規則ヲ異ニスルモノアリ其一般普通ノ規則ハ左ノ如シ

海陸ヲ問ハス一切輸出輸入スル所ノ商品ハ其有稅無稅ノ別ナク皆必ス商品
ノ品位輕重大小多寡出處等ヲ以テ稅關ノ第一課ニ申告ス此ニ於テ稅關ハ瀛
車長若クハ船長立會ノ上其荷物ヲ檢査シ若シ有稅品ナレハ稅ヲ收ム若シ檢
査ノ上物品ノ量目等其申告ニ超ユルコト金屬ハ二十分ノ一其他ノ商品ハ十分
ノ一二至ル時ハ其超過シタル分ニ一倍ノ稅ヲ課ス包數若クハ箱數ノ超過シ
タル者ハ悉ク官ニ沒シ申告者ニ百フランクノ罰金ヲ課ス若シ其出處種類品
位若クハ價格ニ付稅關カ申告者ノ申告ニ異見ヲ抱ク時ハ出處種類品位ニ付

鑒定ヲナサシムルカ爲メ商務省ニ於テ鑒定人三名ヲ撰ヒ諮詢ノ爲メ商人若
クハ製造家二名ヲ以テ之レカ副トス若シ其申告ノ詐ナルヲ証定スル時ハ其
物品ヲ官ニ沒シ罰金ヲ附加ス然レトモ審査ノ上申告シタル價格ノ當然ナル
時ハ其物品ヲ稅關ニ留メ其申告價ニ加フルニ尙ホ十分一ノ代價ヲ拂フ者ト
ス之ヲ稱シテ「プレエムプシオン」ト云フ千八百四十八年以前ハ稅關官吏ノ利
益トナレリト雖モ爾後ハ全ク政府ノ所得トナスニ至レリ

今茲ニ海路輸入ノ規則ヲ枚舉シ噸數輸入ノ制限船長ノ報告陸揚ニ關スル諸
則ヲ詳記スルハ却テ無用ナルヘシ海關ニ於テハ監督ヲ容易ニスルカ爲メニ
或ル有稅ノ商品ハ其所轄ノ稅關ニ依ラサレハ之ヲ輸入スルコトヲ許サス又某
品ハ特ニ某港ニ限リテ輸入スルコトヲ許シ或ル物品ハ四十噸積以下ノ小船ヲ以
テ之ヲ輸入スルコトヲ許サ、ル等ノ制アリ佛國近海ノ諸島ハ密賣ノ倉庫タル
ヘキ者ト見做シ久ク嚴法ヲ以テ之ヲ遇シ外國ヨリ來ル所ノ船舶ハ難風等ノ
場合ニアラサレハ是等ノ諸島ニ投錨スルコトヲ許サス只佛國船ニシテ直チニ佛
國ヨリ來リ佛國ニ歸ル者ノミ獨リ該諸島ノ事ヲ辨スルコトヲ得タリコルシカ島

ト雖モ尙ホ此制限ヲ免レサリシ者ナリ然ルニ此嫌惡スヘキ有害ナル制度ハ
オレトロン島及レ一島ニ於テ之ヲ行フヲ止メ次テコルシカ島ベルイル島又
ワルムーチエ島ニ用フルヲ廢セリ

税關制度ノ一他ノ不便ハ諸税關悉ク百般ノ輸出入ヲ管セスシテ總輸出入ヲ
取扱フ所ノ税關ノ數甚タ少ナキニアリ之カ爲メニ往々迂路ヲ經過セサルヘ
カラス漫ニ時間ヲ費サ、ルヘカラス其不便少ナカラス斯ノ如キ有害ナル制
限ヲ設ル所以ノ者ハ佛國關税法ノ縝密ナル租税ヲ賦課シ價格ヲ考定スルニ
足ルヘキ多數ノ官吏ヲ用フル能ハサルニ由ルクリフ、レスリー氏カ「コブテン、
クラブ」ノ雜誌ニ於テ論シタル所ヲ見ルニ是等ノ束縛アルヲ以テ天利ヲ得タ
ル地方ノ發達ヲ妨ルコト大ナリト云フ夫レ貿易ノ進歩ヲ計ルハ關税法ヲ簡易
ニスルニ如クハナシ是ヲ以テ千八百六十年ノ貿易條約ニ由リ大ニ關税ノ法
ヲ簡ニシ税率官吏ヲ減セシ者少ナカラスデ、オツク氏モ亦關税法中荷造制限
ノ細密ニ過ルヲ難セリ
右ニ論スル所ノ者ヲ以テ之ヲ見レハ關税ノ大不便如何ヲ示スニ足ルヘシ英

國ノ如キ税法簡ニシテ税率輕キ者ト雖モ尙ホ是等ノ不便ヲ免レス況ヤ佛國
ノ如キ無數ノ輸入品殊ニ製造品ニ租税ヲ課スルニ於テヤ故ニ是等ノ税率
ヲ輕減シ從量税ヲ以テ從價税ニ代ヘ收入ノ微小ナル商品ノ租税ヲ廢セハ邊
境住民ノ商賈ニ與ルニ從來束縛セシ所ノ天賦ノ自由ヲ復スルニ至ラン
然ト雖モ吾人ハ早晚カ關税ノ全廢セラルヲ望ムヘキカ此事タル決シテ見ル
ヲ得ヘカラサルニアラサルヘキモ其期尙ホ未タ遠シ抑モ關税ヲ廢セント欲
セハ内地ノ間税ヲ廢スルニアラサレハ能ハサルナリ如何トナレハ若シ外國
輸入ノ烟草「ブランヂ」葡萄酒ニ租税ヲ課セサレハ内地産ノ葡萄酒「ブランヂ」
「烟草」ニ租税ヲ課スルヲ得サレハナリ若シ外國品ニ課セスシテ獨リ内國ノ
同物品ニ課セハ是レ自ラ損シテ他國ノ生産ヲ助ル者ト云フヘシ是故ニ佛國
ノ歲計上内國ニ於テ是等ノ租税ヲ廢スルヲ能ハサル時ハ外國ヨリ來ル所ノ
同物品ニ關税ヲ課セサルヘカラス然ラサレハ天下萬國若クハ大陸ノ諸國皆
内地ノ消費税ヲ同フシ税率ヲ一ニシテ關税連合ノ一種ヲ起シ各國ノ間自由
ニ商品ヲ出入スルヲ得ルニアラサレハ不可ナリ然ニ諸國各政治上ノ便宜ア

リ國庫ノ緩急アリ風俗ノ別アリ人情ノ異アリ關稅聯合ノ業決シテ容易ニア
 ラサルナリ若シレオンフオーシエ氏カ希望セシ如ク羅甸種族ノ諸國ヲ聯合
 シテ同盟ヲナサシムルカ如キハ或ハ望ムヘシト雖モ是レ尙ホ諸國ノ好マサ
 ル所タリ萬一佛國白耳義荷蘭瑞士以太利ノ諸國相連合スルヲ得ハ一大進歩
 ナルヘシト雖モ佛國以太利ノ二國ハ他ノ三國ニ比スレハ國用ノ多キヲ以テ
 數十年ノ中ニハ内地ニ於テ消費稅ヲ增加セサルヘカラサルニ至ルヤ疑ヲ容
 レサルナリ然ル時ハ又關稅ヲシテ之レト權衡ヲ得セシメサルヘカラサルニ
 至ラン

或ハ云ン内地間稅ノ性質稅率ニ差違アルモ隣國ノ間關稅ヲ廢スルニ妨ケ
 ナカルヘシト日耳曼帝國ノ諸州ニ於テ酒稅ノ同シカラサルヲ以テ之ヲ証
 セシ然ト雖モ余輩ヲ以テ之ヲ見レハ内地間稅ノ制大ニ相異ナル所ノ諸國
 ニ於テ互ニ關稅ヲ廢スルハ殆ト能クスル所ニアルサルヘシト云ン

若シ内國ニ於テ農工ノ負擔スル所ノ租稅隣國ニ於ルヨリ重キヲ明カナル時
 ハ其負擔ヲ償補スルカ爲メニ外國品ニ輸入稅ヲ課スルハ當然ナリヤトハ近

年ノ一問題ニシテ論究セサルヘカラサル者ナリ世人多クハ此場合ニ於テ償
 補稅ヲ課スルヲ以テ當然ナリトナスト雖モ未タ研究ヲ悉セリト云フヘカラ
 ス請フ今ヨリ之ヲ論セン

内國ノ農產品若クハ製造品ニ特別ノ稅ヲ課シ例ヘハ羊毛一「キログラム」ニ付
 一「フランク」若クハ五十「サンチム」葡萄酒一「エクトリトル」ニ付二「フランク」若
 クハ三「フランク」ヲ課セハ外國產ノ羊毛及葡萄酒ニハ均ク同一ノ輸入稅ヲ課
 スヘキヤ明カナリ然ラサレハ内國ノ生産ヲ抑制シ間接ニ外國ノ生産ニ特別
 ノ保護ヲ與ルニ至ルヘシ又直接ニ内國ノ生産物ニ稅セサルモ其產物ヲ生ス
 ル所ノ土地ニ課スルニ特別ニ重キ租稅ヲ以テシ而シテ其租稅ハ地主ニ課ス
 ルノ目的ニアラスシテ是レカ生産物ノ價ヲ騰貴シテ消費者ヲシテ之ヲ負擔
 セシムヘキ目的ナル時ハ亦同シ例ヘハ今葡萄酒ノ稅ヲ廢シ之ニ代ルニ地租
 ヲ以テシ葡萄酒ヲ耕植スル所ノ土地ニ課スルニ「エクタール」毎ニ五十「フランク」
 百「フランク」若クハ百五十「フランク」ノ稅ヲ以テシ通常ノ地租ニ編入シテ之ヲ
 徵收セハ輸入スル所ノ葡萄酒ニ於テ之ヲ償補スヘキ租稅ヲ課セサレハ立法

官ノ目的ヲ達スルヲ能ハサルヤ明カナリ如何トナレハ外國ノ葡萄酒ハ葡萄園ニ内國ノ如キ重税ヲ拂ハサルヲ以テ内國ノ地主ハ之ト競争スルカ爲メニ葡萄酒ノ價ヲ増加スルヲ得サレハナリ故ニ内國ノ葡萄園主ハ非常ノ重税ヲ一身ニ負擔シ終ニ自ラ斃ルニ至ラン

又製造品ニ特別ノ税ヲ課シ若クハ製造ニ用フル粗生品及製造器械ニ特別ノ税ヲ課スル場合ト雖モ同一ノ理ナリ然レトモ其特別税ハ非常ニ重キニアラサレハ償補税ヲ以テ輸入品ニ課スヘカラス

右ノ如キ場合ニ於テハ償補税ヲ以テ特別税ヲ償フハ可ナリト雖モ財產營業運搬通信ニ課スル所ノ一般ノ租税ニ至テハ大ニ此ニ異ナリ財產ニ課スル所ノ租税ノ如キハ外國産品ニ償補税ヲ課スヘキ者ニアラス例ヘハ地租ノ如キ一般ノ租税ハ其所有主ノ歳入ニ課スルノ意ニシテ消費者ヲシテ負擔セシムルノ目的ニアラス然ルニ若シ輸入ノ農産品ニ消費税ヲ課スル時ハ地租ヲ以テ消費者ニ負擔セシムルニ至ルヘシ抑モ一般ノ租税ニシテ甲國ニ於テハ重ク乙國ニ於テハ割合ニ輕キハ甲國政府ノ措置其當ヲ得サルカ若クハ鐵道馬

車道堀割ノ如キ公益事業ノ費途多キカニ者ノ一ニアルヘシ其理由ハ孰レニアルモ財産ノ所有主ハ一切其直税ヲ負擔セサルヘカラサル者ナリ

營業税ノ如キ直接ニ營業ニ課スル所ノ租税ニ至テハ之ヲ設置スル所ノ立法官ハ營業者ヲシテ負擔セシムルノ目的ニシテ消費者ニ課スルノ意ニアラサルヤ明カナリ其實際ニ於テ之ヲ負擔スル者ハ勿論一定セス商業ノ景況ニ由テ之ヲ異ニスヘシ然ルニ是等ノ直税ハ常ニ非常ニ重キ者ニアラスシテ生産品一箇ノ價格ニ比スレハ實ニ微々タル者ナルヲ以テ外國品ニ償補税ヲ課スルニ足ラス

其他運搬通信及内國ノ証券ニ課スル所ノ諸税モ亦然リ是等ノ租税ハ其主義ニ於テハ甚々不可ナリト雖モ之カ爲メニ外國産品ニ償補税ヲ課スヘキノ理ナシ總テ此諸税ハ妨害多シト雖モ生産品ノ價格ニ比スレハ營業税ト均ク九牛ノ一毛タリ而シテ外國品ト雖モ全ク此諸税ヲ免ルニアラス例ヘハ外國品ノ一度我國境ニ入ルヤ國內ヲ運搬スルヲ以テ運搬税ヲ負擔セサルヘカラス又通信税證券税ト雖モ全ク免ルヲ得ル者ニアラサルナリ

凡ソ關稅ハ償補稅若クハ他ノ租稅ノ別ナク實ニ止メ得サルニアラサレハ決
 シテ徵課スヘキ者ニアラス如何トナレハ關稅ハ貿易事務ヲ繞密ニシ物價ヲ
 増加シ取引ヲ遲滯セシメ而シテ高等ナル工業ノ發達ヲ妨ルコト大ナレハナリ
 試ニ内國ノ製糸家織物家カ負擔スル所ノ營業稅通信稅商業手形ノ稅ヲ償補
 セント欲シテ外國產織物ニ輸入稅ヲ設置シ若クハ其稅ヲ増加セハ製糸家織
 物家ハ蓋シ利セラルヘシト雖モ外國ノ織物ヲ以テ之ニ手工ヲ施シ輸出スル
 所ノ製服匠ノ營業ヲ妨クヘシ若シ鑄鐵ノ如キ之ヲ以テ種々ノ製造ニ用フル
 所ノ粗生品ヲ例証トセハ其不便ヲ示スコト益明カナラン
 加之ス是等ノ償補稅ヲシテ正平ナラシメント欲セハ之ヲ百般ノ物品ニ課セ
 サルヘカラス然ラサレハ甲ノ業ヲ助ケテ乙ノ業ヲ苦ムルニ至ルヘシ然ルニ
 若シ一切ノ輸入品ニ償補稅ヲ課スル時ハ關稅ノ法非常ニ繞密ナラサルヲ得
 ス而シテ之カ爲メニ利セラルヘキ者ハ營業ノ性質ニ由テ異同アリ決シテ豫期
 ノ如ク平等ノ利ヲ受ルコト能ハサルヘシ則チ其生産物ノ最大部分ヲ輸出スル
 所ノ營業ノ如キハ外國品ニ償補稅ヲ課スルカ爲メニ毫モ利セラルヘキナク

而シテ政府カ償補セシムヘシト稱スル所ノ内國稅ハ悉ク之ヲ負擔シテ償ヲ
 得ル所ナカルヘシ之ニ反シテ重ニ内國需要ノ爲メニ物品ヲ生産スル者ハ償
 補稅ノ爲メニ其生産品ノ價ヲ騰貴シ商工ノ諸業ニ課スル所ノ内地一般ノ租
 稅ヲ償補スルヲ得ヘシ

右ニ論スル所ノ者ヲ約言スレハ關稅ノ法ヲ簡易ニシカメテ放任ヲ主トシ一
 切商品ノ輸入ヲ自由ニシ殊ニ粗生品及製造品ニシテ次段ノ製造ニ用フヘキ
 者ノ租稅ヲ廢スルハ一大利ナリ償補稅ノ法ハ外國品ヲ用ヒテ他ノ物品ヲ製
 産スル者ヲ妨クル者ナリ又毫モ輸出品ヲ製産スル者ヲ助クルニ足ラス故ニ
 平均ヲ謀ル者ト云フヘカラス由是觀之ハ内地ニ於テ或ル農産品若クハ或ル
 工産品ニ特別ノ重稅ヲ課スルニアラサルヨリハ償補稅ヲ課スヘカラス財產
 營業運搬通信證券ニ課スル所ノ一般ノ租稅ノ如キハ決シテ輸入品ニ稅シテ
 償補ヲ求ムヘカラスト云フニアリ

凡ソ外國産品ハ遠ク山河ヲ跋涉シテ來リ内國ノ産品ハ然ラス故ニ内國品ハ
 内國市場ニ於テハ外國品ニ對シテ天然ノ保護ヲ得タル者ト云フヘシ加之ス

商品運搬ニ課スル所ノ一切ノ租税ヲ廢シ通信及証券ニ課スル所ノ租税ヲ輕減スルハ大ニ余輩ノ希望スル所ナリト雖モ假令是等ノ租税ハ重キモ内國ノ民自ラ之ヲ負擔セサルヘカラス然ラスシテ此數稅アルカ爲メニ償補稅ヲ以テ外國品ニ課スルヲアラハ是レ毒ヲ以テ毒ニ加フル者ト云フヘキナリ

千八百六十年ノ貿易條約ハ佛國ノ經濟上ニ最良ノ結果ヲ表ハシ千八百五十九年ニ於テハ外國取引ノ高三十九億七百萬フランクナリシモ千八百七十五年ニ於テハ七十四億八百萬フランクニ達セリ右ノ貿易改正以後ハ佛國生産品輸出ノ路大ニ開ケ從前ハ外國産ノ器械若クハ粗生品ニ稅アルカ爲メニ抑制セラレタル諸營業ハ大ニ發達スルヲ得タリ尤モ是等ノ結果ヲ生シタルハ一ニ關稅輕減ノ功ト云フヘカラス此時ニ當リ通信ノ新法起リ鐵路盛ニ開ケタルヲ以テ此結果ヲ補ヒタルヤ疑ヲ容レサル所ナリ然ト雖モ千八百六十年ノ改正ナカリセハ佛國生産力ノ發達ハ未タ必スシモ今日ノ如ク速カナルヲ得サルヘシ

佛普戰爭ノ終ルヤ佛國關稅ノ法ヲ以テ千八百六十年以前ニ行ハレタル如キ

保護稅法トナサンコトヲ謀ル者アリシト雖モ行ハレサルヲ得タリ然ルニ方今(千八百七十九年)又或ハ保護ノ說ヲ唱ヘ佛國ノ新關稅法ヲシテ千八百六十年ノ改正法ノ如クナラシメス一層保護ノ性質ヲ負ハシメンコトヲ謀ル者アリ豈ニ惡ムヘキ者ニアラスヤラウールヂエツハル氏カ商業上等會議ノ織物委員ノ名ヲ以テセシ報告ニ據レハ英佛兩國ニ於ル木綿織物製造費ノ差ハ百分ノ三ニ過キサル者ニシテ此差ハ通例荷造リ費運送費等ヲ以テ相償フヘシト云ヘリ若シ方今歐洲諸國ニ於テ其勢力ヲ得ント欲スル傾向アル所ノ保護論ヲシテ行ハルヲ得セシメハ實ニ經濟上ノ一動亂ヲ生シ世界萬國ノ生産ヲ害スルヲ甚キニ至ラン

抑モ一偏ノ利ヲ計レハ一般ノ利ヲ害スル例証ハ千萬數フルニ暇アラスト雖モ一例以テ之ヲ示スニ足ラン貿易條約改正ノ後一般需要ノ盛ナル縫機ニ課スルニ百キログラムニ付六フランクノ輸入稅ヲ以テセリ然ルニヂュラニ於テ毎年一千箇ノ縫機ヲ製出スル所ノ製造アリ右ノ稅ヲ四倍シテ二十四フランクトナサンコトヲ請求セリ商業上等會議ノ諸製造委員ハガストン、バジール

氏ノ説ニ據リ其請求ノ實ニ未曾有ノ事ナルヲ稱セリ右ノ製造家ハ毎年一千万ノ縫機ヲ製出シ而シテ佛國ハ毎年外國ヨリ十萬箇ノ縫機ヲ輸入セシヲ以テ一個ノ製造家ニ一萬フランクノ利ヲ得セシメントセハ其消費者ヲシテ百萬フランクヲ拂ハシムヘキノ理ナリ殊ニ該機ヲ使用スル者ハ通例貧民ナルヲヤ然ルニ該委員ハ其甚キ不公平アルニ拘ラス其請求ヲ認可シ縫機ノ輸入税増加ノ案ヲ提出セリ右ノ例ニ由テ之ヲ見レハ都テ是等ノ租税ノ效驗ヲ知ルヲ得ン加ルニ該委員ハ嘗テベンヂヤマン、コンスタン氏ノ所謂ル物價ヲ騰貴スルニ熱心ナル者ニシテ鍊瓦沃鎮、ブロム等ノ如キ從來輸入税ヲ課セサル所ノ者ニ輸入税ヲ設置センコトヲ請求セシ者甚多シ

余輩ハ佛國ニ於テハ斯ノ如キ拙劣ナル税法ヲ行ハサランコトヲ希望スル者ナリ近年亞米利加合衆國及佛蘭西ノ二國ハ實地ノ經驗ニ由テ保護税法ト自由主義トノ効能如何ヲ明示セリ兩國共ニ無雙ノ大亂ニ會シテ非常ノ損害ヲ被リ合衆國ハ大ニ關稅ヲ増加シテ財源ヲ求メント欲シ佛國ハ割合ニ自由主義ヲ維持シ而シテ合衆國ハ大ニ理財ノ法ヲ亂シ數々非常ノ困難ヲ生シ佛國ハ

其工業商業ノ強固ナルヲ示メシテ歐洲全土ヲ驚カセリ

一切無用ノ障礙ヲ除キ從價稅輸出税ヲ廢シ悉ク粗生品ノ性質ヲ有スル所ノ物品(石炭、生皮、材木、染料、油、五穀等)ニ課スル所ノ租稅ヲ止メ漸次眞鍮、鉄、機械、糸ノ稅ヲ輕減シ數年ノ後遂ニ之ヲ廢スルハ國家ノ營業ヲ發達スル所ノ最良手段ト云フヘシ紡績製鉄ノ如キ營業ハ往々名士ヲ以テ首領トナスガ故ニ其意見ヲ政府議院ニ貫クヲ得テ政府議院等ハ其言ヲ所ヲ以テ佛國商業上一般ノ事ト信セリ然ルニ是等ノ營業ニ幸ヲ與フルカ爲メニ却テ苦ム所ノ營業甚多シ不幸ニシテ是等ノ營業ハ諸方ニ散在シ其首領ニハ敢テ著名ノ士ナク其志望ヲ達スルニ良機關ナク其苦情ヲ世ニ知ラシムルヲ得ヌ元來佛國人民ハ手工ニ巧ミニシテ高等ノ嗜好ヲ有シ奇巧ノ意匠アリ天性機巧ト優美トヲ要スル所ノ工業ヲナスニ適シタルハ諸外國人民ノ遠ク及ハサル所ナリ不幸ニシテ近年ニ至ル迄ハ保護制度ヲ以テ佛國人民ヲシテ恣ニ外國ニ粗生品若クハ工事ノ器具ヲ得セシメス今日ト雖モ尙ホ未タ全ク之ヲ自由ニセサルナリ此篇ヲ終ルニ當テ尙ホ一言セン佛國ノ關稅ハ遂ニ巨額ノ收入ヲ致スヘキモ

ノニアラス佛國ニ於テ輸入税ヲ課スルモ妨ケサルモノハ咖啡砂糖椰子等ノ如キ一般ノ消費品五六品ニ過クヘカラス製造品ノ輸入税ハ四分乃至五分ヲ過クヘカラス而シテ製造品中全ク租税ヲ除スヘキ者甚多シ償補税ノ如キハ猥リニ之ヲ課スヘキモノニアラス凡ソ關稅ノ題目ヲ論スルニ當テハ政府ノ收入ノ事ハ先ツ第二位ニ置カサルヘカラス假令僅々タル租税ト雖モ全國ノ爲メ大ニ不利ナルコアルヲ以テナリ關稅ノ良法ヲ得ント欲セハ必スヤ智識ニ富ミ公明正大一點ノ私心ナキ立法官ヲ要スヘキナリ

租稅論

第十四篇

内地消費稅

余輩ハ已ニ消費稅ノ大要ヲ説キ其功能ト不便トヲ并舉シ以テ直稅ノ功能ト不便トニ比較セリ(本書第四篇ヲ見ルヘシ)抑モ消費稅ハ財政上ニ於テハ勿論世俗ノ語ニ於テモ往々之ヲ稱シテ間稅ト云フ此稱呼タルヤ頗ル其宜キヲ得タルモノト云フヘキナリ

已ニ余輩カ論シタル如ク間稅ハ立法官カ之ヲ負擔セシメント欲スル所ノ者ニ賦課スルニアラス而シテ政府ニ之ヲ仕拂フ者ハ實際ニ之ヲ負擔セサルモノナリ今之ヲ大別シテ二種トナス

- 第一 事柄ノ起ル時ニ當リテ課スルモノ即チ印紙稅記錄稅ノ如キ是ナリ
- 第二 消費ニ供セラルヘキ或ル生産物ニ課スルモノ

如此其性質ニ於テモ實際負擔ノ事ニ於テモ相異ナル所ノ租稅ニ冠スル單一ノ總稱ヲ以テシ之ヲ混視スルハ大不幸ト云ハサルヲ得ス例ヘハ記錄稅ノ如

キ假令財産ノ全額ニ比例セサルモ其租税ヲ課セラル、所ノ財産ニハ往々比
 例スル所ノモノナレハナリ
 不幸ニシテ財政上聞税ト云フ語ハ正當ヲ欠キ佛國ニ於テハ二様ノ意義ヲ有
 シ一ハ廣ク一ハ狭シ其第一ノ意義ニ於テ之ヲ稱スル時ハ名簿ニ依リテ賦課
 セサル所ノ一切ノ租税ヲ云フモノニシテ遺傳税ノ如キ眞ノ直税ヲモ包含ス
 其第二ノ狹隘ナル意義ニ於テハ關稅ノ外内地ノ消費ニ課スル所ノ一切ノ租
 税記録税印紙税及郵便税ヲ稱スルモノニシテ白耳義ノ「アクシース」英國ノ「エ
 キサイス」以太利ノ「ダジ」ニ當ルモノトス
 余輩ハ已ニ他ノ篇ニ於テ消費税一般ノ性質ヲ論究セシヲ以テ今再ヒ此ニ之
 ヲ喋々スルハ却テ贅言ニ似タリ本書第四篇ヲ見ルヘシ消費税ハ直税ニ比ス
 レハ被税者ノ歳入ニ比例スルヲ少シ是レ該税ノ最モ不便ナル所ニシテ大ニ
 厭フヘキノ點ナリ然ルニ方今諸大國ノ如ク巨額ノ國債ヲ有シ巨大ノ軍備ヲ
 ナシ巨萬ノ軍隊ヲ有スル者ニアリテハ實ニ欠クヘカラサル所ノ租税トス直
 税ハ被税者殊ニ細民ニ課スルノ難キヲ以テ專ラ直税ヲ以テスル時ハ第十九

世紀末ノ巨大ナル經費ヲ辦理スルニ足ラス其不足ヲ補フヲ得ルモノハ則チ
 此消費税ニアリ加フルニ該税ハ一大利便ノ以テ固有ノ不便ヲ消殺スルモノ
 アリ則チ税率ヲ動カサヌ又或ハ税率ヲ減スルモ其收入ニ至テハ國富ノ増加
 ニ從テ共ニ増加シテ止マサルヲ是ナリ
 消費税カ被税者ノ歳入若クハ資力ニ比例セサルノ患アルハ爭フヘカラサル
 モノナリト雖モ其之ヲ稱シテ人頭税ナリト云フ者アルニ至テハ過大ノ言ト
 云フヘシ勿論消費税ノ或ルモノハ人頭税ノ實アリト雖モ其收入ニ至テハ甚
 タ僅少ナル者カ否ヲサレハ其種類ハ甚タ少ナキ者トス例ヘハ鹽税麥粉税ノ
 如キ是ナリ其他砂糖税咖啡税一般ノ殖民地產品ニ課スル所ノ消費税ノ如キ
 ハ被税者ノ資力ニ比例スルヲハ決シテ精密ナラスト雖モ貧富ノ別ナク同額
 ヲ負擔セシムル者ニアラス
 凡ソ事ヲ重シシ確實ヲ旨トスル者ハ是等ノ事ニ於テ過大ノ言ニ誤ラレサル
 ヲカムヘシ或ハ言フ佛國ノ歳計ハ二十六億七千二百萬フランク千八百七十
 七年ノ豫算ニシテ直税ノ收入即チ國民ノ財力ニ比例スル所ノ者ハ僅ニ四億

五千萬「フランク」ニ過キス餘ノ二十二億二千二百萬「フランク」ハ間稅即チ人頭稅ナリト然ルニ此計算法タル甚タ輕卒ニシテ偏依ノ說タルヲ免レス第一右ノ二十二億二千二百萬「フランク」中ニハ森林及官有地ノ收入アリ文官恩給ノ資金アリ是等ハ無論間稅ニアラサルヲ以テ扣除セサルヘカラス加之ナラス間稅ハ廣キ意義ニテ云フ時ハ嚴ニ資力ニ比例スル所ノモノアリ又拂フ所ノ租稅ニ對シテ特別ノ利益ヲ受ルモノアリ即チ遺傳稅及記錄稅ノ大半是ナリ又間稅中ニハ運輸稅郵便稅ノ如キ多少資力ノ大小ニ關係ヲ有スルモノ(物品ノ遞送音信ノ往復ハ通例歲入ノ増加ニ伴フテ増加スルモノナレハナリ)ヲ包含シ且ツ蠟稅、紙稅、砂糖稅、咖啡稅、椰子稅ノ如キ重ニ富民ノ消費ニ課シ多少驕奢ノ度ニ比例スル所ノモノアリ烟草稅酒精稅ノ如キ人生ノ必需品ニアラス寧ロ有害物ニ課スル所ノモノニシテ之ヲ拂フト否トハ只各々撰フ所ニアルモノアリ然ラハ則チ人頭稅トモ稱スルヲ得ヘキハ鹽稅麥粉稅又ハ葡萄酒林檎酒麥酒等常用飲料ニ課スル所ノ租稅ノ如キ僅々數稅ニ過キサルナリ消費品及或ル製造品ニ課スル内地稅ハ古代ヨリ存スル所ノ者ニシテ今日モ

尙ホ多少各國共ニ之ヲ行ハサルモノナシ諸國ノ間只其異ナルモノハ被稅品種ノ多少ト稅率ノ輕重トニアリ獨リ佛國ノ革命政府ハ斷然消費稅ヲ廢セン「フ」ヲ欲シ一切ノ鹽稅物品稅ヲ廢シ僅ニ直稅關稅及記錄稅ヲ存セリ若シ革命政府ニシテ平治秩序ヲ保ツ「フ」ヲ得ハ此過激ナル改正モ其目的ヲ達スル「フ」ヲ得シナルヘシト雖モ不幸ニシテ騷亂相續キ理事官政府ニ至ラスシテ已ニ間稅ノ或ル者ヲ復シ理事官政府ニ至テ其他ノ間稅ヲ舊ニ復セリ如何ナル主義如何ナル思想ニ由テ立法官ヲシテ間稅ヲ設置セシメタルカ如何ナル事情ニ由テ他ノ租稅ヲ撰ハスシテ物品稅ヲ取ラシメタルカ請フ之ヲ論究セン抑モ消費稅ハ惣テ内國ノ生産品若クハ惣テノ生産品ニ課スルヲ得ヘク又僅々タル經費ニテ容易ニ巨額ノ收入ヲ得ヘキヲ以テ特ニ數種ノ物品ヲ撰テ之ニ課スルヲ得ヘシ其之ヲ徵收スルハ或ハ物品ノ生産所ニ於テスヘク或ハ賣買ノ時ニ於テスヘク或ハ市府若クハ一地方ニ入ル時ニ於テスルヲ得ヘシ而シテ之ヲ徵收スルニハ被稅品ノ生産製造ヲシテ人民ニ委スルモ可ナリ又ハ

政府ニ於テ被稅品ノ製造若クハ賣買ノ權ヲ專有シ政府自ラ之ヲ製造若クハ賣買スルカ否ラサレハ特ニ人ヲ定メテ其製造若クハ賣買ヲナサシムルヲ得ヘキナリ

國內ニ於テ生産スル所ノ一切ノ物品ニ租稅ヲ課スルハ往時ニ於テ數々試ムル所ニシテ近年亞米利加合衆國ニ於テハ農產品ヲ除キ一切内地ノ製造品ニ課スルニ租稅ヲ以テセリ

政府カ國內一切ノ生産品若クハ生産品ノ一大部分ナル製造品ト稱スヘキ所ノ物品ニ稅シ惣テ物品ノ價格ニ對シ比例稅ヲ課スルハ只政府ノ歲入ヲ得ント欲スルニ止ラス又租稅ノ賦課ヲシテ公平ナラシメント欲スルニアリ如何トナレハ若シ國民ヲシテ其費用ノ多少ニ應シテ租稅ヲ負擔セシムルヲ得ハ多クハ國民ノ資力ニ應シテ租稅ヲ負擔セシムルヲ得レハナリ實ニ諸國ニ於テハ每人若クハ每家ノ費用ト歲入ノ間自ラ一定ノ割合アリテ多數國民ノ費用ト歲入ノ割合ハ此割合ヲ去ルト遠カラサルモノトス尤モ浪費者アリ一時多額ノ費用ヲ要スルモノアリ一ハ輕浮ニシテ虛飾ヲ好ムニ起リ一ハ止ヲ

得サルニ起ル者ナリト雖モ二者皆其歲入ノ割合ニ巨額ヲ費ス者トス又之ニ反シテ吝嗇家若クハ節儉家ニシテ其歲入ノ割合ニ小額ヲ費ス者アリ然ト雖モ一國民ヲ概シテ之ヲ見ル時ハ國民ノ費用ニ課スル所ノ比例稅ハ其歲入ニ比例スルト甚々遠カラサルヘシ

國內一切ノ生産品ニ租稅ヲ課スルノ法ハ嘗テ歐洲ニ行ハル一ヲアルカヅハラト稱シ一ヲホルラト稱スアルカヅハラハ一切動カシ得ヘキ物品及食料品ノ賣買ニ課スルモノニシテホルラハ製造所ニ於テ製造品ニ課スルモノトス此ノ如キ稅法ヲ行フ時ハ漫ニ多數ノ官吏巨額ノ徵收費ヲ要スヘク奸曲盛ニ行ハルヘク營業者ノ困難常ニ絶サルヘク一切生産法ノ變動ヲ妨クヘク其不便タル多言ヲ待スシテ明カナリ彼西班牙ノ製造業ノ衰敗セルヤ其原因一ニシテ足ラスト雖モ此二稅モ亦多少其原因タルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ故ニイサベラ女皇ノ崩スルヤ其繼嗣ニ遺詔スルニアルカヅハラヲ廢センヲ以テセリ

佛國ニ於テハ千六百四十年初テアルカヅハラニ均キ租稅ヲ設置セリト雖モ

實施上ニ好結果ヲ見ルヘキモノナシ
米合衆國ニ於テハ南北戰爭ノ時少シク之ヲ小ニシテ「アルカヴハラ」及「ボルラ」
ノ法ヲ施セリ佛國ニ於テハ重要ナル製造品織物金物等ニ課税スルノ名ヲ以
テ數々類似ノ租税ヲ設置スルノ議アリシト雖モ未タ嘗テ農産品ニ税セント
スルニ至ラス

余輩ハデーヴィット、ウェルス氏ノ財政史一斑(エ、キューリヤス、チャピトル、イ
ン、ポリチコ、エコノミック、ヒストリー)ニ就キ米合衆國ニ於テ一切ノ製造品ニ
課税シタル略況ヲ研究セハ第十九世紀ニ於テ「アクシース」若クハ「エキサイス」
ト稱スル内地税ノ盛ニ發達セシヲ見ン

米合衆國ニ於テ當時徵課シタル製造品ノ税ノ重キハ實ニ未タ嘗テ見サル所
ナリ南北戰爭ノ起ルヤ其初メハ課税ノ方法ニ若シ軍費ヲ内地税ニ取ルヲ避
ケ國會ハ輸入税ヲ増課シテ之ヲ辨センコトヲ謀レリ戰ノ起リテヨリ四ヶ月後
國會ハ諸州ニ分課スルニ二千萬弗一億、フランスノ直税ヲ以テシ八百弗(四千
フランス)以上ノ歳入ニ課スルニ三分ノ税ヲ以テセリ戰ノ第二年「アクシース」

税ノ或ルモノハ歳入税印紙税ヲ合セテ内地租税ノ惣收入四千二百萬弗(二億
一千万)フランス)ニ達セス然ルニ其經費ハ此時ニ當リ一ヶ月六千萬弗(三億、フ
ランス)ニ上レリ

此ニ於テカ頭ヲ見レハ打テト云フ有名ナル格言ヲ發スルニ至レリ其意タル
ヤ物件ノ如何ヲ問ハス苟モ政府ニ歳入ヲ與フルニ足ルモノハ悉ク租税ヲ課
スヘシト云フニアリ歳入税ハ増シテ通例五分トナリ其固有ノ産物ナル生綿
ニ課スルニ「ポンド」ニ付三「セント」ヲ以テシ鹽ニハ百「ポンド」ニ付六「セント」(三
十「サントーム」)烟草ニハ一「ポンド」ニ付十五「セント」乃至三十五「セント」(七十「サ
ントーム」)乃至一「フランス」八十五「サントーム」ヲ課シ蒸酒モ亦之ニ課スルニ重
税ヲ以テセリ右ニ歴擧スル所ノ諸税ノ外毫モ特免ヲ得ルモノナク歐洲人民
ト雖モ之ヲ免ルヲ得サリシモノナリ然ルニ尙ホ其最モ奇ニシテ最モ縝密ナ
ル所ノ租税ハ普通ノ製造營業トモ稱スヘキ各種ノ生産品ニ課シタルモノ是
ナリ該税ハ始メ先ツ各粗生品ニ課シ次テ其粗生品ニ製造ヲ加フル毎ニ之カ
爲メニ増加スヘキ價格ニ比例シテ租税ヲ増スモノトス

製造家ハ皆各々毎年免許ヲ得ヘキモノトセリ而シテ生産品ハ若シ生産者ニ
 アラスシテ手代若クハ商賈ノ手ニテ之ヲ賣買スル時ハ別ニ賣買高千分ノ一
 ノ税ヲ課セリ是レ則チ賣買高税ノ端緒ニシテ佛國ニ於テハチーエ氏ノ大統
 領タリシ時嘗テ議案ヲ呈出スルモノアリテ討議ノ末遂ニ廢案ニ歸シタル所
 ノ者ナリ製造品ニ課スル所ノ租税ハ僅カ數種ノ物品ヲ除キ千八百六十四年
 ニハ平均五分ト定メ千八百六十五年ニハ増シテ六分トセリ是等ノ税法ヲ以
 テ政府ハ高尙ナル製造品ニハ毎年其價格ノ八分乃至一割五分時トシテハ二
 割ノ重税ヲ課セリ試ニ雨傘若クハ日傘製造家ノ場合ヲ見ルニ先ツ傘ノ柄ト
 ナル所ノ木材ニ租税ヲ拂ヒ次テ若シ彫刻又ハ飾リヲ施ス時ハ右ノ木材ニ再
 ヒ租税ヲ拂ヒ象牙モ亦彫刻若クハ飾リヲ施コス時ハ租税ヲ拂フ而シテ鯨骨
 若クハ鐵骨ニ織物ニ傘ヲ結束スル所ノ護謨ニ其護謨ニ附着スル所ノ鈕ニ皆
 各々税アリ最後ニ其出來上リタル傘ニ税アリ書籍雜誌ノ如キモ亦數種ノ租
 税ヲ負擔スルコト右ニ異ナラスニニューヨーク府ノ書籍出版會社ハ嘗テ一ノ製
 本シタル書籍ハ二十種ノ租税ヲ負擔スルコトヲ証明セリ其重ナル者ヲ舉レハ

紙税糊粉税革税製本ニ用フル染料ノ税活字ノ税等はナリ如此各別ニ原品ニ
 租税ヲ課シタル後製本成リテ一卷ノ書籍トナレハ又更ニ其賣買價格百分ノ
 五ヲ税セリ實ニデーヴィット、ウエルス氏ノ云ヘル如ク之ヲ約言スレハ政府
 カ各生産品ノ周圍ニ境域ヲ設ケ各品カ其境ヲ越エル毎ニ租税ヲ課セント企
 テタルモノナリ

米合衆國税法ノ特異ナルハ此ニ止マラス尙ホ之ヨリ甚キ者アリ則チ器械馬
 車其他ノ物品ヲ修繕シテ爲メニ其價格一割以上ヲ増加スル時ハ其修繕ニ租
 税ヲ課シ加フルニ其増加シタル價格ニ六分ノ租税ヲ課スルコト是ナリ而シテ
 是等ノ物品ハ之ヲ磨キ之ヲ塗リ之ニ漆シ之ヲ洗ヒ之ニ油シ之ニ金ヲ塗リ之
 ニ鍍金シ之ニ彫刻シ之ニ飾ヲ施ス等ノ事アル毎ニ已ニ多少輸入税若クハ内
 地税ヲ拂ヒタルモノナリ

米合衆國ノ法律ニ於テ勞力者若クハ營業者ヲシテ各々二箇ノ帳簿ヲ備ヘシ
 メタリ其一ハ全ク製造シタル物件ヲ記載シ一ハ修繕ヲ記載スルモノトス此
 ノ如ク徵收ノ細密ナル賦課ノ困難ナル調査ノ不便ナルカ爲メニ數々爭論ヲ

生シ時トシテハ至愚ノ論題ヲ生スルヲアリ其甚キ者ヲ擧ルニ例ヘハ若シ指
 物師カ車若クハ或ル他ノ物品ニシテ五「フランク」ノ價格アルモノヲ修繕シ其
 費五十「サントーム」ナレハ價格ノ増加一割ナルヲ以テ其五十「サントーム」ニ對
 シテ租稅ヲ拂ハサルヘカラス然ルニ若シ右ノ指物師カ二千五百「フランク」ノ
 價格ナル馬車ヲ修繕シテ其費百五十「フランク」若クハ二百「フランク」ナレハ一
 モ稅スル所ナキハ如何ン又若シ一人アリ或ル物品ヲ修繕スルニ序ヲ逐テ先
 ツ鍛冶師ヲシテ其修繕ヲナサシメ次テ塗師ニ命シ次テ粧飾師ニ命シ其修繕
 費ヲ合計スレハ價格ノ一割ニ達スレトモ之ヲ別テハ各一割ニ達セサル場合
 ニ於テハ其修繕ハ租稅ヲ課スヘキヤ否ヤヲ論セシモノアリ當時收稅官法律
 家ハ此ノ如キ細微ノ事ニ關シテ喋々論究セシト少ナカラスデーヴィット、ウ
 エルス氏ノ云ヘルカ如ク第十一世紀第十二世紀ノ學者論以來此ノ如キ愚論
 ノ爲メニ上等人種ノ精神ヲ費シタルトハ蓋シ之レ有ラサルナリ
 然ルニ合衆國ノ人民ハ敢テ此奇怪ナル稅法ヲ意トセヌ却テ愛國ノ熱心ヨリ
 奮テ其徵收ニ應セリ合衆國內地ノ歲入ハ千八百六十三年ニハ二億一千萬「フ

ランク」ナリシモ千八百六十四年ニハ五億八千五百萬「フランク」トナリ千八百
 六十五年ニハ十億五千五百萬「フランク」トナリ千八百六十六年ニハ遂ニ十五
 億五千萬「フランク」ニ達セリ同年該國ノ總租稅ノ收入高ハ實ニ二十七億九千
 五百萬「フランク」ナリ然ルニ實際ハ其稱呼ノ如ク巨大ノ額ニアラス如何トナ
 レハ右ノ額ハ當時下落シタル紙幣ヲ以テ算シタレハナリ
 戰ノ未タ終ラサルニ當テハ愛國ノ情強盛ニシテ奸曲モ亦甚タ少ナク殊ニ製
 造家ノ如キハ自ラ進テ租稅ノ増加ヲ唱ヘ又紙幣ノ發行増加ヲ請ヘリ如何ト
 ナレハ租稅ノ増加アルモ其増加ハ已ニ租稅ヲ納メタル物件ニ及ハサルニ商
 賈ノ所有スル物品ハ租稅ノ増加アル毎ニ賣買價格ヲ加ヘタレハナリ
 千八百七十一年ヨリ千八百七十二年ニ至ルコブデン協會ノ雜誌ニ於テデ
 ウィット、ウエルス氏ノ論文「エ、キエーリヤス、チャピトル、イン、セ、ポリチコ、エ
 コノミカル、ヒストリ」ト題スル者ヲ見ルヘシ就中四百七十九丁四百八十
 二丁四百九十四丁ヲ見ルヘシ
 戰終ルニ至リ居民ノ思想頓ニ著シキ變動ヲ來シ製造品ニ課スル租稅ノ不修

理ナルハ始メテ工商ノ心ヲ失フニ至レリ此ニ於テカ合衆國政府ハ久シカラ
 スシテ悉ク過重苛斂ノ稅ヲ廢シ方今該國ノ内地稅ハ頗ル單簡明易トナリ政
 府ノ經費ハ過重ナル關稅ノ收入并ニ蒸酒稅煙草稅印紙稅銀行及銀行家ノ稅
 ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨ス是等ノ租稅ハ一モ營業ニ課スルモノナク從テ製造
 品ノ價ヲ增加スヘキモノナシ然ト雖モ合衆國ノ或ル諸州ニ於テハ資本稅ヲ
 課スルモノアリ已ニ前篇ニ於テ論究セシ如ク資本稅ナルモノハ甚々繞密ニ
 シテ商業ノ妨碍ヲナスト少ナカラサルモノトス
 合衆國ニ次テ戰時ノ經費ヲ償ハンカ爲メニ大ニ内地稅ヲ増シ無數ノ物件ニ
 租稅ヲ課シタル者ヲ英國トナス英國内地稅ノ沿革ヲ尋ルニ實ニ源ヲ千六百
 六十二年ニ發セリ當時不人望ナル王政府ハ該稅ヲ設置セリト雖モ國會ニ於
 テ之ヲ廢棄セリ故ニ英國ニ於テ眞ニ内地稅(エキサイス)ノ發達セシハ千六百
 四十三年内亂ノ盛ナル時ニアリ其景況ハ尙ホ合衆國ノ時ニ於ルカ如クニシ
 テ國民ハ共和ニ熱心ナルノ餘進テ此新稅ヲ奉シ亂平クノ後ニ至テ尙ホ之ヲ
 存セリ

ピット氏ノ宰相タルニ當リ佛國ト鋒ヲ爭フヤ英國政府ハ大ニ内地ノ間稅ヲ
 濫用シ千八百十五年ノ和成ルニ及ヒ次ヲ逐フテ鹽稅革稅蠟燭稅麥酒稅ヲ廢
 セリ然レトモ千八百四十三年マクラツク氏ノ書ヲ著ハスニ方テヤ尙ホ鍊瓦
 稅硝子稅紙稅石鹼稅「ホツプ」稅競賣稅醋稅ヲ存セリ其他收入ノ巨大ナル「モル
 ト」稅蒸酒稅砂糖稅及營業免許稅ノ存在セシハ言ヲ待タス是等四稅ノ收入ハ
 頗ル巨額ニシテ内地稅收入額ノ大半ハ此四稅ヨリ得ル所ニ係リ千八百四十
 三年ニ於テ英國内地稅ノ純收入ハ千二百六十三萬四千八百五十「ポンド」ニシ
 テ四稅ノ收入ハ九百四十三萬二千七百七十六「ポンド」ナリ故ニ他ノ諸稅ヲ以テ
 收入セシハ僅ニ三百二十五「ポンド」即チ八千萬「フランク」ニ過キスト云フヘシ
 内地稅ノ砂糖稅ハ其收入甚々微ナリ如何トナレハ砂糖稅ハ重ニ關稅ナル
 ヲ以テナリ由是觀之ハ内地總收入額ノ凡ソ四分ノ三ヲ占メタル者ハ「モル
 ト」稅蒸酒稅營業免許稅ニアリト云フヘシ
 右ニ歷舉スル所ノ製造品ニ課スル租稅ハ皆大ニ厭嫌スヘキ者トス如何トナ
 レハ營業ノ發達進歩ヲ妨ルヲ以テナリ戰ノ終ルニ至テヤ他ノ賦課法ノ宜キ

ヲ得タル所ノ租稅ヲ以テ是等ノ諸稅ニ代ヘハ可ナラン而シテ之ヲナスハ敢テ難キニアラサルヘシ

英國紙稅ノ設置セラレタルハ千七百十二年ニアリ而シテ千八百三十六年ニ至ルマテハ非常ニ重ク且ツ賦課ノ法亦繞密ニシテ上等紙ハ英量一「ポンド」ニ付三十「サッチー」(三「ペンス」)下等紙ハ十五「サッチー」ナリ上等紙ノ稅率ハ一切ノ印刷用紙文房用紙ニ課スルモノニシテ其價格ノ二割乃至一倍五割ニ達セリ故ニ該稅ハ苛重ニシテ繞密ナルノミナラス又大ニ營業ノ自由ヲ害セリ千八百三十六年該稅ヲ改正シ紙質ノ如何ヲ問ハス皆一「ポンド」ニ付十五「サッチー」トセリ然レトモ尙甚々重稅タルヲ免レサルナリ是等ノ製造品ニ課スル所ノ租稅ノ不便ナルハ内地稅調查員ノ報告ニ於テ明カニ之ヲ識認セリ然ルニ紙稅ヲ存スルハ尙ホ其大ニ望ム所タリ其言ニ曰ク

公衆ノ嗜好ニ適スルカ爲メニ製造ノ新法ヲ施シ新品ヲ用ヒ新發明ヲナスハ常ニ絶サル者タルヲ以テ凡ソ製造ノ時ニ當テ物品ニ課スル所ノ租稅ニアリテハ從テ賦課ノ方法ヲ改メサルヘカラス而シテ數々此改正ヲ要スル

者ハ蓋シ紙稅ノ如ク急ナルモノアラサルナリ

又同報告ニ云フ所ヲ見ルニ曰ク

新ニ一步ヲ進ル毎ニ余輩ノ爲メニ困難ヲ加フル原因トナリ不滿ヲ生スルニ至ル政府ニアリテハ紙營業ノ一部ヲシテ他部ニ過キタル利益ヲ得セシメサルヲ以テ得策トナス云々(千八百七十年ノ内地稅調查員報告書第一卷四十二丁四十三丁)

余輩ヲ以テ之ヲ見レハ紙稅ハ大ニ嫌惡スヘキ者ト云フヘシ如何トナレハ該稅ハ營業上智識上貿易上ニ於テ不便ヲ來スモノナレハナリ前章ニ云フ所ヲ以テ見レハ紙稅ハ製紙營業者ノ爲メニハ頗ル迷惑ノ者ニシテ若シ之ナケレハ製紙ノ方法產出ヲ變更シ之ヲ改良スルニ敢テ妨ル所ナシト雖モ之アルカ爲メニ其改良進歩ヲ妨ルヤ疑ヲ容レサルナリ抑モ紙稅ハ書籍新聞紙雜誌等總テ報知教育ニ係ル物件ノ價ヲ高フシ紙ヲ以テ粗生品トナス所ノ無數ノ生產品ノ價ヲ増シ又荷造ノ爲メニ紙ヲ用ル一切ノ商業ニ於テ運搬ノ經費ヲ増加スヘシ彼有名ナル紙稅廢止論者グラッドストーン氏ハ其別ニ償補ヲ得ル

所ナクシテ該稅ヲ負擔スル無數ノ營業ヲ歷舉セシコアリ佛國ニ於テハ一切ノ輸出業殊ニ巴里ノ營業ノ如キ細小ノ物品ヲ外國へ輸出スル者ハ外ニ顯ル所ハ甚タ微ナレトモ紙稅ノ爲メニ頗ル負擔ヲ重フセリ英國グレートブリテン及アイヤランドニ於テハ千八百六十一年紙稅ヲ廢セリ千八百六十年即チ紙稅廢止ヲ議決シタル年度ノ該稅收入高ハ頗ル巨額ニシテ三千七百五十萬フランク〔百五十萬六千百十二ポンド〕ニ達セリ而シテ其徵收費ハ凡ソ七十一萬五千フランク該稅監督若クハ徵收ノ爲メニ使役シタル人員ハ百八十三人ナリ

佛國ノ紙稅ハ佛普戰爭後ニ設置スル所ニシテ千八百七十八年ノ收入高ハ千四百萬フランクニ達セリ其稅率ハ英國ヨリ輕ク百キログラムニ付六フランクヨリ二十五フランクノ間ニアリ新聞紙ハ通常ノ稅ノ三倍ヲ課セリ此新聞紙ノ用紙ニ課スル者ハ製造元ニ於ル紙價ノ凡ソ一割二分ニ當ルヘキ者ト算セシナリ元來紙稅ハ其外見ニ於テハ無害ナルカ如シト雖モ價格貴重ニシテ嵩ノ小ナル物品ヲ輸出スルコト多キ國ニ於テハ甚タ有害ナル租稅ノ一ニ居ル

モノトス

硝子稅ハ英國ニ於テハ久ク之ヲ行ヒ近年ニ至ルマテ之ヲ存セリ佛國ニ於テハ近年之ヲ設置スルノ議ヲ發セシ者アリマクラック氏ハ硝子稅ヲ以テ氏ノ時ニ行ハレタル租稅中最モ非難スヘキモノト稱セリ該物品ニ課スル所ノ租稅ハ數々之ヲ増加シ千八百十三年ニハ其最高度ニ達シ最上ノ板硝子ハ一セントル〔一セントル〕ハ五〇、八〇キログラムニ付九十八シルリングトナレリ此ノ如ク苛斂ノ稅トナリシヲ以テ千七百九十四年以後英國ノ富ノ發達人口ノ増加ハ夥多ナリシモ硝子ノ消費ハ千八百十三年ニ於テ千七百九十四年ニ及ハサルナリ(同年ノ稅ハ僅ニ三十二シルリング)硝子ノ如キハ開明國ニ於テハ其用最モ擴張スル所ノ者ナルニ其消費ノ却テ減少シタルハ租稅ノ爲メニ率掣ヲ受ケ製造ノ進歩ヲ妨ケタルヤ疑ヲ容レサルナリマクラック氏ハ硝子ニ租稅ヲ課スルハ寧ロ窓稅若クハ家屋稅ヲ増加スルニ及カスト稱セリ其言ヤ當レリト云フヘシ英國アイヤランドヲ除キニ於テ千八百四十三年硝子稅ノ收入高千四百五十萬フランク〔五十七萬四千六十三ポンド〕ナリ

石鹼税ハ開明諸國ニ於テ往々行フ所ノモノニシテ英國ニ於テハ數百年ノ間之ヲ行ヒ佛國ニ於テハ佛普戰爭後之ヲ設置シ千八百七十八年ニ之ヲ廢セリ石鹼ハ硝子ノ如ク種々ノ物品ヲ製スルモノニアラス其製造モ亦單簡ニシテ變化少ナシ故ニ其製造者ノ點ニ於テハ石鹼税ハ硝子税ノ如ク不便ノ甚キモノアラス然ト雖モ石鹼ハ物ヲ清潔ニスルト公衆ノ健全ヲ計ルトノ爲メニ其使用ヲ擴張スルヲ最モ肝要ナル物品ノ一ニ居リ且ツ無數ノ營業ニ於テ盛ニ使用スル所ノ者ナリ故ニ一國ニ於テ石鹼ニ租税ヲ課スル時ハ營業ニ使用スル所ノ者ハ其租税ヲ免除セサルヘカラス然ラサレハ或ル製造業ハ頗ル負擔ノ重キヲ免レサルヘシ英國ニ於テハ石鹼ノ税久ク過重ニシテ千八百三十三年前ハ最モ普通ニ用ヒラル、石鹼(ハードソーブ)ノ税英量一「ポンド」ニ付三「ペンス」即チ三十「サントー」ナリ該税ハ石鹼ノ價ニ均キモノトス如何トナレハ租税ヲ負擔シタル後該種ノ石鹼ハ一「ポンド」ニ付六十「サントー」ニ賣ラレタルヲ以テナリ加之ナラス石鹼ノ製造ニ要用ナル獸脂トルペンタイン曹達ニモ租税ヲ課シタルヲ以テ石鹼カ租税ヲ負擔セシ「マクラック」氏ノ説ニ據レ

ハ實際其價格ノ一倍二割トナレリ而シテ營業ニ使用スル所ノ石鹼ノ租税ト雖モ敢テ之ヲ免除セヌ奸詐盛ニ行ハレタリ故ニ千八百三十二年ノ前五年間ハ諸製造ノ發達民富ノ増進盛ナリシニ拘ハラス石鹼ノ消費高ハ依然トシテ増加スル所ナシ實ニ石鹼税増加ノ爲メニ惹起シタル密賣ニ便ヲ與ヘタルハアイヤランドニ於テ石鹼ニ租税ヲ課セサリシニアリ千八百三十三年普通石鹼ノ税ハ其半ヲ減シ(三「ペン」ヲ減シテ一「ペニ」半トシ)他ノ種類ノ石鹼税ハ其五分ノ二ヲ減セリ(一「ペニ」四分ノ三ヨリ一「ペニ」トセリ)此ノ如ク租税ヲ減シタルカ爲メニ大ニ石鹼ノ消費ヲ増シ收入ノ減少ハ四割乃至四割五分ニ達スヘキニ僅ニ二割五分ニシテ止レリ千八百四十三年ニハ石鹼税ノ收入高殆ト二千三百萬「フラン」ナリ(八十九萬二千二百六十三「ポンド」)佛國ニ於テハ千八百七十四年ヨリ千八百七十八年マテ石鹼税ヲ行ヘリ其税率ハ英國ヨリ輕ク且ツ營業ニ使用スル所ノ石鹼ハ租税ヲ免除セリ然レトモ實際ニ於テハ悉ク免除ヲ蒙ラサリシナリ如何トナレハ小製造家ニシテ少量ノ石鹼ヲ使用セシ者ハ免除手續ヲナスノ煩ヲ厭ヒシヲ以テナリ右ノ如キ形情ニシテ該

税ノ收入高ハ千八百七十七年ニ六百十五萬六千「フランク」トナレリ該税ノ如キハ徹頭徹尾良税ト云フヘカラス只財政ノ困難ニ當リ萬止ムヲ得サル時ニ於テ之ヲ行フヲ恕スヘキノミ

諸税ノ中頗ル無法ナル者ヲ鍊瓦税トナス加フルニ鍊瓦ニ租税ヲ課スルモ石ニ租税ヲ課セサルヲ以テ中等以下ノ家屋ハ富民ノ住家ノ負擔セサル所ノ租税ヲ負擔スヘシ豈ニ不公平ト云ハサルヲ得ンヤ英國ニ於テハ鍊瓦ノ税ハ物品ノ粗精ニ應シ千箇ニ付五「シルリング」十「ペンス」若クハ十「シルリング」ニシテ千八百四十三年ニ於テ其收入高凡ソ九百萬「フランク」三十五萬五千二百八十一「ポンド」ニ達セリ千八百三十三年以前ハ英國ニ瓦税アリ元來家屋ノ材料ナル鍊瓦若クハ瓦ノ如キ久キニ堪フヘキ物品ニ課スル所ノ租税ハ其設置後物品ヲ買フ者ノ資本税ニ相當スルノ不便アリ而シテ其設置以前ニ該品ヲ購求セシ者ハ毫モ之ヲ負擔セサルモノナリ故ニ該税ヲ設置スル時既ニ家屋ヲ建築シ終リシ所ノ某甲ハ鍊瓦税若クハ瓦税若クハ石板税ヲ拂フコトナキニ家屋ノ建築ニ着手シテ未タ成ラサル所ノ乙某ハ家屋建築ニ使用スル所ノ資本

ニ租税ヲ負擔セサルヘカラス此ノ如キ不便ハ暫時ニシテ消費セラレ一時ニ要スル所ノ量常ニ甚タ小ナル物品ノ租税ヲ設置スル場合ニ於テ見サル所ノモノナリ右ノ如ク鍊瓦若クハ瓦ニ租税ヲ課スルヲ止メテ少シク建築ニ課スル所ノ租税ヲ増加セハ却テ遙ニ簡單ナルヘク且ツ遙ニ公平ナルヲ得ヘシ

皮革税ハ英國ニ於テ久ク行レ佛國ニ於テモ舊時皮革押印ノ名ヲ以テ租税ヲ課セシヨアリ之ヲ廢セシハ實ニテ「ユルゴ」氏ノ力ニアリ千八百十二年ヨリ千八百二十二年マテ皮革税ハ一「ポンド」ニ付三十「サンチム」三「ペンス」ヲ課シ千八百二十二年ニ於テ減シテ之ヲ半額トナシ千八百三十年ハ之ヲ廢セリ其減税以前ノ收入高ハ千五百萬「フランク」ニシテ以後ハ千萬「フランク」トナレリ元來皮革税ハ大ニ非難スヘキ者トス殊ニ皮革ハ粗生品トシテ頗ル有用ニ其用途甚タ廣キ者ナルニ之ニ租税ヲ課スル時ハ皮革ヲ以テ粗生品トナス所ノ營業ヲ妨ルヲ以テ該税ハ甚タ厭フヘキ者トス製造家ヲシテ種々ノ煩則ニ服從セシムルヨリハ寧ロ直ニ公衆ニ課税スルハ其實却テ少ナカルヘシ總テ製造品若クハ製造ノ粗生品ニ課スル所ノ租税ハ皆然リ千八百二十二年ノ減税

ハ其利微ニシテロホルト、ピール氏ノ云ヘルカ如ク公衆ヲ利セスシテ商賈ヲ利シタル者ナリ

千七百十年ヨリ千八百三十一年ニ至ルマテ英國ニ蠟燭税アリ佛國ニ於テハ佛普戰爭後蠟燭ノ税ヲ設置セリ然ルニ蠟燭ニ租税ヲ課スルハ余輩ノ思想ニ發セサル所ナリ況ヤ方今ハ蠟燭ノ用少ナキニ於テオヤ此ノ如キ思想ヲ起スハ實ニ不幸ト云フヘシ元來消費品ニシテ需用甚タ廣ク而シテ内地ニ於テ容易ニ生産セラルヘキ所ノ物品ハ決シテ租税ヲ課スヘカラス英國ハ蠟燭税ニ於テ之ヲ實驗シ佛國ハ摺附木税ニ於テ之ヲ行ヘリ是等ノ租税ハ百般ノ不便ヲ免レス其課スル所ノ者ハ日用品ニシテ其實價ハ容易ク見ルヲ得ヘキヲ以テ每次公衆ノ心ヲ激動シ煩則苛法租税上ニハ多ク免レ難キ者止ヲ得サルニ起リ奸曲常ニ盛ナルモノトス英國ニ於テハ貧民ト雖モ恣ニ自用ノ蠟燭ヲ製スルヲ許サス蠟燭ヲ製セント欲スル者ハ必ス先ツ内地税局ニ告ケ其蠟燭ノ量及種類ヲ申告シテ誓ヲナスヘキモノトシ若シ此手續ヲナサスシテ獸脂等ヲ變造シテ蠟燭トナス者アレハ苛重ノ罰ヲ科スルモノトセリ佛國ニ於テ

摺附木税徴收ノ爲メニ嚴法ヲ設ケ國民ノ歡ハサルハ吾人ノ共ニ知ル所ナリ英國蠟燭税ノ收入ハ千二百五十萬フランクニ過キス而シテマクラック氏ノ說ニ據レハ其奸曲詐誓煩苦ヲ生セシ者ハ實ニ小ナラスト云フ佛國摺附木税ノ政府ニ收入スル者ハ千六百萬フランクナリト雖モ右ノ額ヲ以テ徴收ヲ請負タル會社ハ殆ト將ニ産ヲ破ラントス而シテ政府ハ該税一年ノ收入高ノ三倍ニ當ルヘキ資本ヲ以テ之ニ支給シ一方ニハ殆ト將ニ製造家ノ産ヲ倒サントス佛國ニ於テ千八百七十八年前七百三十萬フランクノ歳入ヲ得タル獸脂及蠟燭ノ税ハ其不便此ノ如ク大ナラス如何トナレハ蠟燭ハ驕奢物ニシテ且ツ其製産ハ大製造所ニ於テスルモノナレハナリ故ニ此租税ノ如キハ他ノ製造品ノ租税ニ於ルト一般ノ不利ヲ有スルノミ

右ニ枚舉スル所ノ諸税ハ方今英國ニ存在スルモノナシ英國内地税ハ現今頗ル簡單ニシテ分テ四級トナス蒸酒税モルト税營業免許税及他ノ收入(オツルレシート)此他ノ收入ト稱スル者ハ千八百七十六年度ニ於ル内地税ノ收入總高六億九千二百萬フランクノ中僅ニ三千萬フランクノ輸入ヲ生スル者ニシ

テ運輸稅汽車客室ノ價ニ課スル五分ノ稅貸馬車稅等ヲ含有スルノミ故ニ英國ニ於テハ蒸酒麥酒ノ外製造品ニ租稅ヲ課シテ營業ヲ妨ルモノナシト云フヘシ

財政上經濟上ノ智識ノ進歩スルニ從テ開明諸國ハ内地ノ稅法ヲ改正シカヲ極メテ百般ノ物品ニ稅スルノ法ヲ止メ消費ノ一般ニ涉ルモノニシテ檢定ノ容易ナル者數種ヲ撰ミ單ニ此數品ニ稅スルニ至レリ

諸國ニ於テ普通最モ重ク課稅スルモノヲ飲料、鹽、砂糖、煙草トナス時トシテハ穀粉及獸肉ニ稅スル者アリ是等ノ如キ消費ノ一般ナル物品ニ課スル所ノ租稅ノ外附屬稅トシテ被稅品ノ製造家及小賣商ニ營業免許稅ト稱スル者ヲ輕課ス而シテ又余輩カ已ニ前篇ニ論究セシ所ノ運輸稅ヲ課スル者少ナカラス何故ニ租稅ヲ課スヘキ物品ヲ撰フニ某ノ物品ヲ取リテ他ノ物品ヲ捨テタルヤ其理由ハ甚々繁雜ナリト雖モ要スルニ經濟上及公平不偏ノ點ヨリハ重ニ財政ノ點ニアリト云フヘシ概シテ諸國ニ於テ撰テ以テ租稅ヲ課スル所ノ物品ハ皆相同シ是他ナシ其消費甚々大ニシテ且ツ政府ニ於テ之ヲ知ルノ容易

ナルカ爲メナリ然ラハ則チ某ノ物品ニ租稅ヲ課スルハ二様ノ思考ニ出ル者ト云フヘシ則チ鹽ノ如キハ海邊若クハ坑山ニ於テ產出スル者ニシテ又他所ニ於テ生産シ得ヘキ者ニアラス砂糖ノ如キハ往時ハ歐洲ニ於テ生産セヌ專ラ外國ニ於テ生産セシ者ナリ煙草モ亦其初メ外國ヨリ輸入セシ者ナリ已ニ二様ノ思考アルニ又時トシテ煙草若クハ「ブランデー」ノ如キハ衛生ニ害アリ若クハ公衆ノ道德ヲ損スル者トシテ租稅ヲ課スルノ適當ナルヲ唱ヘ立法官ハ人民ノ衛生及風俗ノ後見人ヲ以テ自ラ居ルカ如キヲアリ然ルニ衛生上道徳上ノ思慮ハ租稅設置ノ後ニ起リシ者ニシテ甚々博會シタル説ト云フヘシ立法官豈ニ是等ノ物品ニ稅スルハ生産ノ性質トシテ租稅ヲ課スルノ容易ナルニアルヲ知ラサランヤ只其苛酷ヲ蔽ハンカ爲メニ此ノ如キ説ヲナスニ過キサルノミ

内地稅徵收ノ方法數種アリ大要分テ四種トナス

第一 製造家ノ「エキセルシース」

第二 「アボンマン」

第三 租税ヲ課セント欲スル物品ヲ生産スル土地ノ特別税

第四 製造若クハ賣捌ノ特占其特占ヲ有スルハ政府自ラ之ヲナスアリ又

ハ政府カ一會社ニ特占權ヲ附與スルアリ

第一ノ方法ハ政府カ租税ヲ課セント欲スル所ノ生産品ノ製造若クハ賣買ニ付テ嚴密ニ監察ヲナス者ニシテ主務ノ官吏ハ事業ノ進動ヲ注視シ粗生品製造品ノ入出ヲ監督シ製造所ヨリ出タル一切ノ生産品ニ租税ヲ課シテ脱漏ナカラシムルカ爲メニ常ニ製造所ニ派出スルヲ得ヘク又酒賣商ノ如キ小賣商ノ物品藏庫ニモ右ノ如キ監督ヲ施シ穴藏ニ入り積込ヲ檢査シ不足ヲ調査シテ之ニ租税ヲ課スルヲ得ヘシ又該法ハ近年佛國ニ於テ「ブランダ」酒製造者ニ施シタル如ク農業生産者ニモ之ヲ施スヲ得ヘシ凡ソ間税徴收ノ方法中國庫ノ爲メニ利ナルハ此檢束法ヲ以テ最トナス如何トナレハ此方法ニ依レハ租税ヲ課シタル物品ノ量ヲ知ルヲ最モ精密ニシテ且ツ奸曲ヲ防遏スルヲ最モ容易ナルヘケレハナリ然ルニ之ニ反シテ右ノ方法ハ多數ノ官吏ヲ要シ營業ヲ妨ケ進歩ヲ害シ且ツ官吏ハ檢査官トシテ被稅者ハ被檢人トシテ常ニ相

會合スルヲ以テ人民ノ政府ニ對スル感觸ヲ惡シクスル等ノ不便ヲ免レヌ加之ナラス該法ノ不便ハ國ト生産品ノ性質トニ依テ異同アリ農工ノ業大ニ偏集スル國ニ於テハ其諸方ニ散布スル國ニ於ルヨリ不便少ナシ英國ノ如キハ政府ノ監督ヲ受クヘキ製造家ハ僅ニ數十人ニ過キサルモ佛國ハ之ニ反シテ其監督數千ノ人民ニ及ハサルヲ得ヌ故ニ英國ハ檢束ノ方法甚タ嚴ナルモ人民カ之ニ堪ルヲ佛國ニ於ルヨリ容易ナリ

第二ノ方法ハ第一ノ方法ニ比スレハ遙ニ不精密ニシテ且ツ繞密ナラス其政府ニ收入スル所モ亦前法ニ及ハサルヤ敢テ疑ヲ容レサルナリ然ト雖モ其營業ヲ妨害スルヲ却テ少ナカルヘシ此方法ハ請負ノ一種ニシテ各個ノ商賈若クハ製造家又ハ辨理人又ハ市府ニ對シテ施スヲ得ヘシ製造家ニ向テハ政府ハ其器械及生産ノ方法ヲ調査シ其製造所ニ於テ生産シ得ル物品ノ平均高ヲ算定シ而シテ實際ノ生産高如何ヲ問ハス推定シタル高ニ租税ヲ課ス故ニ「エキセルシース」第一法ノ場合ニ於テハ檢定シテ租税ヲ徴收スルモ「アボンマ」ノ場合ニ於テハ推定ヲ以テ租税ヲ課スルモノナリ

第三ノ方法ハ營業上ニアリテハ却テ便ナリトス如何トナレハ營業ノ進歩ヲ妨碍セス營業者ハ租稅ヲ課セラレタル平均生産高ヲ超過シテ生産セント欲スルカ爲メニ却テ營業ノ進歩ヲ獎勵スルヲ以テナリマクラック氏カ引證シタル一例ニシテ余輩モ前篇ニ縷述シタル蘇蘭ニ於テ蒸溜器械ニ課シタル租稅ノ效驗ノ如キハ能ク其真ナルヲ示スモノト云フヘシ不幸ニシテ「アホンマ」ハ單ニ重要ナル製造家ト締フヲ得ルヲ以テ通規トス然ト雖モ又之ヲ廣ク一般ニ施スノ方法ナキニアラス則チ租稅ヲ課スルニ生産品ニ於テセス事業ヲナス所ノ器械ニ於テスヘシ例ヘハ酒精ニ稅セント欲セハ生産セラレ若クハ賣買セラレタル酒精ノ高ニ稅セスシテ蒸溜器械ニ課スルカ如キ又ハ稀ニ行ハル所ナレトモ若シ能クスヘクハ計量器械ヲ以テ租稅ヲ課セント欲スル物品ノ生産高ヲ量リ其概量ヲ得ルカ如キ是ナリ此方法タル以太利ニ於テ麥粉稅ニ用ル所ノ者ナリ之ヲ約言スレハ「アホンマン」ハ製造家ニアリテハ不便少ナシト雖モ其正乎ナルハ「エキセル」ニ及ハス

又「アホンマン」ハ葡萄酒小賣商ノ如キ小賣商ニ施スヲ得ヘク加之ナラス市府

若クハ地方ヲ一体トシテ之ヲ施スヲ得ヘシ市府ノ如キハ居民ヲシテ「エキセル」ニシテノ煩惱ヲ避ケシメンカ爲メニ政府ト約束ヲナシ一般ノ財源例ヘハ佛國ニ於テハ入市稅若クハ其他不便ノ少ナキ租稅ヨリ相當ノ額ヲ徵收シ之ヲ以テ其稅ニ代フルコアリ

間稅徵收ノ第三ノ方法ハ定額稅若クハ分級稅ヲ以テ租稅ヲ課セント欲スル物品ヲ生産スル所ノ土地ニ課スル者ナリ此定額ニシテ特別ナル租稅ハ通常ノ地租ニ増課スルモノニシテ甚々簡單ナルカ如ク且ツ此稅法ヲ長トスル者世ニ少ナカラス論者カ葡萄酒ニ租稅ヲ課スルハ平均ヲ得ヘカラス其徵收モ亦困難ナリ何故ニ之ヲ改メテ葡萄酒ヲ生産スル土地ニ地租ヲ附加セサルヤ砂糖稅煙草稅モ亦變シテ特別ノ地租トナスヘシト稱スルハ吾人ノ往々聞ク所ナリ日耳曼ニ於テハ此方法ヲ施シ煙草ノ製造賣買ハ之ヲ自由ニスト雖モ該品ヲ耕殖スル所ノ土地ニ課スル特別ノ稅ヲ以テス

此方法タル一方ニハ大便利アリ則チ若シ租稅ヲ畫一ニシテ葡萄酒ノ耕殖地甜菜ノ耕殖地煙草ノ耕殖地皆均ク一定ノ率ヲ課スルカ然ラサルモ三品ノ耕殖

地ヲ以テ土地ノ肥瘠(天造若クハ人造)ト生産品ノ美惡トニ應シテ三級若クハ四級ニ區分シ其等級ニ從テ稅率ノ輕重ヲナサハ稅法ノ簡單ナルハ實ニ言フヘカラサルモノアリ然ルニ一方ニハ又頗ル不便ナキニアラス則チ土地ノ生産スル所ノ者ヲ精密ニ計算スル能ハサルヲ以テ常ニ非常ノ不平均ヲ免レサルコト是ナリ例ヘハ葡萄酒ヲ耕殖スル所ノ土地「エクタール」ニシテ僅ニ十「エクタール」トリ「トル」若クハ十五「エクタール」トリ「トル」ヲ産スルモノアリ或ハ二百「エクタール」トリ「トル」ヲ産スルモノアリ然ルニ此ノ如キ肥瘠ノ差アル者ニ應シテ細密ニ特別地稅ノ階級ヲ分チ不平均ナカラシムルコトハ斷シテ爲シ得ヘキニアラス然レトモ僅少ノ不平均モ生産品ノ價格ニ同シキカ時トシテハ之ニ超過スル如キ租稅ニアリテハ決シテ輕視スヘカラス現ニ「ミデー」ノ葡萄酒ノ如キハ「トリ」トルニ付往々僅ニ十「サンチーム」若クハ十五「サンチーム」ニシテ此酒ニ係ル租稅ノ總額ハ葡萄酒ノ價ニ超過セリ此ノ如キ有様ナルヲ以テ葡萄酒ニ特別ノ租稅ヲ課シテ葡萄酒ニ係ル諸稅ニ代ヘ而シテ之ニ不平均アレハ某ノ葡萄酒園主ニ大幸ヲ與ヘ他ノ葡萄酒園主ニ大不幸ヲ生スルニ至ルヘシ然ル時ハ此稅法

ノ爲メニ政府否ナ消費者ハ或ル幸福ナル地主ニ一大進物ヲ與フルカ如キ結果ヲ生スルニ至ラン

今此稅法ヲ行フカ爲メニ生スル不精密ト不公平ヲ以テ現今地租臺帳ノ陳腐ニシテ地租ノ不精密ナルト不公平ナルトニ比較スルハ敢テ要用ナラサルヘシ實ニ地租配賦ノ不平均ナルハ言フニ忍ヒサルモノアリ然ト雖モ尙ホ之カ爲メニ耕殖上ニ影響ヲ生スルコト未タ甚シカラス如何トナレハ地租ノ額ハ土地ノ總收入高ノ小部分ニシテ十五分ノ一若クハ二十分ノ一稀レニ十分ノ一ニ達スルニ過キサレハナリ之ニ反シテ葡萄酒園若クハ甜菜耕殖地ニ課スル特別ノ稅ハ往々其總生産ノ全額ニ達シ時トシテハ之ニ超過スヘシ如何トナレハ現今酒若クハ砂糖ニ課スル所ノ稅額ハ時トシテハ生産品ノ總價格ニ超過クハ之ニ均キヲ以テナリ葡萄酒園若クハ甜菜耕殖地ニ課スル租稅賦課ノ不平均ハ經濟上社會上ニ影響ヲ來タスコト方今地租ノ配賦ノ不平均ヨリ甚シキコト十倍十五倍若クハ二十倍ナルヘシ今葡萄酒ヲ變シテ葡萄酒ニ稅シ砂糖稅ヲ變シテ甜菜耕殖地ニ稅スルハ特リ富裕ノ政府ニシテ消費稅ニ歲入ヲ要ム

ルヲ僅小ナル者ニアリテ始テ行フヲ得ヘシ實ニ葡萄酒稅若クハ砂糖稅ヲ減
 スルヲ五分ノ四ニ至ラハ初テ是等ノ租稅ヲ變シテ葡萄酒園稅甜菜耕地稅ト
 ナスヲ思フヘシ
 消費品ノ稅ヲ變シテ土地ノ稅トナスニ尙ホ一他ノ不便アリ而シテ其不便ハ
 小ナラス則チ生産地ニ特別ノ稅ヲ課シテ其生産品ノ負擔ヲシテ諸外國ニ於
 テ同物品ニ課スル所ノ者ヨリ輕カラシムルカ又ハ相均シカラシムルニアラ
 サレハ其特別稅ハ輸出ヲ妨害スルカ然ラサレハ輸出シタル葡萄酒若クハ砂
 糖ニハ租稅ノ拂戻ヲ行ハサルヘカラス方今諸國ノ行フ所ヲ見ルニ砂糖稅酒
 精稅葡萄酒稅ヲ課スルハ獨リ内國ニ於テ消費スル所ノ者ニ稅シテ輸出品ニ
 稅セス故ニ輸出品ハ一般ノ土地及諸營業カ共ニ負擔スル所ノ租稅ノ外ハ一
 切他ノ租稅ヲ負擔セスシテ外國市場ニ於テ外國ノ生産品ト競争スルヲ妨ル
 者ナシ然ルニ若シ甜菜ノ耕地若クハ葡萄酒園ニ特別ノ稅ヲ課シ而シテ殊ニ其
 稅率ヲシテ方今國庫カ葡萄酒稅砂糖稅ヲ以テ得ル所ノ歲入ニ均キ額ヲ得ヘ
 キ割合ニ達セシメハ佛國產ノ葡萄酒及砂糖ハ容易ク外國市場ニ於テ競争ス

ルヲ能ハサルニ至ルヘシ如何トナレハ是等ノ物品ハ内國ニ於テハ葡萄酒園若
 クハ甜菜耕地ノ特別稅ノ爲メ已ニ多少ノ負擔ヲ有シ而シテ又外國ニ入ルニ
 當テ輸入稅即チ消費稅ヲ課セラルヘケレハナリ是故ニ若シ葡萄酒若クハ砂
 糖ノ輸出ヲ妨ケサランヲ欲セハ内地ニテ生産シタル葡萄酒及砂糖ヲ輸出ス
 ル時ハ其輸出品カ葡萄酒園及甜菜耕地ノ特別稅ヲ負擔シタル部分ヲ拂戻サ、
 ルヘカラス然ルニ其拂戻ノ歩合ヲ平等ニシテ幸不幸ナカラシムルハ甚々困
 難ナルヘシ加之ナラス葡萄酒園若クハ甜菜耕地ニ特別稅ヲ課セサル諸外國ヨ
 リ輸入スル所ノ葡萄酒若クハ砂糖ニ課スルニ償補稅ヲ以テセントスル時モ
 亦困難ヲ免レサルヘシ
 總テ是等ノ不便ヲ避ルハ特ニ生産地ノ特別稅非常ニ輕クシテ例ヘハ葡萄酒園
 ノ如キハ一「エクタール」ニ付平均二十「フランク」若クハ二十五「フランク」ヲ超過
 セサル場合ニアラサレハ得ヘカラス此ノ如キ場合ニ於テハ輸出スヘキ葡萄
 酒モ敢テ拂戻ヲ行フニ及ハサルヘシ
 消費稅徵收第四ノ方法ハ政府ニ於テ賣捌權若クハ製造權ヲ特占スルニアリ

此二者ノ特占ハ佛國ノ煙草ニ於ルカ如ク往々同時ニ兼有スルヲアリト雖モ其實ハ區分ノ明瞭ナルモノナリ故ニ政府カ其物品ノ製造權ノミヲ特有シテ賣捌權ヲ特占セサルヲアリ此場合ニ於テハ政府カ一度其物品ヲ製造シタル上ハ誰ニテモ之ヲ賣捌スルヲ許サ、ルナリ現ニ佛國ニ於テハ摺附木ニハ製造ノ特占ヲ有スルモ之カ賣捌ノ特占ヲ有セス之ニ反シテ嘗テ鹽ニハ賣捌ノ特占ヲ有シテ製造ノ特占ヲ有セサリシヲアリ煙草ニ至テハ賣捌製造共ニ之カ特占ヲ有セリ

特占ノ不便ハ諸國共ニ皆知ル所ナリ其不便トハ何ソヤ曰ク競争ノ患ナキカ爲メニ營業ハ偏ヘニ慣例ニ據リ只勞ヲ之レ厭フニ至リ進取ノ氣象去テ製造進歩セス苦慮焦心以テ公衆ノ嗜好ヲ謀リ其需ニ應センヲ力メサル是ナリ特占ヲ行フトキハ是等ノ不便ハ決シテ免ルヘカラスト雖モ或ル例外ノ生産品ニアリテハ特占ヲ行フモ可ナルモノアリ煙草ノ如キ是ナリ余輩ヲ以テ之ヲ見レハ煙草稅ノ如ク巨額ノ租稅ヲ徵收スルニ便ニシテ且ツ煩惱ノ少ナキ方法ハ特占ヲ措テ又他ニナカルヘシ佛國ニ於テ中央政府ノ煙草稅純收入ノ

額ハ殆ト三億フランクニ達ス他ノ諸國ニ於テハ此ノ如ク巨額ノ收入ヲ得ルモノヲ見ス實ニ巨額ノ經費ヲ要スル政府ニシテ經濟上ノ點ニ於テ生産ヲ妨害セサル所ノ租稅ヲ求ムルハ難シ故ニ現今ノ情勢ニテハ余輩ハ煙草製造ノ特占ヲ以テ頗ル美法ト稱セサルヲ得ス今此政府ニ要用ナル三億フランクヲ得ルニ生産一般ノ情況ヲ害スルヲ少ナク人民ヲ煩則ニ服セシムルヲ少ナキ方法ハ決シテ他ニ求ムルヲ得ヘカラス歐洲諸國ノ某政府ハ爭亂若クハ濫費ノ相繼キタルカ爲メニ巨額ノ經費ヲ要スル者アリ故ニ今其約束ヲ破ラヌ政府ノ事務ヲ停止セサルヲ欲セハ時トシテハ不良ノ方法ト雖モ政府ニ巨額ノ財源ヲ得ルカ爲メニ不良ノ最小ナル方法ヲ採擇セサルヘカラサルヲアリ然ルニ特占ノ一不便ハ習慣ニヨリ政府カ其特例法ナルヲ顧ミス之ヲ擴張シテ人民ノ私業ヲ損害スルニ至ルヘキヲ是ナリ佛國ニ於テハ佛普戰爭以後特占ヲ諸種ノ業ニ及ボサンヲ欲セリ佛國政府ハ從來煙草及ヒ火藥ノ特占ヲ有シ而シテ新タニ摺附木ノ特占ヲ始メ又嘗テ「ダイナマイト」製造ノ特占ヲナサントセリ此ノ如クニシテ次ヲ逐ヒ巨多ノ肝要ナル營業ヲシテ漸ク將ニ

政府ノ特占ニ歸セシメ其改良進歩ヲ妨ケントス凡ソ特占ノ中最モ不長ニシテ近世ノ人民ヲシテ憤懣ヲ抱カシムルヲ最モ甚シキ者ハ政府自ラ其特占ヲ有セス格段ナル會社ニ與ルニ特占ノ權ヲ以テシ租稅ノ徵收ヲ請負ハシムルニアリ佛國ニテ摺附木ニ施シタルハ此例証ニシテ公衆ハ其拂フ所ノ租稅ヲ以テ會社ノ利益ヲ增加スル者ト考ルカ故ニ政府ニ對スルヨリハ一層抵抗心ヲ増シ租稅ノ重キニ從テ奸詐益甚キヲ致シ又政府ハ其格段ナル會社ノ手代ニ許スニ密賣ヲ搜索調査スルノ權ヲ以テセサルヘカラサルニ至レリ然ルニ被稅者ハ私立會社ノ被稅者ニ公權ヲ分與スルヲ以テ甚々嫌シトセス又往時ノ租稅徵收請負法ノ記憶ハ既ニ人心ニ存セサルニ之ヲ再燃セリ故ニ佛國政府ハ摺附木ノ經驗ニヨリ將來ニ於テハ私立會社ニ製造ノ特占權ヲ附與スルヲ好マサルヘシ加之ナラス摺附木稅ノ設置ハ近世ノ財政史上ニ於テ愚舉ノ最モ甚キ者ニ列スト云フヘシ然ルニ之ニ反シテ以太利ニ於テハ政府ヨリ烟草ノ特占權ヲ得タル會社ハ能ク其任ヲ盡シ却テ政府自ラ特占ヲ有シタルヨリ遙ニ多クノ收入ヲ得タル者ノ如シ

消費稅徵收ノ四方法即チ「エキセル」シ「アボンマン」生産地ノ特別稅及製造若クハ賣捌ノ特占ノ外尙ホ或ル場合ニ於テ行フ所ノ一他ノ方法アリ然ルニ此方法タル補助ノ性質ニシテ特立ノモノニアラス則チ或ハ定額ヲ以テシ或ハ等級ヲ分チ等級ニ應シテ課スル所ノ租稅ニシテ某物品ノ製造若クハ小賣ノ業ヲ營ム所ノ各個人ニ課スル所ノ者即チ吾人ノ所謂ル營業免許稅是ナリ該稅ハ多少收入ヲ得ヘキモノナレトモ之ヲ布演シテ物品ニ課スル所ノ租稅ヲ廢シ代ルニ專ラ其物品ノ營業者ニ課スル所ノ租稅ヲ以テスルヲ能ハス然レトモ數種ノ物品稅中或ハ廢シテ其小賣商若クハ其商店ノ租稅ヲ增加スルヲ得ヘキモノアリ例ヘハ或ル國ニ於テ行ハル所ノ賣上稅ノ如キハ廢シテ酒店ノ稅ヲ加ヘ以テ之ニ代ルヲ得ヘシ此ノ如クスレハ其徵收ヲ簡易ニスルハ敢テ疑ヲ容レサルナリ

余輩ハ既ニ消費ノ大体ヲ論究セシヲ以テ今ヨリ進テ最モ普通ニ行ハル、所ノ諸ノ消費稅ニ就テ研究セン已ニ述タル如ク消費稅ヲ課スル所ノ重ナル物品ヲ鹽飲料砂糖烟草トナス請フ先ツ鹽稅ヨリ始メン

鹽ハ諸國一般ニ課税シタル者ナレトモ此租税ヲ廢シタル者少ナカラス英國及白耳義(白耳義)ノ鹽税廢止ハ英國ノ後ニアリ(ノ如キ是ナリ抑モ鹽税ハ其税率輕シト雖モ尙ホ頗ル收入ヲ得ヘキモノトス如何トナレハ該物品ハ其用最モ普通ニシテ其徵收モ亦大ニ容易ナルヲ以テナリ夫レ鹽ハ或ル格段ナル海岸若クハ鑛山ニ於テノミ生産スル者ニシテ隨意ニ何處ニテモ生産スルヲ得ヘカラス從テ奸詐行ハレ難ク又税率少シク重シト雖モ奸詐ノ行ハレサル者ナリ然ルニ財政ノ黠ヲ去リテ之ヲ見レハ鹽税ハ爭フヘカラサル不便アリ則チ課税ノ甚タ不平均ナル者ニシテ或人ノ言ヘルカ如ク分頭税ナルコト是ナリ是レ只ニ不便ナルノミナラス不良ノ税ト云ハサルヲ得ス夫レ下民ハ鹽肉若クハ鹽魚ヲ用ルコト殊ニ多シ故ニ富民ニ比スレハ鹽ヲ用ルコト大ナルヤ決シテ疑ヲ容レサルナリ尙該税ノ一他ノ欠點ハ鹽ハ工業若クハ農業ニ於テ使用スル所ノ者少ナカラス然ルニ該品ニ租税ヲ課スルハ鹽ノ使用ヲ妨ケテ充分ノ結果ヲ得難キモノアルヘシ殊ニ家畜蕃殖ノ如キ是ナリ又鹽税ハ國民ノ大部分ニハ假令嫌惡セラレサルモ鹽ヲ生産スル地方ノ人民ハ必ス大ニ之ヲ嫌

惡スヘシ如何トナレハ生産地方ノ人民ハ租税ノ爲メニ天與ノ富ヲ利スルコト意ノ如クナル能ハサルヲ以テナリ
 佛國ノ鹽税ハ昔日ハ「ガベル」ト稱シ頗ル重ク且ツ不平均ニシテ方今ニ至ルマテ該税ノ記憶ヲ存シ嫌厭ノ氣未タ已マス假令一般ノ民心ニハ其記憶ヲ存セス又大ニ之ヲ嫌厭セサルモ學士社會ニ於テハ當時ノ慘狀ヲ忘レス依然トシテ嫌惡ノ情ヲ絶タサルナリ余輩ハ今ヨリ往日ノ「ガベル」如何ヲ略述セン是レ佛國ニ於テ少シク鹽税ヲ増加セントスル時ハ常ニ立法院ニ於テ舊時ノ景況ヲ引証シテ其不可ヲ論シテ止サル所ナレハナリ
 歴史家ノ説ニ據レハ佛國鹽税ノ始テ設置セラレタルハ千三百四十二年プリップ、デ、ワルワノ時ニアリト云フ然レトモ其基ヲ定メ永續ノ租税トナリシハシヤール第六世ノ時ヨリス而シテ當時已ニ「ガベル」ノ名アリ「ガベル」ノ語ハ「ガベ」即チ贈與物ト云フ語ヨリ由來スト云フ「ガベル」ノ方法ハ數バ變更セシト雖モ其最後ノ形狀ニ由レハ該税ハ全國通シテ畫一ナラス其區畫ヲ分テ四トセリ即チ「グランドガベル」(大鹽税)ノ地方「ベチー」ト「ガベル」(小鹽税)ノ地方「レヂメ

「地方」一度鹽稅ヲ拂フテ後免稅スル地方「エキザム」地方免稅地方是ナリ
 大鹽稅ノ地方「キーケール」氏ノ説ニ據レハ佛國三分ノ一ハ殆ト佛國中央ノ全
 部ヲ包含セリ即チ「バリ」稅區「オレアン」稅區「トール」稅區「ブルヂ」稅區「ムーラン」
 稅區「ヂヨン」稅區「シヤロン」稅區「スワソン」稅區「アミエン」稅區「ルーアン」稅區カ
 エン稅區アレソソソソ稅區是ナリ右諸稅區内ニ於テ特別ノ權利ヲ有セシ場所
 アリシト雖モ大鹽稅地方ノミニテ鹽稅總收入額ノ三分ノ二ヲ出セリ收稅請
 負人ハ鹽卸賣ノ特占ヲ有シ鹽產所ニ於テ獨リ之ヲ得而シテ人民カ就テ鹽ノ
 供給ヲ得ヘキ所ノ鹽庫ニ之ヲ分配セリ鹽庫ニ二級アリ隨意賣ノ鹽庫租稅ノ
 鹽庫トス隨意賣ノ鹽庫ニ於テハ居民ハ其要スル所其欲スル所ニ從テ鹽ヲ買
 ヒシモノナレトモ年齢七年以上ノ者ハ一人ニ付割烹用食用トシテ少クモ一
 ケ年七「リ」ヴル「ヲ」消費セサルヘカラサリシモノナリ是レ則チ「ガベル」ノ義務
 ト稱セシ所ノ者ニシテ此義務ハ毎年ノ初メ六ヶ月内ニ果サハルヘカラサル
 モノトシ違フ者ハ嚴罰ニ處セリ豈ニ重歛ト云サルヘケンヤ尤モ窮民ハ此負
 擔ヲ脱セリ

租稅ノ鹽庫ハ沿海諸州若クハ免稅地方ノ諸州ニアリ各鹽庫近隣ノ地方ニ於
 テ拂フヘキ租稅ノ歩合ハ會議ヲ以テ之ヲ定メ該地方ノ市街村落ニ租稅ヲ配
 賦スルハ支配官ノ司トル所ニシテ鹽稅官吏ノ補助ヲ得テ配賦ヲ行ヒ課稅表
 ノ調製ハ之ヲ徵收吏ニ委ヌ徵收吏ハ每期三ヶ月ヲ一期トスノ八日間ニ於テ
 宗邑ノ鹽ヲ集メテ次ノ八日間ニ居民ニ「分配」セリ而シテ「ガベル」ノ義務ヨリ起
 ル所ノ鹽ヲ以テ鹽漬用ニ供スルヲ禁セリ右ノ如ク是等ノ地方ニ於テハ鹽稅
 ハ配賦稅ナリシ者ナリ大鹽稅ノ諸州ハ人口八百三十萬ニシテ其政府ニ拂フ
 所ノ者實ニ四千萬「フランク」ニ達セリ而シテ是等ノ鹽庫ニ於テ賣捌キタル鹽
 ノ價ハ一「キantal」量目百「リ」ヴル「ニ」付六十二「リ」ブル「ニ」シテ一人ノ消費ハ
 九「リ」ヴル「ト」十六分ノ一ニ當レリ即チ「ガベル」ノ義務ヨリ多キモノトス
 大鹽稅地方ノ課稅ハ頗ル重カリシト雖モ又其間特許ヲ有スル者アリ一ハ人
 ニ屬スル者一ハ場所ニ屬スルモノ是ナリ人ニ屬スル者ハ之ヲ稱シテ「フラン」
 「サレー」ト云ヒ場所ニ屬スルモノハ之ヲ稱シテ「リュ」ー「プリ」ヰ「イ」レ「ヂ」エ「ー」ト云
 フ「フラン」サレー「ハ」或ル在官者ノ鹽稅ヲ免除セラレタルヲ云フモノトス

「リュープリヴィレヂエー」ハ頗ル多ク其重ナル者ハ「カールブーロン」ト稱シノ
 ルマンヂーノ一部分ハ惣テ之ヲ包含セリ即チアヴランシドムフロンク―タ
 ンスモルターンカレンタンセーノローヴハロギユヴィールノ諸稅區及ヒバ
 ユー稅區ノ一部是ナリ當初該地方ニ於テ鹽ニ向テ拂ハレタル價ハ大鹽稅地
 方ノ價ニ比スレハ其四分ノ一ニシテ後ニハ増加シテ大鹽地方ニ於テ行ハレ
 タル租稅ノ五分ノ二ニ達セリ而シテ各人民ノ消費高ハ割烹用食用鹽漬用共
 之ヲ限り一人ニ付量目二十五「リ―ヴル」トナシ以テ人民カ過分ノ供給ヲ得テ
 大鹽稅地方ニ於テ密賣ヲナスノ路ヲ防禦セリ該地方ノ消費高ハ頗ル多ク大
 鹽稅地方ニ於ル消費高ノ二倍餘ニシテ一人ニ付十九「リ―ヴル」半ニ達セリ
 小鹽稅地方ハリヨ子―フオレヅボ―ヂヨレーマコン子―ヴエレーヴイヅハ
 レ―ブレスブエゼ―ヴハルロメ―プロヴハンスコムターダウフイ子―ラン
 ゲド―ル―シロンル―エルグノ諸州及ヒオーヴユルギコ州ノ一部ニシテ人
 口四百六十萬ヲ有セリ該地方ニ於テハ鹽ノ消費ヲ以テ人民ノ義務トセサリ
 シト雖モ消費者ハ王ノ鹽庫ニ依ラサレハ鹽ヲ得ル能ハサリシ者ナリ其價ハ

大鹽稅地方ニ於ル殆ト半額即チ一「キンタル」ニ付三十三「リ―ヴル」ト「ス―」ニシ
 テ消費高ハ一人ニ付十一「リ―ヴル」ト四分ノ三ニ上レリ而シテ外國ノ鹽肉ヲ
 用ルヲ禁シ外國ノ鹽魚ヲ買フ者ハ之ヲ償フヘキ稅ヲ拂ハシメタリ
 「レヂメ―」地方ハ重ニプロト―セーントンヂリム―ザンペリゴ―ルドホルデ
 レ―等ノ諸州ニシテ人口四百六十二萬五千ヲ有シ是等ノ地方ニ於テハ鹽稅
 トシテ微々タル運轉稅ヲ拂ヒタルノミ然レトモ近隣ノ諸州ト結ンテ奸曲ヲ
 行フヲ防クカ爲メニ防禦法ヲ施シ多少ノ不便ヲ與ヘタリ則チ該地方ノ居民
 ハ巨量ノ鹽ヲ藏スルヲ禁シ各個人ノ鹽ノ消費ハ其食用鹽漬用鹽共ニ制限ヲ
 設ケ鹽ヲ得ント欲スルキハ宗邑長ノ發シタル原籍証ヲ示スヲ必要トセリ其
 消費高ハ一人ニ付十八「リ―ヴル」ニ達セリ
 「エキザム」地方ハブリターギユアールトワカムブレシ―エ―ノ―フランドル
 ノ諸州ニシテ其名ノ如ク毫モ鹽稅ヲ課セス只他ノ諸州ニ接スル一二ノ場所
 ニ於テハ各人一個ノ鹽ノ消費高ヲ限リ六ヶ月以上ノ消費高ヲ貯藏スルヲ禁
 セリ

都テ右ノ税法ハ非常ニ嚴密ニシテ之カ執行モ亦甚々嚴密ナリシ此ノ如ク大鹽稅地方ニ於テハ人毎ニ鹽ノ量ヲ定メテ之ヲ購求スヘキ義務ヲ負ハシメ税法ヲ嚴密ニシテ割烹用食用ノ鹽ト鹽漬用ノ鹽トヲ分離シ少シク法則ニ違背スレハ之ヲ嚴罰ニ處シ其罪ト罰ト毫モ比例ヲ得ス又一財務會社ノ爲メニ租稅ヲ徵收シ官吏若クハ或ル格段ナル場處ノ爲メニ特別ノ税法ヲ設ルカ如キハ常ニ人民ノ疾惡ヲ招ク所ノモノニシテ佛國ノ舊鹽稅法カ大ニ人心ヲ失ヒタルハ當然ノ事ト云フヘシ余輩ハ尙ホ一步ヲ進メテ該鹽稅ノ非常ニ重キヲ示サン大鹽稅地方ニ於テハ人口僅ニ八百萬ニシテ其收入四千萬フランクヲ得タリ即チ一人ニ付五フランクノ割合トナル當時貨幣ノ價格ハ麥價ニ比較シテ第十九世紀ノ初メニ於ル貨幣價格ヨリ大ナル十割ヲ下ラス千八百四十四年ヨリ千八百二十九年ニ至ルマテ麥ノ價ハ一エクトリートルニ付平均二十フランク三十三サンチム即チ一セチエ若クハ二百四十クイヴルニ付三十一フランク七十一サンチムナリ然ルニルイ第十五世ノ時ハ一セチエノ價平均十九クイヴルルイ第十六世ノ時ハ二十一クイヴルナリ然ラハ則チル

イ第十六世ノ時ニセチエヲ買得タル貨幣ノ量ヲ以テ王政復古政府ノ時ハ僅ニ二セチエヲ買得ルニ過キササルモノト云フヘシ故ニ麥ノ價ニ比較シテ之ヲ見レハ假令貨幣ノ價ハ同キモ舊王政府ノ晩年ニ方テハ王政復古政府ノ時ニ比スレハ租稅ノ重キ十割ヲ下ラサルモノト云フヘシデ、フオヴィル氏カ一世紀間物價ノ變動ヲ調査シテ計算シタル所ニ據レハ農業勞力者ノ日傭勞銀ハ千七百八十八年ニ於テ六十サンチムニシテ其一家族一ケ年ノ歲入ハ休日休業アルカ爲メニ僅ニ二百フランクニ過キス當時家族ノ員數ハ今日ヨリ多カリシヲ以テ一家五口ト算スルモ妨ケナカルヘシ是故ニ大鹽稅地方ノ農業勞力者ハ二百フランクノ歲入ヲ以テ鹽稅トシテ二十フランク乃至二十五フランク即チ全歲入ノ十分一乃至八分一ヲ拂ヒタルモノナリ而シテ此輩ノ負擔セシ所ノモノハ只ニ鹽ノ一稅ニ止ラス尙ホ賦金貨物稅十一稅地主ニ納ル諸稅等ノアルアリ又デ、フオヴィル氏ノ說ニ據レハ千八百七十二年ニ於テ農業勞力者ノ日傭勞銀ハ平均ニ二フランク一ケ年一家ノ歲入八百フランクニ達セリ千八百七十六年一月八日刊行佛國經濟雜誌ニ於テデ、フオヴィル氏ノ

稿ナルレヴハリエーシオン、デ、プリズ、アン、フランスト題スル一項ヲ見ルヘシ
然ラハ則チ千七百八十八年ニ課シタル一口五、フランスノ鹽稅ハ千八百七十
二年ニ於テ一口二十、フランスノ稅ヲ課シタルト均キモノナリ現今ノ鹽稅ハ
一人ニ付一、フランスノ割合ニ達セス而シテ熱心該稅ヲ主張スル者ト雖モ未
タ嘗テ二、フランス七十、サンチム以上ヲ課セントセシ者アラス由是觀之ハ
現今ノ鹽稅ヲ以テ舊時ノ鹽稅ニ比スレハ其輕重難易等ノ差只ニ霄壤ノミニ
アラサルナリ

當世紀ノ初ヨリ以降佛國ニ於テ行フ所ノ鹽稅ハ大ニ舊時ノ鹽稅(ガベル)ニ異
ナリ現行ノ鹽稅法ニ據レハ鹽ノ賣捌ハ特占ニアラス其賣買ハ全ク自由ニシ
テ毫モ干涉スル所ナク加ルニ其稅率ハ常ニ輕小ニシテ今日ハ昔日大鹽稅地
方ニ於テ徵課セシ所ノ殆ント十分ノ一ニ過キス又其買手ニ於テ必ス或ル定
量ヲ購買セサルヘカラサルカ如キ義務ヲ存セス之ヲ以テ方今ハ鹽稅ノ徵收
甚タ易ク又昔日ノ如ク違法者ヲ以テ囚獄ヲ充溢セシムルノ不幸ヲ見ス
請フ尙ホ進ンテ佛國鹽稅ノ沿革ヲ示サン始メ佛國ノ鹽稅ハ革命ニ依テ廢棄

シ千八百六年ノ布令ヲ以テ再ヒ鹽稅ヲ設置シテ一、キログラムニ付一、デシ
ムトナシ次テ數月ノ後之ヲ増加シテ二、デシムトセリ千八百十三年再加シ
テ一、キログラムニ付四、デシムトセリ之ヲ最高率トス然レトモ往時大鹽稅
地方ニ於テ課シタル所ノ鹽稅ニ比スレハ其半ニモ達セサルナリ千八百十四
年ニ於テ稅率ヲ減シ一、キログラムニ付三、デシムトナシ千八百四十八年ニ
至ルマテ毫モ之ヲ動カサス同年ニ至リ其三分ノ二ヲ減シテ一、キログラムニ
付一、デシムトセリ爾後千八百七十年ノ戰爭ニ至ルマテ此稅率ヲ施シ戰敗
ノ後數々鹽稅ヲ倍加スルノ議アリテ遂ニ行レ他ノ諸間稅ト均ク鹽稅ハ四分
ノ一ヲ増課シ一、キログラムニ付十二、サンチム半ニ至リシハ實ニ痛歎ニ堪
ヘサルナリ

本文ニ「サンチム」半ノ增稅ハ設置ノ後暫時ニシテ之ヲ廢セリ
千八百六十八年鹽「バタ」ヲ輸出スル時ハ曩キニ徵課シタル鹽稅ヲ拂戻スヘシ
トセリ又農業若クハ家畜ノ豢養ニ用ヒタル鹽ハ其性質ヲ變更スル場合ニ於
テ其稅ヲ免除セリ然レトモ其性質變更ヲ調査スルハ常ニ容易ノ業ニアラス

千八百六十二年ニ曹達ノ製造ニ用ル鹽ノ稅ヲ免除セリ
 斯ノ如ク漸次鹽稅ノ法ヲ修正シカメテ其負擔ヲ輕減スルヲ計レリ請フ余輩
 ハ右ノ諸改正前ニ於ル鹽ノ消費如何ヲ示サン其稅率ノ重キ千八百四十八年
 ノ如キモ尙ホ之カ消費ヲ減縮セサルヲ見ン

年代	消費高 <small>キログラム</small>	稅率 <small>一キログラムニ付</small>	鹽稅收入高
千八百三十年	一九六、六七九、〇〇〇	三デシム	五八、六七七、〇〇〇
千八百四十年	二一八、二七九、〇〇〇	全	六四、九八一、〇〇〇
千八百四十七年	二三五、八〇〇、〇〇〇	全	七〇、四〇八、〇〇〇
千八百五十年	二五六、五四七、〇〇〇	一デシム	二五、六二三、〇〇〇
千八百五十九年	三〇六、二一四、〇〇〇	全	三〇、五八二、〇〇〇
千八百六十九年	三二九、九七五、〇〇〇	全	三二、八九七、〇〇〇
千八百七十六年	三〇一、三二八、〇〇〇	一デシム四分ノ一	三七、六六六、〇〇〇
千八百七十八年	ク	一デシム	三二、八九〇、〇〇〇
千八百五十二年ヨリ千八百六十二年ニ至ルマテハ曹達製造ニ使用シタル			

鹽ニ稅稅ヲ課シタリト雖モ表中ノ數ハ獨リ食用ノ消費額ヲ舉ルモノト知
 ルヘシ

斯ノ如ク稅率三分ノ二ヲ減シテヨリ二十年ノ後鹽ノ消費高ハ凡ソ四割ノ増
 加ヲ見ルニ過キス是レ他ナシ鹽ハ他ノ有用ナル物品若クハ人意ニ適スル物
 品ト異ニシテ食用ニ消費スル所ノ量ハ一定シテ増減スルモノニアラス假令
 極貧ノ民ト雖モ稅率三分ノ二ヲ減シタルカ爲メニ「リーヴル」若クハ「リ
 ヴル」ノ消費ヲ増スモノニアラス又富民ノ習慣モ稅率輕減ノ爲メニ敢テ變動
 ヲ起スニ至ラス是故ニ千八百四十七年ヨリ千八百六十九年ニ至ルノ間鹽ノ
 消費高四割ヲ増加シタルハ一ニハ人口ノ増加ニ由リ一ニハ家畜飼養ノ爲メ
 ニ鹽ノ用増加セシニ由ルト云ハサルヲ得ス然ト雖モ「キログラム」ニ付「デ
 シム」ノ稅稅ハ尙ホ重キニ過ク未タ農工ノ營業上ニ於テ大ニ鹽ノ用ヲ發達
 スルニ至ラサルヘシ佛普戰爭以降誤テ少時ノ間鹽稅ヲ増シテ「キログラム」
 ニ付十二「サンチム」半トナシ爲メニ大ニ鹽ノ小賣價ヲ騰貴シ尙「キログラ
 ム」每二十「サンチム」ノ稅ヲ加ヘタルカ如キ景況ヲ呈セリ又右ノ表ニ據レハ

此時代以後ハ少ク鹽ノ消費高ヲ減セシヲ見ルヘシ然ラハ則チ稅率ノ増加ハ微ナルカ如シト雖モ多少影響ヲ消費高ニ及ホシタルモノ、如シ右ニ示ス所ノ表ニ由テ之ヲ見レハ若シ農業上大ニ鹽ノ用ヲ擴張セント欲セハ佛國ノ鹽稅ハ之ヲ全廢スルノ善キニ如カサルナリ此舉ノ有用ナルハ決シテ疑ヲ容ルヘカラスト雖モ敢テ方今ノ急務ニアラス尙他ノ間稅ニ於テ先ツ改正ヲ要スルモノ少ナシトセサルナリ

英國ノ鹽稅ハ久ク重歛ニシテ佛國舊時ノ鹽稅ニ相似タルモノアリシト雖モ方今ハ之ヲ廢セリ余輩ハ深ク往年ニ溯リ其沿革ヲ講究セス今此ニ亞米利加獨立ノ戰爭以後ノ景況ヲ陳セン亞米利加ノ戰爭中英國ノ鹽稅ハ「ブツシエ」ル「ブツシエ」ルハ三十六「リートル」ト三分ノ一ニ付五「シルリング」ニシテ千七百九十八年マテ右ノ稅率ヲ施行シ同年ニ於テ増加シテ十「シルリング」トセリ右ノ増加ハ大ニ人民ノ苦情ヲ惹起セリ此ニ於テ千八百一一年下院ノ委員ハ調査ヲ遂ケ之カ報告ヲナスニ當リ鹽稅ハ公衆ノ嫌惡スル所トナルヲ甚ク國庫ニ收入スル所ノ者ヲ以テ其嫌惡ヲ買フニ足ラストナシ他ノ租稅ヲ以テ之ニ

代ノ「」ヲ請求セリ然ルニピット氏ハ該委員ノ說ニ反シテ千八百五年ニ於テ「ブツシエ」ルノ鹽稅ヲ增シテ「ブツシエ」ルニ付十五「シルリング」トナシ「凡ソ一「リートル」ニ付五十「サンチム」千八百二十三年ニ至ルマテ右ノ稅率ヲ行ヘリ然ルニスコツトランドニ於テハ僅ニ十「シルリング」ヲ課セリ右ノ租稅ハ百「キログラム」ニ付七十五「フランク」及五十「フランク」ニ當ル者ニシテマク「ラック」氏ノ說ニ據レハ被稅物品ノ價格ノ三十倍以上ナリシト云フ若シ顧ミテ佛國ノ鹽稅カ千八百四十八年以前ニ於テハ僅ニ三十「フランク」ニシテ千八百四十八年以降ハ十「フランク」ナルヲ見レハ英國鹽稅ノ苛重ナルヲ知ルヘシ千八百二十一年蘇蘭及英蘭ニ於ル鹽稅ノ收入高ハ百六十二萬五千「ポンド」即チ四千萬「フランク」餘ニシテ一人別ノ消費高ハ四「キログラム」八「グラム」ナリ千八百二十三年該稅ヲ減シテ「キログラム」ニ付十「サンチム」即チ百「キログラム」ニ付十「フランク」トナシ千八百二十四年ノ消費ハ僅ニ其量ヲ増加シ前年稅率ノ大ナル時ニ於ル被稅高ハ五十七萬二千七百三十七「キントル」ナリシモ同年ニハ五十八萬四千三百「キントル」トナレリ即チ一人別ノ消費高ハ四「キログラム」八

「グラム」ヨリ四「キログラム」十七「グラム」トナリシモノナリ之ニ依テ該稅ノ收入高モ亦四千六十四萬七千「フランク」ヨリ減シテ五百八十四萬三千「フランク」トナレリ然ルニ該稅ハ千八百二十五年以降之ヲ全廢セシヲ以テ改正稅率施行ノ日淺ク新舊相對比シテ改正鹽稅ノ影響如何ヲ知ルニ由ナシ然レトモ鹽稅廢止後ハ鹽ノ消費大ニ増加シ殊ニ農業上鹽ノ使用大ニ發達シタルハ疑フヘカラサルカ如シ「ポーター」氏ノ說ニ據レハ千八百四十四年一人別ノ消費高十九乃至二十「キログラム」ナリシト云フ之ヲ以テ千八百二十一年ノ消費高四「キログラム」八「グラム」千八百二十四年ノ消費高四「キログラム」十七「グラム」ニ比スレバ其増加ハ實ニ大ナリト云フヘシ又「マクラック」氏ハ「オーヂフレ」侯ノ說ヲ駁シテ千八百四十年鹽ノ消費高八千八百二十二年ニ於ル被稅高ノ三倍餘ナリシハ疑ヲ容レサル所ナリト稱セリ是等ノ諸說ハ敢テ疑フヘキモノナキカ如シ如何トナレハ鹽稅ヲ全廢スル時ハ大ニ鹽ノ使用ヲ増加スヘク殊ニ農業ニ於テ著シク其使用ヲ増加スヘケレハナリ然レトモ該品ニ租稅ヲ課スルニ當リテハ農業上ノ使用甚々困難ナルヘク假令其稅率ハ輕減シテ一「キログラ

ムニ付十「サンチー」若クハ二十「サンチー」トナルモ其消費高ニ至リテハ大ニ變動スル「ナカル」ヘシ抑モ鹽稅ハ歐洲諸國皆之ヲ行ハサルモノナシ「白耳義」及「日耳曼」ニ於テハ近年之ヲ廢止セリト雖モ以太利「墺地利」ノ如キハ尙之ヲ行ヒ頗ル巨額ノ收入アリ以太利ニ於テハ千八百七十六年七千八百萬「フランク」ヲ收入シ「墺地利」匈牙利ニ於テハ凡ソ三千二百萬「フローリン」即チ八千萬「フランク」ヲ收入ス然レトモ兩國共ニ鹽稅ヲ徵收スルハ特占法ニ依ルヲ以テ其收入高ヨリ粗生品ノ原價千二百萬乃至千五百萬「フランク」ヲ扣除セサルヘカラス請フ尙ホ鹽稅ノ徵收方法ニ就テ一言セン元來鹽稅ハ他ノ諸間稅ト均ク被稅品ノ生産ヲ妨クルモノナリ然レトモ舊時ノ鹽稅（「ガベル」）ノ嚴刻ナルニ比スレハ決シテ其比ニアラス方今鹽稅ノ徵收ハ邊境地方ニ在テハ關稅ノ所轄ニ屬シ内部ニアリテハ間稅ニ屬シ關稅間稅ノ兩事務局ハ各々其被稅品ノ製造及輸送ヲ監督ス鹽ノ製造所若クハ鹽釜ヲ設置セントスル時ハ必ス政府ノ許可ヲ得サルヘカラス鹽鑛鹽泉鹽井ニ就テハ參事院ノ決議ヲ經ルニアラサレハ

事業ヲ施スヲ得ス鹽ノ製造ハ検査ヲ受ケ製造所若クハ採鹽所ノ生産高ハ最低額一ケ年ニ付五十「キログラム」ニ達セサルヘカラスシテ其不足額ニハ租稅ヲ課ス邊境ヨリ十五「キロメートル」以内ノ地方ニ於テハ申告ヲナシ認可狀ヲ得ルニアラサレハ一切鹽ヲ運搬スルヲ得ス然レトモ是等ノ規則ハ非常ニ困難ニアラス大ニ國民ノ苦情ヲ惹起スルニ至ラス曹達製造ニ用ル所ノ鹽ハ租稅ヲ免除セシヨリ佛國ノ鹽稅ハ國內ノ營業及生産上ニ於テ大ニ害スル所ナシ

然ルニ尙ホ茲ニ鹽稅ノ缺點ト云フヘキハ其性質分頭稅ナルト是ナリ然ルニ分頭稅ナレハトテ斷シテ不可ナリトスヘカラス殊ニ歲入稅ヲ課シテ小歲入ヲ免除スル場合ニ於テハ其償補トシテ分頭稅ヲ課スルハ却テ可ナルモノトス或ハ云フ鹽稅ハ鄉村ノ居民ニ係ルコト多シト曰ク然リ然リト雖モ佛國ニ於テハ鄉村ノ居民ハ他ノ諸稅ヲ免ルコトアルヲ思ハサルヘカラス則チ其著シキモノハ入市諸稅是ナリ加フルニ鄉村ノ居民多クハ地主ナルヲ以テ自家用料ノ葡萄酒若クハ林檎酒ノ租稅ヲ負擔セス砂糖及ヒ咖啡ノ用少ナキヲ以テ砂

糖稅咖啡稅ヲ負擔スルコト少シトス斯ノ如ク論シ來ルト雖モ余輩ハ敢テ鹽稅ヲ存スルヲ以テ當然ナリト稱スルニアラス(其稅率ハ輕小ナルモ)然ト雖モ右ノ理由ナルヲ以テ國費甚タ大ナルニ當テハ鹽稅ヲ行フモ尙ホ恕スヘシト云フニ過キサルナリ

諸國ニ於テ消費稅ノ最大ナル者ハ之ヲ飲料稅トナス

佛國ニ於テ飲料稅ノ收入ハ千八百三十年ニ一億「フランク」アリ千八百五十年マテハ殆ント同一ノ額ヲ收入セリ千八百五十九年ニ至リ一億七千四百萬「フランク」トナリ千八百六十八年ニハ二億四千三百萬「フランク」トナリ千八百七十八年ニハ遂ニ四億千五百五十萬「フランク」ニ上レリ其他入市稅トシテ地方ニ於テ徵收スル者一億「フランク」外國産ノ飲料ニ課スル者數百萬「フランク」アルヲ以テ之ヲ合算スレハ佛國ニ於テハ國稅地方稅トシテ飲料ヨリ徵收スル所ノ者五億「フランク」以上ニ達ス若シ之ニ加フルニ咖啡ノ輸入稅ヲ以テセハ總額六億「フランク」ニ達スヘシ

英國ノ飲料稅ノ收入ハ尙ホ遙ニ巨額ナルモノトス千八百七十六年度ニ於テ

蒸酒税ノ收入獨リ二千百萬ポンドニシテ其千四百八十七萬三千ポンドハ内地ノ間税ヨリシ五百七十六萬九千ポンドハ關稅ヨリセシモノナリ而シテモルト税ノ收入ハ八百萬ポンドニ達シ葡萄酒ノ輸入税ハ百七十三萬八千ポンドナリシヲ以テ合計凡ソ三千五十萬ポンドノ收入トス若シ之ニ加フルニ營業免許税營業免許税ハ少ナクモ其半ハ小賣商ニ課スルモノナリノ收入高ヲ以テセハ凡ソ三千二百萬ポンド即チ八億フランクニ達スヘシ是レ則チ英國ニ於テ酒類ヨリ徵收スル所ノ稅額トス然ルニ若シ尙ホ之ニ加フルニ咖啡稅茶稅ノ收入ヲ以テセハ四百萬ポンドヲ増加スヘキヲ以テ英國ニ於テ内國產外國產ノ飲料ニ課シテ收入スル所ノ者ハ總額三千六百五十萬ポンド即チ九億フランクトナル實ニ英國政府歲入ノ半額ハ飲料稅ヲ以テ之ヲ得ルモノト云フヘシ

魯西亞ニ於テハ飲料稅ノ收入ハ關稅ヲ以テ收入スル所ノ者ヲ除キ二億ルーブル即チ八億フランクナリ如ク諸國皆飲料稅ヲ以テ歲入ノ重要ナル者トナスト雖モオーストリアノ諸殖民地ニ至テハ之ヲ重要ナル財源トナス

ニ足ラサルナリ

概シテ飲料稅ハ北國ニ於テハ南國ニ於ケルヨリ其收入多ク且ツ其徵收モ亦容易ナルヲ常トス就中英國ノ如キハ其收入ノ佛國ヨリ大ナルニ拘ラス飲料稅カ民ヲ疾シメ嫌惡セラルヘハ佛國ニ於ルヨリ小ナリ其理由一ニシテ足ラス請フ之ヲ示サン第一北國ノ人民ハ南國ノ人民ニ比スレハ持重ニ乏シク諸國ニ於テ皆最モ重課スル所ノ蒸酒ヲ濫用スルヲ甚シ第二北國ノ人民殊ニ英國人ハ外國產ノ飲料并ニ内國製ノ飲料ヲ用ルヲ多シ則チ外國產ノ飲料ニハ茶内國製ノ飲料ニハ麥酒是ナリ第三北國ニ於テハ葡萄酒ノ如ク簡單ニ生産シ得ヘキ飲料ヲ生産セス第四殊ニ英國ノ如キハ農工ノ業共ニ洪大ノ經營ヲナスト盛ニ行ハレ麥酒釀造所蒸酒蒸溜所ノ如キ其數僅小ニシテ構造大ナルヲ以テ租稅ヲ徵收スルノ便少ナカラス

佛國ニ於テハ全ク之ニ反シ其生産最モ盛ナル葡萄酒ヲ生産スル者ノ如キハ其數數十萬人アリ而シテ是等ハ皆政府ニ於テ最モ嚴密ニ課稅スル所ノ酒精ヲ製造シ得ヘキモノタリ加フルニ葡萄酒ハ其價格數種ニシテ大小ノ等差甚

ク甲ノ種類ハ乙ノ種類ニ對シテ百倍ノ價格ヲ有スルモノアリ而シテ政府ハ之ヲ區別スルノ勞ヲ執ラス又ハ之ヲ區別スル能ハサルヲ以テ皆同一ノ租稅ヲ課ス是故ニ佛國ノ飲料稅ハ殊ニ堪ヘ難クシテ嫌惡セラル、其甚ク數十萬ノ生産者ヲシテ諸ノ規則及嚴酷ナル究問ニ服事セシメ又其稅率ハ物品價格ニ一ト百トノ大差アルニ拘ハラス一品一率ナルヲ以テ其負擔ノ貧民ニ於ルハ富民ヨリ重ク偏重ノ甚キ頗ル民心ニ適セサルナリ若シ飲料稅ヲ全廢スルカ假令之ヲ全廢セサルモ日用ノ飲料ナル葡萄酒林檎酒麥酒ノ稅ヲ廢シ獨リ酒精及咖啡ノ稅ヲ課セハ殊ニ酒精ノ稅ヲ輕課シ佛國ノ大利トナルヘキヤ疑ヲ容レサルナリ萬一此ニ至ラハ人民カ政府ヲ敵視スルノ心ヲ減シ官民ノ間ヲ調和スルヲ得ン英國ノ如キハ勞力社會ノ食用ニ供スル所ノ消費品ハ總テ租稅ヲ除スルノ主義ヲ執リ漸ク擴張シテ諸物品ニ及ヒ方今ハ大ニ課稅品種ヲ減セリ然ルニ佛國今日ノ景況ヲ見ルニ勞力者ノ消費品ニシテ租稅ヲ課スル所ノ者頗ル多キニ過ルカ如シ其咖啡砂糖ニ課スル者ノ如キハ重シト雖モ之ヲ負擔スル者ハ敢テ堪ヘサルニ至ラス然ト雖モ葡萄酒林檎酒麥酒ニ至テ

ハ之ヲ廢スルノ利小ナラサルヘシ

抑モ佛國ノ飲料稅ハ稅法ノ點ニ於テ分テ三級トナス

第一 葡萄酒林檎酒梨酒蜂蜜水(蜂蜜水ハ方今殆ト之ヲ用ル者ナシ)

第二 「ブランデー」蒸酒類「リキュール」酒

第三 麥酒

咖啡及茶ノ如キ外國ノ產品ハ右ノ諸級ニ列セス如何トナレハ是等ノ物品ハ關稅ヲ以テ租稅ヲ徵課スレハナリ然ルニ咖啡ノ代用物タル「シコレ」ハ内地ニ於テ稅關ノ咖啡稅ニ均シキ租稅ヲ課ス

第三級ノ飲料稅ハ各々稅法ヲ異ニス葡萄酒林檎酒梨酒蜂蜜水ハ課スルニ運轉稅(ドロワ、デ、シルキ、ユラシオン)小賣稅入市稅ヲ以テス然レトモ此三種ノ租稅ハ同時ニ同品ニ課シテ重複スルモノニアラス運轉稅ハ其實消費稅ニシテ巨量ノ酒ヲ一時ニ買入ル、所ノ者ヨリ徵收シ小賣稅ハ小量ノ酒ヲ買フ者ニ課シ決シテ同一ノ飲料ニ對シテ右ノ二種ノ租稅ヲ課スルニアラス入市稅ハ市邑入市稅(オクトロワ)ヲ課スル場所ニ於テ課スル所ノモノニシテ運轉稅若

クハ小賣税ト重複ニ賦課スルモノナリ千八百七十五年以降幸ニ税法ノ改正アリ人口一萬以上ヲ有スル市府ニ於テハ小賣税ヲ廢シ專ラ入市税ヲ以テ之ニ代フルニ至レリ

「ブランデー」蒸酒類リキニ「酒」ニハ獨リ消費税ヲ課シ人口四千以上ノ市邑ニ於テハ尙ホ別ニ入市税ヲ課ス

麥酒ニハ專ラ製造税ヲ課シ又入市税ヲ課セス葡萄酒林檎酒麥酒并ニ蒸酒類ハ國税トシテ徵課スル所ノ諸税ノ外重要ナル市邑入市税ト稱スル地方税ヲ

賦課ス

尙ホ種々ノ法律ニ由リ卸賣商小賣商「ブランデー」製造家蒸酒製造家「リキニール」製造家麥酒釀造家ニ課スルニ營業免許税ヲ以テス營業免許税ハ同市邑ノ小賣商ハ都テ一定ノ額ヲ支拂フモノニシテ市邑ノ人口ニ應シテ多少アリ而シテ「巴里府」ハ特ニ税法ヲ異ニス余輩ハ後ニ之ヲ陳スルコトアラシ

佛國飲料税法ノ要領ハ凡ソ斯ノ如シ此ニ巧妙ナル著述家エミル、デ、チラール、ダン氏ハ其著書租稅論ニ於テ佛國ニテ飲料ニ課スルニ十六種ノ税ヲ以テス

ルヲ説ケリ其歷舉スル所過大虚飾ヲ免レス其舉ル所ノ税目中特ニ飲料ニ課スル所ノ者ニアラサルモノアリ又決シテ複課セサル所ノ者アリ今暫ク其當否ノ如何ヲ問ハスデ、チラール、ダン氏ノ所謂佛國ニ於テ逐次飲料ニ課スル所ノ十六種ノ税ト云フヲ舉レハ左ノ如シ

第一 地租

第二 無税運搬免許税(ドロワ、デ、パッサヴァン)

第三 未納税品運搬免許税(ドロワ、ダッキッタコーション)

第四 運轉税

第五 小賣税

第六 卸賣商ノ支拂フ所ノ營業免許税

第七 小賣商ノ支拂フ所ノ營業免許税

第八 生産者ニシテ葡萄酒ヲ小賣セント欲スル者ノ支拂フ所ノ營業免許

第九 蒸酒製造家ノ支拂フ所ノ營業免許税

第十 自ラ生産シタル葡萄酒ニ混スルニ「ブランダ」ヲ以テセント欲スル者ノ支拂フ所ノ營業免許稅

第十一 入市稅

第十二 河上運搬稅

第十三 堀割運搬稅

第十四 戰費副稅

第十五 市邑入市稅

第十六 或ル市府ニ於テ分頭及動產稅ノ償戻ヲ目的トシテ課スル所ノ入市稅

右ノ稅目ヲ一見スレハ忽チ其冗長ニシテ實ナキヲ知ルヘシ夫レ地租ハ獨リ麥ニ課スル所ノモノニシテ飲料ニ課セス毫モ消費者ノ負擔ニ歸セス僅ニ地主ノ所得ヲ分取スルニ過キヌ無稅運搬免許稅未納稅品運搬稅ハ「ヴィギユ」氏ノ云ヘルカ如ク(佛國租稅論第二卷百七十二葉ヲ見ルヘシ)敢テ存在スル所ノ者ニアラス此二者ハ或場合ニ於テ租稅ヲ免除スルカ爲メニ履行スヘキ手續

キナリ運轉稅小賣稅ハ決シテ兩立複課スル所ノ者ニアラス五種ノ營業稅ハ決シテ共ニ課スル所ノ者ニアラス其相並立セサルモノ多シ河上運搬稅堀割運搬稅ハ獨リ河渠ヲ通行スル所ノ飲料ニ係ルノミニシテ且ツ飲料ノ負擔スル所ノモノニアラス苟モ河渠ヲ通行スル所ノ商品ハ皆共ニ之ヲ負擔ス加之ナラス堀割運搬稅ノ如キハ堀割ヲ借用スル代料ニ過キサルモノナリ由是觀之ハ右ノ稅目ハ或ハ之ヲ重複ニ用ヒ或ハ租稅ト稱スヘカラサルモノアリテ大ニ其不當ナルヲ知ルヘシ若シ右ノ如クシテ稅目ヲ歷舉セハ尙ホ其目ヲ加フルヲ得ヘシ則チ鐵道ニ於テハ小急行若クハ大急行ニ依テ課スル所ノ運搬稅(「デ」ラールダン氏カ書ヲ著ハセシ時ハ未タ小急行ノ運搬稅ナカリシ)鐵道ノ領收書ニ用ル印紙領收書ニ用ル「サンチム」ノ印紙ノ如キ諸稅ハ皆「デ」ラールダン氏ノ枚舉セル所ノ稅目ニ列スルヲ得ヘシ佛國ノ飲料稅ハ收入ノ割合ニ苦情多ク賦課ノ際常ニ大困難ヲ免レス當世紀ノ始メ飲料稅ヲ再置セシニ方テハ其法頗ル簡易ニシテ今日ノ如ク繞密ナルモノニアラス革命ノ十二年(千八百四年)六月五日ノ法律ニ於テハ葡萄酒及林

檢酒ニハ目錄稅ノ名ヲ以テ麥酒及「ブランデー」ニハ製造稅ノ名ヲ以テ單一ノ
 租稅ヲ輕課セリ其一ハ卸シ賣ノ度毎ニ價ノ二十分一ヲ課スルモノニシテ都
 テ飲料品ヲ移轉スル時ニ於テ之ヲ徵收シ假令物品ノ所有主ヲ轉セサルモ其
 場所ヲ轉スレハ之ヲ課スル者一ハ小賣ニ於テ價ノ十分一ヲ課スル者ニシテ
 現今ノ稅法ハ實ニ此法ニ胚胎セシ者ト云フヘシ
 右ノ稅法ハ千八百八年ノ法律ヲ以テ之ヲ改メ葡萄酒及林檎酒ノ目錄稅ヲ廢
 シ卸賣ノ比例稅ニ代フルニ定額ノ運轉稅ヲ以テシ移轉ノ度毎ニ之ヲ徵收ス
 ル者トシ小賣稅ハ價格ノ一割ヨリ増シテ一割五分トナシ人口二千以上ヲ有
 スル地ニ於テ入市稅ヲ課スルノ法ヲ設ケ而シテ從來麥酒ニ課シタル諸種ノ
 稅ヲ集メ變シテ製造稅ノ一トセリ
 千八百十六年ノ法律ヲ以テ右法律ノ主旨ヲ再演セリ之ヲ以テ方今稅法ノ基
 礎トナス千八百十七年ノ法律ヲ以テ運轉稅ハ運轉ノ每度之ヲ徵課シ卸賣商
 若クハ小賣商ニ向ケ運送シタル飲料ハ其消費者ニ送付シタル者ト共ニ均シ
 ク租稅ヲ課セリ之ヲ以テ大ニ商業上ノ運轉ヲ妨ケタリ加之ナラス該稅ハ小

賣即チ貧民ニ賣與スル飲料獨リ運轉稅ト小賣稅トヲ負擔シ消費者ニ大賣シ
 タル者ハ運轉稅ノミヲ負擔シ又小賣稅ヲ負擔セサルヲ以テ大ニ不平均ヲ來
 セリ然ルニ此時ヨリ以降運轉稅ハ専ラ家内消費ノ爲メニ送附シタル飲料ニ
 課シ商業上ノ運轉ハ全ク之ヲ免セリ
 千八百二十四年ノ法律ハ蒸酒ノ複課シタル二種ノ稅即チ運轉稅一割五分ノ
 小賣稅ヲ合セテ單一ノ消費稅トセリ千八百十二年ノ布令ヲ以テ右一割五分
 ノ小賣稅ヲ擴張シテ大賣ト雖モ一割五分ノ稅ヲ課スヘシトナセシハ當時小
 賣商カ消費者ノ家ニ巨量ノ飲料ヲ送附シテ小賣稅ヲ避ケ特リ運轉稅ヲ拂ハ
 ントスルノ奸策盛ニ行ハレタルニ由ル
 方今ノ稅法ニ於テ飲料稅ノ區分ヲ三級トナスハ實ニ右ニ論述スル所ノ逐次
 ノ改正ヨリ生スルモノトス何ヲ以テ佛國ニ於テハ其外形頗ル簡單ナル目錄
 稅ノ法ヲ改メテ漸ク縝密ナル稅制ニ陥リシヤヲ尋ルニ目錄調製ノ非常ニ困
 難ナリシニ由ルモノニシテ此事情アリシハ佛國財產ノ區分非常ニ細密ナル
 ノ致ス所ナリ抑モ該稅賦課ノ爲メニ被稅品調査簿ヲ製スルニ十萬以上ノ吏

買ヲ要セリ此緊要ナル事務ヲ執ル者僅ニ一日五十「ス」即チ六「フランク」ノ俸給ヲ受ル所ノ日備員タラサルヘカラス而シテ被稅者ノ家ニ巡回スルヲ三百萬餘回課稅ノ口數ハ數十萬アルカ故ニ飲料品ノ運轉稅又ハ小賣商ノ稅ヲ以テ消費ノ際ニ葡萄酒ニ課スルニ由リ一層容易ナルトナリシナリ

請フ尙ホ進テ今ヨリ現今ノ稅法ヲ講究セン已ニ前ニ述ル如ク佛國ニ於テハ飲料品ヲ分テ三級トシ各々稅法ヲ異ニス即チ第一葡萄酒林檎酒梨酒蜂蜜水第二蒸酒第三麥酒是ナリ何ヲ以テ佛國ニ於テハ一切ノ飲料ニ畫一ノ租稅ヲ課セサルヤヲ尋ルニ元來蒸酒及麥酒ト葡萄酒林檎酒及梨酒トハ生産ノ情件ヲ異ニシ蒸酒及麥酒ノ製造ハ通例一層洪大ナル製造所ニ於テスルモノナレハナリ

第一級ノ飲料品即チ葡萄酒林檎酒梨酒ハ運轉稅小賣稅入市稅ノ一時トシテハ二ヲ課ス然ルニ運轉稅ト小賣稅トハ決シテ複課セス只入市稅ハ人口四千乃至一萬ノ市府ニ於テ運轉稅若クハ小賣稅ノ外ニ徵課ス而シテ單一ノ入市稅ハ千八百七十五年以後人口一萬以上ノ市府ニ於テハ皆之ヲ行フ

運轉稅ノ徵收ヲナスカ爲メニ飲料ノ運搬ヲナサント欲スル者ハ間稅ノ事務所ニ向テ其運搬スヘキ飲料品ノ量目種類及品位出發ノ地到達ノ地送出人ノ姓名住所運搬人ノ姓名住所受取人ノ姓名住所ヲ申告スルヲ要ス方今ハ運搬ヲナス毎ニ租稅ヲ徵課セスト雖モ右ノ手續ニ至テハ毎回之ヲ要ス而シテ右ノ申告ヲナス時ハ事務官ハ免許狀ヲ交付ス其免許狀ナキハ一切葡萄酒林檎酒梨酒蜂蜜水ヲ運搬スルヲ得ヌ尤モ旅行ニ携帶スル者一人ニ付三壺ニ限ルハ獨リ右ノ手續ヲ要セサル者トス然ルニ習慣ニ依リ消費者カ小賣商ヨリ購求シテ其住家へ運搬スル者ハ亦右ノ手續ヲ要セス事務官ノ交付スル所ノ免許狀ハ物品送出ノ時租稅ヲ納メタルト到達ノ時租稅ヲ納ムヘキト又租稅ヲ免除セラルトニ由テ租稅既納運搬免許狀「コンゼ」租稅未納運搬免許狀「アツキ、タ、コーシオン」若クハ免稅運搬免許狀「パツサヅハン」ト稱ス租稅未納運搬免許狀ヲ得ルニハ一ノ保證人ヲ要ス然ラサレハ保證トシテ稅額ヲ預ケ置クヘキ者トス而シテ其約束ヲ履行セシ時ハ到達地ノ事務所ハ租稅納濟ノ證書ヲ交付ス尙ホ其他物品ノ運搬延引シテ豫定ノ如クナラサル場合及豫メ間稅

事務所ニ届ヲナサレハ途次ニ於テ租税ヲ納ルコトヲ禁スルニ付テ他ノ手續ヲ要スルコトアリト知ルヘシ飲料品ヲ運搬スルニ當リテ免許狀ヲ携帶セサレハ物品ヲ沒收シ百フランク乃至六百フランクノ罰金ヲ科ス已ニ陳セシ如ク方今ハ物品ヲ運搬スル毎ニ必スシモ運轉稅ヲ課セス只少ナクモ二十五リトル以上ノ飲料ヲ直ニ消費者ニ送附シタル時ニ於テ之ヲ課ス其以下ニ至テハ皆小賣稅ヲ課ス

運轉稅ヲ課セサル場合ヲ分テ四トナス

第一 卸賣商小賣商及飲料品ノ賣買營業免許ヲ得タル一切ノ人民ヘ送付スル場合ニシテ是等ノ者ヘ飲料品ヲ送ルキハ必ス租税未納運搬免許狀ヲ附セサルヘカラス此ノ如クシテ卸賣商ヘ送ラレタル飲料品ハ稅吏ノ管督ニ歸シ不足高ニ課スルニ小賣稅ヲ以テス不足高トハ倉庫ニ於テ存在セサル分ニシテ租税既納運搬免許狀又ハ租税未納運搬免許狀ヲ提出セサル者ヲ云フ

第二 葡萄酒林檎酒梨酒ニシテ收穫ノ際製造所ヨリ穴藏若クハ倉庫ニ移

シ又ハ一ノ穴藏ヨリ他ノ穴藏ニ移ス者及借地人カ是等ノ酒ヲ地主ニ納ル分ハ運轉稅ヲ課セス然ルニ收穫ノ時此免除ヲナスハ同「カントン」若クハ隣邑ノ區畫中ニ止マルモノトス此場合ニ於テハ單ニ免稅運搬免許狀ヲ得テ運搬ヲナスコトヲ得ヘシ

第三 巴里府若クハ一般ノ「アホンマン」ヲ以テ租税ヲ請負フタル市府若クハ外國又ハ殖民地ヘ送付スル所ノ飲料ノ運轉稅ヲ課セス此場合ニ於テハ租税未納運搬免許狀ヲ得テ運搬ヲナスヘキモノトス

第四 醋商ノ購買シタル葡萄酒ニシテ變造シテ醋トナスヘキ者ハ運轉稅ヲ課セス

運轉稅ハ飲料品ノ種類ニ由テ異ナリ又地方ニ由テ一様ナラス只稅率ノ畫一ナルハ林檎酒梨酒ニシテ是等ノ酒ハ一「エクトリ」ニ付一「フランク」二十五「サンチ」ムヲ課ス之ニ反シテ葡萄酒ノ運轉稅ハ縣ニ由リ異ナリ而シテ諸縣ヲ分テ四級トナシ每級ノ諸縣ニ於ケル小賣價ノ平均ニ應シテ各級ノ稅ヲ定ム是レ多少運轉稅ノ平均ヲ得セシメンコトヲ謀リシ者ニシテ葡萄酒ノ價低

キ諸縣ニ於テハ稅率輕ク其價高キ諸縣ニ於テハ稅率重シ然ルニ實際ハ決シテ平均ノ比例ヲ得ヌ如何トナレハ葡萄酒ノ價ハ一定ナラス同縣内ト雖モ通例三倍四倍ノ差アリ往々十倍ノ差アリ又時トシテハ百倍ノ差アルヲ以テナリ

千八百七十年ノ戰爭以前ハ四級ノ運轉稅ヲ定メテ「エクトリートル」ニ付六十「サンチー」八十「サンチー」一「フランク」及一「フランク」二十「サンチー」七「リ」然ルニ戰敗後ハ之ヲ倍シタルヲ以テ副稅ヲ合セテ「フランク」五十「サンチー」一「フランク」二「フランク」五十「サンチー」及三「フランク」トナレリ若シ佛國葡萄酒價ノ兩端ハ「エクトリートル」ニ付十「フランク」ト五百「フランク」ナリトスレハ右ノ兩端ハ決シテ最高最低ニアラス其低キハ時トシテ十「フランク」以下トナリ高キハ五百「フランク」以上トナル運轉稅ノ割合ハ賣價ノ凡ソ一割五分乃至五分ノ間ニアルヲ見ルヘシ

小賣稅ハ運轉稅ヲ課セサル場合ニ於テ徵課スル所ノ者ニシテ小量ニテ賣リタル飲料品即チ千八百五十二年ノ布令以後一口二十五「リ」以下ノ賣高

ニ課スル者トス從前ハ樽詰「エクトリートル」二十五「リ」以下ノ賣買ヲ以テ小賣ト見做シタレトモ負擔ノ平均ヲ得セシムヘキ主意ヲ以テ改正ヲ加ヘ小量ノ購求ヲナス所ノ貧民ヲシテ非常ニ其負擔ヲ重フセシメサランヲ謀レリ是レ一ノ進歩ナリト雖モ甚タ不充分ナル者ト云フヘシ小賣稅ノ稅率ハ價格ノ一割ヨリ一割八分トナリ千八百五十二年以後ハ一割八分(副稅ヲ合セテ)ニシテ今日ハ一割八分一九二達セリ是レ獨リ飲料品ノ從價稅トナス然ルニ之ヲ課スルハ通例中等品以下ノ葡萄酒ニアリ元來小賣稅ハ之ヲ徵收スルノ難キ運轉稅ヨリ甚シ其方法ハ已ニ陳セシ所ノ二法即チ「エキセル」シ「ス」若クハ「アホンマン」ノ一ニ據リ居酒商旅人宿等日ニ月ニ年ニ消費スル所ノ者ハ皆小賣商ニ準ヌ又卸賣商ト雖モ運轉稅入市稅市邑入市稅ノ保證ノ爲メニ檢査ヲ免ル者ニアラス小賣商ハ商業ヲ始ルニ先立チ間稅事務所ニ向テ開業ノ事其場所飲料品ノ種類及其量ヲ申告シ商標ヲ有セサルヘカラス是等ノ規則ハ密賣ヲ防禦スルカ爲メニ施ス所ノ者トス又其場所ニ於テ消費スル小賣ニ付テハ官ノ許可ヲ得サルヘカラス而シテ小賣ノ場所一ト度定マル時

ハ小賣稅徵收ノ爲メ二條ノ調査ヲナサ、ルヘカラス即チ賣價ノ調査賣高ノ調査是ナリ葡萄酒林檎酒梨酒蜂蜜水ノ賣價ハ間稅事務官吏ニ申告シ賣店ノ最モ見易キ場所ニ其價附ヲ張出サ、ルヘカラス賣高ヲ知ルハ積入高ト不足高トヲ調査スルニアリ積入高ノ調査ヲ稱シテ「プリスマン、シヤルヂ」ト云フ此調査ヲ行フニハ先ツ惣テ飲料ノ運搬ヲナスニ先立テ其申告ヲナサシメ而ル後間稅事務官ハ積入ノ詐偽ヲ確知スルカ爲メ穴藏ヲ檢査スルノ權ヲ有シテ監督ヲ施シ事務官ノ檢査シタル酒樽ハ之ニ檢印ヲ附シ官吏ノ巡檢毎ニ前回ノ目錄檢閱後受入レタル飲料ノ量并ニ租稅未納運搬免許狀入市稅領收證ヲ提出シテ之ヲ示スヘキモノニシテ是等ノ書類ナケレハ奸詐ノ所業アルモノト見認メラル尙右ノ監督ヲ容易ニスルカ爲メニ小賣商ハ「エクトリートル」以下五「エクトリートル」以上ヲ入ルヘキ樽等ニテ飲料品ヲ受取ル「エ」ヲ禁シ又一時ニ種類ノ異ナル飲料三種以上ヲ賣出シ又ハ受入ル、ヲ禁シ且ツ葡萄酒ヲ壺詰ニスル時ハ官吏ノ立會ニアラサレハ之ヲ爲スヲ許サス小賣商ハ前回ニ提出シタル目錄ノ量數ヲ計算スルノ義務アリ官吏ハ其不足高

ヲ檢定シ其高ニ應シテ租稅ヲ徵收ス但左ノ諸件ヲ除ク

第一 卸賣ノ高此量數ニ就テハ租稅既納運搬免許狀若クハ租稅未納運搬免許狀ヲ示スモノトス

第二 腐敗若クハ亡失シタル飲料品

第三 家内ノ損失及消費ニ向テ百分ノ三ノ扣除高

右ノ方法ニ據テ定メタル租稅ハ毎季ノ末ニ納ル者ニシテ物品ノ賣ラル、ニ從テ之ヲ課スルコトヲ得ヘシ

小賣商ニシテ檢査ノ煩キニ堪ヘストナス者ハ「アホンマン」即チ請負拂ヲ請求シテ許可ヲ得ヘシ「アホンマン」ノ法ハ各個人ナル者アリ聚合ナル者アリ各個人ノ「アホンマン」ヲ分テ二級トス一ハ專ラ賣價ニ係リ一ハ賣價ト賣高ニ係ル「アホンマン」カ專ラ賣價ニ係ル時ハ價ノ調査ニ付キ小賣商ヲシテ煩冗ヲ避ケシムヘシト雖賣高ノ檢査ヲ免ルヲ得ス完全ナル「アホンマン」ニ至リテハ之ニ反シテ一切ノ檢査ヲ免ルコトヲ得ヘク物價及賣高ニ就テ徵收スル所ノ租稅ハ相當ト見認メタル稅額ヲ一時ニ納メシムル者ナリ而シテ「アホンマン」ノ期限

ハ一ヶ年ニ過ルヲ得ス但シ被稅者ヨリ之ヲ再願スル時ハ拒絕スルヲ得ス其請負拂ノ額ニ付紛議ヲ生スルキハ縣令ハ縣參事會ニ於テ之ヲ決ス然ルキハ右ノ租稅ハ毎月前納スルヲ得

聚合ノ「アボンマン」ハ市邑ノ小賣商三分ノ二以上ノ請求ニ依リ全邑ノ居民ヲシテ租稅ヲ拂ハシムルノ意ナリ但シ其請求ハ邑會ノ承認ヲ得ヘク請負拂ノ額ハ協議ヲ以テ之ヲ定ム若シ協議調ハスシテ紛議ヲ生スルキハ縣參事會ニ於テ縣令之ヲ定ル者トス而シテ右ノ額ハ代理員之ヲ各小賣商ニ分賦ス尤モ總小賣商ハ一体トシテ租稅ノ全額ヲ負擔スルノ責アリ納期ハ毎月ニシテ十二分ノ一ヲ納ム然ルニ此方法ハ實施セラルヘキ甚々稀ナリ尙茲ニ全邑ノ「アボンマン」(アボンマンゼラールパールコムミュン)即チ市邑庫ニ於テ小賣稅ヲ買請ルノ法アリ是レ聚合ノ「アボンマン」トハ大ニ相異ナルヲ以テ混視スヘカラス全邑ノ「アボンマン」ハ間稅局ノ承諾ヲ得ヘキモノニシテ租稅實際ノ負擔ヲ異ニス如何トナレハ飲料品ノ稅ナレハ通例之ヲ消費スル者ノ專ラ負擔スル所ナレトモ市邑庫ヨリ之ヲ支出スルヲ以テ總居民ノ負擔トナルヘケレ

ハナリ其買請ニ就テ定メタル金額ハ二週間毎ニ之ヲ間稅局ヘ送附セサルヘカラス市邑ニ於テ檢査ヲ避ルニ尙一他ノ方法ヲ用ルヲ得ヘシ則チ小賣稅及入市稅ヲ轉シテ單一ノ入市稅ニ換ルコト是ナリ此方法ハ人口四千以上ヲ有スル市府ニアラサレハ之ヲ施スヲ得サルモノトス邑會ハ之ヲ議スルニ當リテハ議員ト同數ノ卸賣商及營業稅ノ最高額ヲ拂フ所ノ小賣商ヲシテ會議ニ參セシメサルヘカラス千八百七十五年以降人口一萬以上ノ市府ニ於テハ小賣稅ヲ廢シテ單一ノ入市稅ヲ行ハサルヘカラサルコトナレリ

第三ノ租稅ハ常ニ課スル者ニアラスト雖モ或ル場合ニ於テ葡萄酒林檎酒梨酒蜂蜜水ニ課スル所ノモノニシテ之ヲ入市稅トナス該稅ハ國庫ニ收入スル所ノモノニシテ市邑入市稅(ドロワドクトロワ)ト混同スヘカラス之ヲ課スルハ少ナクモ總人口四千ヲ有スル市府ニシテ其他ノ消費ニ供スル一切ノ飲料品及他ヨリ輸入シタルト其地ニ於テ收穫シタルトヲ問ハス一切ノ葡萄酒ニ於テス其稅率ハ數々改正セラレ市府ノ人口ト縣ノ階級トニ從テ千八百五十二年以後ハ葡萄酒ニ於テ「エクトリートル」ニ付三十「サンチム」乃至二「フラン

ク四十「サンチー」ム林檎酒梨酒ニ於テ二十五「サンチー」ム乃至一「フランク」ノ間
ニアリ人口四千ヨリ一萬ニ至ルマテノ市府ニ於テハ入市税ハ運轉税若クハ
小賣税ノ外ニ之ヲ課シ人口壹萬以上ノ市府ニ於テハ千八百七十五年以降單
ニ入市税ヲ課ス

入市税ヲ課スルハ専ラ居民ノ集合スル處ニ於テス該税ヲ課スル所ノ市府ニ
飲料品ヲ送達スル時ト其輸入前ニ市門ニ設置シタル事務所ニ其旨ヲ申告ス
ヘキモノトス夜中ハ假令申告ヲナスモ輸入スルヲ許サス飲料品ヲシテ入市
税ヲ課スル市府ヲ通過セシメントスル時ト雖モ亦申告ヲナシ市門ニ於テ入
市税ノ額ヲ假納スルカ若クハ証人ヲ以テ保証ヲナスヘキモノトス然ル時ハ
事務所ニ於テ通過免許狀(パスデブ)ヲ交付ス而シテ其市府ヲ出ル時ハ嘗テ
假納シタル税額ヲ還付シ又ハ保証ヲ解放ス其市内ニ於テ二十四時間飲料品
ヲ滞在セシムル時ハ「トランシー」ト稱シテ租税既納運搬免許狀若クハ租税未
納運搬免許狀若クハ免税運搬免許狀ヲ徵稅事務所ノ吏員ニ引渡サハルヘカ
ラス該吏員ハ其飲料品出發ノ際ニ於テ檢査ノ上之ヲ還付ス元來入市税ハ申

告ノ際市門ニ於テ之ヲ納ルヲ本則トス然レトモ御賣商ハ甲種(リエル)若クハ
乙種(フイグチーフ)ノ暫時輸入免許ヲ得ルヲ得ヘシ然ルニ此免許ヲ得ント
欲セハ定量ノ飲料品ヲ輸入スルヲ要ス則チ初回ノ一度ハ葡萄酒九「エクトリ
ートル」若クハ林檎酒十九「エクトリートル」トス小賣商若クハ一個人ハ暫時輸
入免許ヲ得ルノ權ナシト雖モ恩典ニ依リテ之ヲ得ヘシ

第二級ノ飲料品即チ「ブランデー」蒸酒類若クハ「リキユール」ノ税法ハ第一級飲
料税ノ如ク繞密ナラス然ルニ其稅者ヲ煩ハスヲハ往々葡萄酒稅ニ讓ラサル
モノアリ此級ノ酒類ハ運轉税小賣税ニ代フルニ單ニ一般ノ消費稅ヲ以テス
往時ハ樽入ノ「ブランデー」及蒸酒ニ含有シタル純酒精一「エクトリートル」ニ付
正稅七十五「フランク」ヲ課セリ壺入「ブランデー」樽入及壺入「リキユール」ハ純酒
精トシテ租稅ヲ課セリ是レ租稅ヲシテ一層比例ヲ得セシメントヲ謀リシ者
ナリ如何トナレハ「リキユール」若クハ壺入「ブランデー」ハ通例上等品ナルヲ以
テナリ又カメテ酒精ヲ使用スル營業ヲ害セサルカ爲メニ性ヲ變シタル「ブラ
ンデー」及酒精ハ消費稅及入市税ヲ課セス然レトモ別ニ變性稅ト稱スル特別

ノ租税ヲ課ス全ク租税ヲ課セサル者ハ外國へ輸出スル所ノ酒精トス輸出品
 ノ租税ヲ免スルハ佛國ノ貿易上頗ル要用ナリト雖モ世ノ無識無慮ノ徒ハ往
 々之ヲ不可トスル者アリ嘗テ或ル地方ノ諸新聞紙ハ佛國ノ輸出酒精ノ諸税
 ヲ免除スルヲ難シテ云ヘルアリ是レ外國ノ消費者ヲ愛シテ佛國ノ消費者ニ
 與ヘサル所ノ殊恩ヲ施スモノナリト何ソ其謬レルヤ尙ホ佛國ノ生産ノ特占
 ヲモ有セサル物品ニ租税ヲ課シテ外國人ヲシテ之ヲ負擔セシムルヲ得ル
 モノト考ルカ如シ智力ノ乏キ亦甚シト云フヘシ若シ輸出ニ供スル物品ハ一
 切ノ租税ヲ免セサルカ假令一切ノ租税ヲ免セサルモ重ナル一切ノ租税ヲ免
 セサレハ外國ノ消費者ハ佛國ノ生産品ヲ買ハスシテ他ニ之ヲ求ムヘシ然ル
 時ハ佛國ノ生産ハ退縮シテ却テ國ニ損害ヲ來スニ至ラン葡萄酒ヲ強ムル爲
 メニ使用スル酒精ノ税ハ千八百二十四年ノ法律ヲ以テ一定ノ割合ヲ定メテ
 之ヲ免除セリ酒精ヲ加ヘテ葡萄酒ヲ強ムルハ頗ル要用ノ所業ニシテ或ル葡
 萄酒ニ於テハ保存ノ爲メニ欠クヘカラサルヲアリ此事ニ關スル法律ハ數々
 變更セラレ今日ハ頗ル嚴制ニシテ飲料品ノ貿易上ニハ大ニ嫌惡セラレ

尙ホ蒸酒類一般ノ消費税徴收ノ方法ニ付テ一言スヘキモノアリ間税事務局
 ハ生産ノ量ヲ檢定スルカ爲メニ蒸酒ノ製造ヲ監察ス「ブランデー」製造家蒸溜
 家ハ營業所ヲ設立スル時ハ前以テ其執業ノ時間ヲ申告セサルヘカラス而シ
 テ官吏ノ巡視ヲ受ケ又其製造高ヲ明記シ成規ニ從テ不足高ヲ報告シ其高ニ
 應シテ消費税ヲ納メサルヘカラス

自己ノ生産シタル葡萄酒ヲ變造スル所「ブランデー」製造家ハ通例官吏ノ檢
 査若クハ監察ヲ受ケスト雖モ租税ヲ拂ハサルヘカラス該税ハ酒ノ送出人ヨ
 リ納ルモ又ハ其受取人ヨリ納ルモ適意ニシテ送出人ヨリ納ル場合ニ於テハ
 遞送ノ際租税既納運搬免許狀ヲ交付シ受取人ニテ納ル場合ニ於テハ租税未
 納運搬免許狀ヲ交付ス自己ノ生産シタル葡萄酒ヲ變造スル所「ブランデー」
 製造家ハ斯ノ如ク檢査ヲ免ル者ナリシモ佛普戰爭以後ハ一層租税ノ徴收ヲ
 精密ニスルカ爲メニ其免除法ヲ廢セリ然レトモ五六十萬人ノ小製造家ヲ檢
 査スルハ頗ル困難ヲ免レヌ爲メニ苦情百出遂ニ再ヒ檢査免除法ヲ復セリ卸
 賣商及小賣商ハ直接ニ其受取リタル酒精ノ税ヲ拂ハスト雖モ其責任ヲ脱ス

ルヲ得スシテ官吏ノ検査ヲ受ケサルヘカラス佛普ノ戰爭以降一般ノ消費稅
 ハ樽入ノ「ブランデー」及蒸酒ニハ「エクトリートル」ニ付百五十六「フランク」ニ
 十五「サンチーム」トナリ壺入ノ「ブランデー」及「リキュール」ハ二百十八「フランク」
 七十五「サンチーム」トナレリ(副稅ヲ合算ス)
 尙ホ人口四千以上ヲ有スル市府ニ輸入スル所ノ「ブランデー」「リキュール」及酒
 精ニハ一般ノ消費稅ノ外國庫ニ收入スル所ノ入市稅ヲ課ス此國稅タル入市
 稅ハ地方庫ニ收入スル所ノ入市稅ト混視スヘカラス
 第三級ノ飲料稅ハ專ラ麥酒ニ課スル所ノ者トス麥酒ノ稅法ハ自ラ葡萄酒若
 クハ酒精ニ課スル者ニ異ナリ麥酒ノ種類ヲ分テ二トナス一ヲ強麥酒トシ一
 ヲ輕麥酒トス輕麥酒ハ少ナクモ二回絞取シタル大麥ノ糟ヲ以テ製スル者ナ
 リ千八百七十一年前ニ於テハ製造稅トシテ強麥酒ハ「エクトリートル」ニ付
 二「フランク」四十「サンチーム」輕麥酒ハ「エクトリートル」ニ付六十「サンチーム」
 ヲ課セリ千八百七十一年以後ハ熟セスシテ製シタル者ノ外一切ノ麥酒ニ課
 スルニ「エクトリートル」ニ付三「フランク」七十五「サンチーム」ノ稅ヲ課シ(副稅

ヲ合セテ)他ハ「フランク」二十五「サンチーム」ヲ課ス而シテ釀酒家ハ多少規則
 ヲ遵守スヘク稅額ヲ定ムルハ蒸釜ノ容量ニ由リ而シテ毎月ノ未檢定シタル
 量ニ就テ之ヲ増減ス其仕拂ハ現金ヲ以テスヘク又ハ保証セラレタル負債証
 書ヲ以テスヘシ間稅事務局ハ巴里府及人口三萬以上ヲ有スル市府ノ釀酒家
 ト協議ノ上一般ノ「アボンマン」ヲ許スヲ得ヘシ麥酒ノ運轉ニ付テハ一切ノ
 煩則及一切ノ租稅ヲ免ル然ラハ則チ物品ノ運轉ニ於テハ麥酒ノ稅法ハ葡萄
 酒若クハ酒精ノ稅法ニ優ルモノト云フヘシ
 余輩ハ諸種ノ飲料稅ヲ歴叙スルヲ終ルニ當リ尙ホ營業免許稅ニ付テ一言
 セサルヘカラス凡ソ飲料ノ何タルヲ問ハス營業ヲナスニ當リ前以テ申告ノ
 義務ヲ有スル者ハ營業ノ免許ヲ得サルヘカラス其免許稅ハ市邑ノ商業ト人
 口ノ如何ニ由リ一定ノ額アリ(本書第八篇ニ就テ營業免許稅ノ事ヲ參看スヘ
 シ)
 巴里府ハ飲料稅ニ付特殊ノ法アリ實ニ該府ノ如キ巨大ノ都内ニ於テハ飲料
 品ノ運轉ヲ監察シテ遺漏ナキヲ求ルハ到底能スヘキニアラス故ニ該府ニ於

テハ飲料税ヲ合同シテ悉ク入市税ニ歸セシメ巴里府内ニ於テハ「ブランデー」蒸酒類ノ蒸溜ヲナスヲ禁シ獨リ麥酒林檎酒梨酒ノ製造ヲ許セリ尤モ検査ヲ免除セス故ニ巴里府内ハ飲料品ノ運轉全ク牽掣スル所ナシ國稅トシテ巴里府内ニ於テ課スル所ノ入市税即チ行政上ノ語ニ於テ所謂ル代稅ハ千八百六十年以後葡萄酒ノ正稅一「エクトリートル」ニ付八「フランク」林檎酒ハ四「フランク」純酒精ハ九十一「フランク」ナリ千八百七十一年以降該稅ヲ増加シテ樽入葡萄酒ハ一「エクトリートル」ニ付十一「フランク」八百七十五「サンチーム」八十七「サンチーム」五ノ誤リカ詳ナラス暫ク原文ニ從フ「壺入葡萄酒ハ二十「フランク」樽入酒精ハ百八十六「フランク」二十五「サンチーム」壺入「ブランデー」及「リキュール」ハ一「エクトリートル」ニ付二百四十八「フランク」七十五「サンチーム」トナレリ右ノ數ハ正稅副稅ヲ合算シタル者ナレトモ市邑入市税ヲ含有セス

余輩ハ其叙述ノ長フシテ讀者ヲシテ倦色アラシムルヲ厭ハス飲料税ノ種類租稅ノ方法ヲ歴叙セリ其縝密ナル蓋シ又之ニ過クル者アラサルヘシ佛國飲料税規則ノ煩シキ困難ノ多キ混雜ノ甚キ皆飲料品生産ノ方法小圖自製即チ

小製造ノ夥多ナル之カ原因タリ小生産家ノ夥多ナルヲ以テ往々其產出物品賣價ノ全額ニ超過スルカ如キ巨額ノ租稅ヲ徵收スルコト頗ル困難ヲ極ム然ラハ則チ佛國飲料税ノ煩冗ニシテ舉國之ヲ悅ハサルハ故ナキニアラサルナリ」加之ナラス佛國飲料税ノ不平均ナルコト頗ル大ナリトス鄉村ノ財產家ニシテ樽入ノ葡萄酒ヲ買フ時ハ一「エクトリートル」ニ付一「フランク」五十「サンチーム」乃至三「フランク」ノ運轉税ノミヲ拂フ者ハ通例賣價ノ五分若クハ六分ニ過キサル所ノ輕税ヲ負擔シ勞力者ノ餘財ナク藏庫ナキ者ハ小買ヲナサヘルヘカラサルヲ以テ價格ノ一割八分ヲ拂フヘシ然ラハ則チ富裕ナル財產家ニ比スレハ其負擔スル所三四倍ニ達スルモノト云フヘシ千八百七十七年三月刊行ノ統計官報(ビュルタン、デ、スタチスチーク)ニ據レハ千八百七十六年ニ於テ運轉税即チ消費者カ一時ニ二十五「リートル」以上ノ葡萄酒ヲ買フ時ニ課スル者ハ被稅品ノ量二千八十九萬六千「エクトリートル」ニシテ四千二百五十七萬七千「フランク」ヲ收入セリ則チ一「エクトリートル」ニ付二「フランク」三「サンチーム」ニ當ル同年小賣税即チ小買ノ時ニ課スル者ハ被稅品ノ量五百七十萬「エクト

リートルニシテ四千七百十二萬五千フランクヲ收入セリ則チ「エクトリートル」ニ付九フランク「二十五」サンチ「ム」ニ當ル由是觀之ハ小賣稅ハ「エクトリートル」ニ付運轉稅ノ殆ト五倍ニ當ルモノナリ然ルニ小賣ニテ買フ所ノ葡萄酒ハ消費者カ直接ニ生産者ヨリ購求スル所ノ葡萄酒ヨリ通例上等品ナリト云フ「ハナカル」ヘシ然ト雖モ小賣ニテ買フ者ハ勞力者ナリ一時ニ巨量ヲ買フ者ハ富裕ノ民ナルヲ以テ之ヲ見レハ富民ノ負擔スル所ハ遙ニ下民ヨリ輕シト云ハサルヲ得ス殊ニ生産者ヨリ一時ニ二十五「リートル」以上高價ノ葡萄酒ヲ買フ時ハ租稅負擔ノ差益大ナルヘシ則チ富裕ナル消費者ニシテ市府ニ住セサル時ハ「エクトリートル」五百フランクノ葡萄酒ニ運轉稅僅ニ「二」フランク即チ零分六千分ノ六ヲ拂フノミ之ニ反シテ南方ノ葡萄酒ヲ小買スル所ノ勞力者ハ價ノ一割八分ヲ拂フヘクシテ富者ニ比スレハ三十倍ノ多キヲ拂フ者ナリ

此稅法ニ於テ尙ホ一他ノ不平均ナル「ア」リ則チ生産家カ自家用ニ供スル所ノ葡萄酒ハ租稅ヲ免ル「ア」是ナリ尤モ此免除ヲ得ルニハ只一ノ制限アリテ

其葡萄酒ハ同「カントン」内ノ一市邑ヨリ他ノ市邑マテ若クハ甲乙ノ「カントン」ニ隣接スル市邑ノ間ニアラサレハ之ヲ運搬スルヲ得ス右ノ如クシテ自家用料酒ニ租稅ヲ課セサルヲ以テ佛國人民ノ中一千萬人ハ收入ノ最多ナル國稅ヲ負擔セシテ葡萄酒若クハ林檎酒ヲ消費スルヲ得ルニ至ル然レトモ全ク此免除法ヲ廢スルハ能スヘキノ業ニアラス如何トナレハ生産家ノ自用ニ供スル者ニ租稅ヲ課セント欲セハ生産家ノ家宅檢査ノ法ヲ設ケ舊法ノ目錄稅ヲ再置セサルヘカラスシテ非常ニ苛刻ノ法トナルヘキヲ以テナリ千八百四十九年イポリツト、パッシー氏ハ葡萄酒免稅ノ區域ヲ減シテ同市邑内ヲ運搬スル所ノ者ニ限ルヘシトノ議ヲ廢セリ然ルニ一人ノ生産家ニシテ相隣接シタル甲乙ノ市邑ニ土地ヲ有スル者アルヘキヲ以テ不便ヲ免レサルヘシ然ラハ則チ之ヲ爲ス如何曰ク生産家カ自家用料ノ酒ニ特典ヲ有スルキハ飲料稅ノ不平均ヲ免レス此不平均ヲ避ント欲セハ少ナクモ葡萄酒林檎酒及梨酒ノ諸稅ヲ廢スルニ如カサルナリ

飲料稅第三ノ不平均ハ人口四千以上ヲ有スル市府ニ於テ國稅トシテ徵收ス

ル所ノ入市税トナス此不平均タル亦最小ニアラサルナリ已ニ陳セシ如ク入市税ハ運轉税小賣税ノ外ニ課スル所ノ者ニシテ市邑税トシテ課スル所ノ入市税トハ獨立ノ者タリ抑モ市府ノ葡萄酒若クハ林檎酒ノ消費ニ課スルニ重複ノ國税ヲ以テスルハ果シテ何ノ理アルカ余輩ハ之ヲ知ルヲ得サルナリ總テ飲料税ニ於ル是等ノ不平均ハ民心ヲ服スルニ足ラス公衆ヲシテ政府ハ富民ヲ保護シテ貧民ヲ苦ムル者ナリト思ハシムルニ過キヌ佛國ニ於テ品位ノ如何ヲ問ハスシテ畫一ノ租税ヲ課シ之カ爲メニ普通ノ葡萄酒ハ巴里府ニ於テ價格ノ一倍五割ヲ拂ヒ(市邑入市税ヲ合セテ)上等品ハ二分三分若クハ五分ヲ拂フヲ見ハ誰カ税法ノ紊亂ヲ怨マサランヤ誰カ之カ苦情ヲ唱ヘサランヤ

若シ果シテ普通一般ノ飲料品葡萄酒林檎酒及麥酒ノ租税ヲ廢スルヲ得ハ其利ハ決シテ鮮小ナラサルヘシ若シ意ヲ決シテ慎重ニ之ヲ謀ラハ之カ改正ヲ行フハ敢テ能シ難キ業ニアラサルヘシ則チ家賃税ヲ一般ニシテ且ツ之ヲ増加シ歲入税ヲ設置シテ某額以上ノ歲入ニ課スルニ輕税ヲ以テシ葡萄酒一「エ

クタール」ニ付平均二十「フランク」ノ附加税即チ土地ノ品位ニ從テ税率ヲ増減シ地租ニ増加スル所ノ租税ヲ課セハ衛生上有用ナル飲料ノ租税ハ全ク之ヲ廢スルヲ得ヘキヤ疑ヲ容レサルナリ且ツ飲料ノ小賣店ニ課スル所ノ一税ハ之ヲ存スルモ可ナルヘシ

佛國ノ酒精消費税ノ沿革ヲ見ルニ千八百五十年ニ於テハ「エクトリートル」ニ付僅ニ三十七「フランク」(副税ヲ合セテ)ナリシニ千八百五十五年ニハ六十「フランク」(二副税ヲ合算シ)トナリテ千八百六十年以後正税七十五「フランク」(副税ヲ合セテ)九十「フランク」ニ上リ千八百七十年ノ戰爭以降ハ増シテ百五十六「フランク」(二十五「サンチーム」トナレリ)租税ノ増加ハ此ノ如ク間斷ナシト雖モ酒精ノ消費ヲ妨ケタルヲ見ス千八百五十年ニハ内地税ヲ課シタル酒精ノ量ハ六十二萬「エクトリートル」千八百六十八年ニハ九十七萬六千「エクトリートル」千八百七十六年ニハ百萬四千「エクトリートル」ニシテ收入ノ總額ハ千八百五十年ニハ三十七「フランク」ノ租税ニテ僅ニ二千三百萬「フランク」ナリシモ最後ノ計算ニ據レハ九十「フランク」ノ租税ニテ八千八百萬「フランク」千八百七十六

年ニハ一億六千九百萬「フランク」以上ニ達セリ千八百七十年ノ戰後ノ増稅ニ由リ二三年間ハ消費高ヲ減シ又ハ奸曲ヲ増セリ然レトモ數年ナラスシテ舊況ニ復シ再ヒ收入ノ増加スルヲ常ノ如シ

租稅ノ増加セシニ拘ラス消費高ノ増加セシ所以ヲ尋ルニ被稅品原價ノ下落ニアリト云フヘシ元來酒精ノ賣價ハ收獲其他ノ行情ノ影響ニ由リテ六十「フランク」乃至二百「フランク」時トシテハ二百四十「フランク」ノ間ニ昇降シ往時ハ數々二百「フランク」若クハ二百四十「フランク」ニ近ツキシニ方今ハ五十五「フランク」ト七十「フランク」ノ間ヲ出テス而シテ酒精生産ノ總高ニ於テハ葡萄酒ヲ以テ製造シタル酒精ノ割合ハ大ニ減少シ甜菜根若クハ砂糖蜜ヲ以テ製シタル酒精ハ割合ニ増加セリ千八百四十年ヨリ千八百五十年ニ至ルマテ佛國ニ於テ酒精ノ生産高毎年凡ソ九十七萬六千五百「エクトリール」ニシテ其九十九萬「エクトリール」ハ葡萄酒酒精五百「エクトリール」ハ甜菜根酒精四萬「エクトリール」ハ砂糖蜜酒精三萬六千「エクトリール」ハ穀類等ヲ以テ製シタル酒精ナリ千八百七十年前ノ數年間ハ酒類ノ總生産高百五萬「エクトリール」ニ

シテ葡萄酒酒精ハ僅ニ十五萬「エクトリール」砂糖蜜甜菜根等ノ酒精九十萬「エクトリール」ナリ千八百七十一年九月一日ノ法律ニ於テ「ポーシェ」氏ノ報告ヲ見ルヘシ千八百七十七年ニハ佛國酒精ノ生産高百三十萬九千「エクトリール」ニシテ葡萄酒酒精及菓物ヲ以テ製シタル酒精ハ僅ニ二十二萬千「エクトリール」其餘ハ皆甜菜根砂糖蜜若クハ他ノ物品ヲ以テ製シタルモノナリ

此ノ如ク品位ノ下等ナル酒精ヲ以テ品位ノ上等ナル者ニ代用シ大ニ被稅品ノ原價ヲ減シタルカ爲メニ多少租稅増加ノ效驗ヲ償補セリ又一方ニハ千八百五十年以來佛國酒精ノ生産高ノ増加ハ甚々僅少ナル實アリ是レ他ナシ租稅増加ノ爲メニ無數ノ營業ニ於テ酒精ノ使用ヲ發達スルヲ妨ケタルニ由ルト云フヘシ願テ本書ノ前篇ヲ見レハ「ダウイット」ウエルス氏ノ說ニ於テ酒精ノ租稅増加ノ爲メニ合衆國ノ某營業ヲ害セシヲ如何ヲ知ルヲ得ン

抑モ酒精ノ稅ハ營業ノ點ヨリ之ヲ見レハ大ニ難スヘキモノアリ若シ此物品ニシテ租稅ヲ課セサレハ今日價ノ高キカ爲メニ使用スル能ハサル營業ニ於テ大ニ其使用ヲ増加セン是等ノ不便ニ付テハ本書ノ第四篇ヲ見ルヘシ然ト

雖モ酒精稅ノ廢止ニ至テハ葡萄酒林檎酒麥酒ノ租稅ヲ廢スヘキ同一ノ理アルニアラス佛國ニ於テ酒精ノ稅ヲ以テ英國及魯西亞ニ於テ施行スルカ如キ重稅ヲ徵收スルヲ甚々困難ニシテ殆ト能スヘカラス加ルニ佛國ニ於テハ國稅トシテ飲料品ニ課スル所ノ租稅ノ外尙ホ市邑ノ入市稅アリ之ヲ合算スル時ハ數々倍餘ニ達スルヲアルヲ忘ルヘカラス

四十五年以來佛國飲料稅ノ總收入額ハ左ノ如シ

年代	收入高	一人ノ平均
千八百三十年	九八、四六九、〇〇〇	三フランクニサンチーム
千八百四十年	九〇、四三三、〇〇〇	二フランク五四サンチーム
千八百五十年	一〇〇、七九五、〇〇〇	二フランク八三サンチーム
千八百五十九年	一七四、九〇四、〇〇〇	四フランク八五サンチーム
千八百六十八年	二四三、一二二、〇〇〇	六フランク三九サンチーム
千八百七十六年	四〇〇、三三六、〇〇〇	一一フランク
千八百七十八年	四一一、五八三、〇〇〇	一一フランク一五サンチーム

此ノ如ク千八百三十年ヨリ千八百五十年ニ至ルマテハ飲料稅ノ收入高殆ト變動ナカリシト雖モ千八百七十五年以後ニ至リ四倍ニ達セリ是レ第一鐵道ノ擴張ニ由リ運輸ノ便ヲ増シ葡萄酒ヲシテ佛國各地ノ良市場ニ達スルヲ得セシメ第二一般民富ノ發達第三稅率ノ増加ニ由ルモノト云フヘシ

千八百五十九年ヨリ千八百七十三年ニ至ル十五年間佛國經濟商業景況比較表(官版)ニ據テ葡萄酒ノ生産高被稅高無稅消費高ヲ舉ルヲ左ノ如シ但シ統計官報ニ據リ千八百七十七年ノ生産高及被稅高ヲ加フ

年	代	佛國生産ノ量
一八五七	一八五七	三五、四一〇、〇〇〇
一八五八	一八五八	三五、九一九、〇〇〇
一八五九	一八五九	三九、六九一、〇〇〇
一八六〇	一八六〇	三九、五五六、〇〇〇
一八六一	一八六一	二九、七三六、〇〇〇
一八六二	一八六二	三三、七一〇、〇〇〇
一八六三	一八六三	三三、七三三、〇〇〇
一八六四	一八六四	五〇、六五三、〇〇〇
一八六五	一八六五	六八、九四三、〇〇〇
一八六六	一八六六	六三、八三六、〇〇〇
一八六七	一八六七	三九、二二八、〇〇〇
一八六八	一八六八	五二、〇九八、〇〇〇
一八六九	一八六九	五〇、〇〇〇、〇〇〇
一八七〇	一八七〇	五三、五三三、〇〇〇
一八七一	一八七一	五三、五三三、〇〇〇
一八七二	一八七二	五三、五三三、〇〇〇
一八七三	一八七三	五三、五三三、〇〇〇
一八七四	一八七四	五三、五三三、〇〇〇
一八七五	一八七五	五三、五三三、〇〇〇
一八七六	一八七六	五三、五三三、〇〇〇
一八七七	一八七七	五三、五三三、〇〇〇

於ル葡萄酒ノ量			
被税品ノ量	蒸留ニ供シタル量	醸造シタル量	無税消費高
一七〇五三〇〇〇	一三二五〇〇〇	一九三〇〇〇	
一八五三四〇〇〇	四六八五〇〇〇	一一一〇〇〇	
二〇六一七〇〇〇	二九三四四七〇	二四二一八七	九五〇〇〇〇
二二三三九〇〇〇	四一三九一八五	二七九六五五	自千八百六十一年 千八百六十四年 均一ケ年ノ高
二二六三八〇〇〇	五三〇一一〇〇	三二六三二三	
二五二七九〇〇〇	八六四五六六八	三四七四四〇	一一四〇四〇〇
二八四六五〇〇〇	七〇七六七一三	三三五三六六	一二五四九〇〇
二六〇五五〇〇〇	五五五七三三八	二二五二六五	一四〇一八〇〇
二七〇五九〇〇〇	四〇九四四〇〇	三〇三七二三	二〇〇〇〇〇〇
二八〇〇〇〇〇〇	四三〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇〇〇
一九二九四〇〇〇	五二一六六八一	三一〇〇〇〇六	一七九六三六五
一八二四九一六五	四九五二六二〇	二七三二三四	一五九五三〇〇
二八七〇五四六三	五三一四二八二	二七二二五七	七三三二四〇
二五六六四八〇四	三三四四五六五	二二六二一〇六	九八七三二六
一九三三四五二四			

右五條ノ表中獨リ第二條ハ租税ヲ課シタル葡萄酒ノ量ナルヲ以テ精確ノ數トナス他ノ四條ニ至テハ僅ニ概數ヲ舉ル者ト知ルヘシ苟モ注意シテ右ノ表ヲ見ル者ハ必ス全ク數量ノ合ハサルモノアルヲ發見セン然レトモ尙ホ右ノ表ニ由テ多少得ル所アラソ抑モ佛國ニ於テ生産シタル葡萄酒ノ中葡萄酒税ヲ拂フ者ハ僅ニ其一半ニ過キス酒精トナリテ租税ヲ拂フ者凡ソ十分ノ一若クハ八分ノ一生産家ノ自家用料トナリ無税ニテ消費セラル、者凡ソ四分ノ一若クハ三分ノ一トナス其他ハ皆輸出セラル、ヤ疑ヲ容レサルナリ此ノ如ク全國生産高ノ四分ノ一若クハ三分ノ一ハ生産家自家ノ消費ニ係ルヲ以テ租税ヲ拂ハサルハ葡萄酒税ノ一大奇怪ナル事實ニシテ其大不均アル所以ナリ

輸出シタル生産品ニ租税ヲ課スヘカラサルノ理ハ甚タ明カナリトス凡ソ一切ノ租税ハ一般ニシテ全國人民ニ課セラルヘカラス假令全國國民ニ課セサルモ少ナクモ被税品ヲ使用スル者ニハ悉ク之ヲ課セサルヘカラス然ルニ佛國ノ葡萄酒林檎酒梨酒ノ税ニ至テハ然ラス是余輩カ是等ノ諸税ヲ以テ

廢スヘシトナス所以ナリ

尙ホ前同一ノ官文書ニ據レハ租稅ヲ課シタル酒精麥酒林檎酒梨酒ノ量ハ左ノ如シ

年	代	酒精ノ量	林檎酒及梨酒ノ量	麥酒ノ量
一八五九	一八六〇	八二二、〇三〇	五、二二六、三四〇	六、六九六、七六一
一八六〇	一八六一	八五一、八二六	四、六四三、八五九	六、七五二、六二〇
一八六一	一八六二	八三二、九三七	六、五〇七、六二七	六、七九七、九三七
一八六二	一八六三	八五七、六〇〇	五、七九〇、五五一	六、九六二、〇一四
一八六三	一八六四	八七〇、二八三	五、七一九、一〇八	七、〇五〇、八九八
一八六四	一八六五	八七〇、二四〇	五、七九八、七〇九	七、二二二、一三六
一八六五	一八六六	八七三、〇二八	五、五〇九、三一九	七、六八五、九六五
一八六六	一八六七	九六四、二二二	四、五一一、〇七五	八、〇七八、四七〇
一八六七	一八六八	九三九、四七三	五、二二六、六二八	七、〇〇六、八一
一八六八		九七一、三二九	六、五九九、八一五	七、三二七、三三二

一八六九	九七八、〇〇〇	七、〇〇〇、〇〇〇	七、三五〇、〇〇〇
一八七〇	七一九、六三四	五、四六一、三〇三	六、七六四、一九四
一八七一	六八九、六一七	四、二二五、四〇九	五、二五六、九三七
一八七二	七六七、八三四	七、一八六、八九三	七、三三九、六八三
一八七三	九五四、〇二八	三、四二二、一五七	七、四一四、五六三
一八七六	一、〇〇四、〇〇〇	五、一一三、〇〇〇	七、六二〇、〇〇〇

右ノ表ニ由テ之ヲ見レハ酒精ハ少シク増加ノ傾向アレトモ其他ハ皆静止シテ動カサルカ如シ千八百七十三年ニ於テハ「エクトリートル」ノ稅額九十「フランク」ヨリ百五十六「フランク」ニ増加シタルニ拘ラス酒精ノ消費高ハ舊ニ復セリ若シアルサスローレーン二州ヲ減シタルヲ以テ之ヲ見レハ戰爭以前ノ高ニ超過シタル者ト云フヘシ

余輩ハ飲料稅ノ細說ヲ終ルニ當リ統計官報千八百七十七年三月刊行ニ據リ千八百七十六年佛國ニ於テ徵收シタル飲料稅ノ細譯ヲ示サン

租稅ノ性質 一エクトリートルニ付 租稅ノ賦合副稅ヲ合ス 被稅ノ量 エクトリートル 租稅ノ額 フランク

樽入及壺入葡萄酒

運轉稅

第一級	一法五〇參	六、四四一、〇〇〇	九、六六二、〇〇〇
第二級	二法	七、五四二、〇〇〇	一五、〇八四、〇〇〇
第三級	二法五〇參	六、一一七、〇〇〇	一五、四四三、〇〇〇
第四級	三法	七九六、〇〇〇	一二、三八八、〇〇〇
壺入葡萄酒	一八法七五參	一〇四、〇〇〇	一、九五六、〇〇〇
但級ヲ分々サル分			

小賣稅

價格ニ徵スル分 一割八分一九 四、〇四七、〇〇〇 三七、六九八、〇〇〇

「アボンマン」ノ分 一、〇二二、〇〇〇 九、四二七、〇〇〇

代稅

巴里、樽入葡萄酒 一一八法八七五參 四、三四九、〇〇〇 五一、六四四、〇〇〇

巴里、壺入葡萄酒 二〇法 一七、〇〇〇 一三五〇、〇〇〇

里昂、樽入葡萄酒 八法一七參 八二八、〇〇〇 六、七六七、〇〇〇

里昂、壺入葡萄酒 二〇法六八參 二、〇〇〇 六〇、〇〇〇

計

單一稅 稅率一ナラス 六、八八八、〇〇〇 一五〇、四八三、〇〇〇

入市稅 全上 二、七八八、〇〇〇 三三、三八四、〇〇〇

租稅合計 一八九、三四九、〇〇〇

林檎酒梨酒及蜂蜜水 一二、一一五、〇〇〇 二、六一三、〇〇〇

運轉稅 一法二五參 二、六一三、〇〇〇

小賣稅 一割八分一九 九、〇一九、〇〇〇

價格ニ徵スル分 二、八七九、〇〇〇 七三、〇〇〇

「アボンマン」ノ分 二五、〇〇〇 七三、〇〇〇

代稅 五法九四參 五五七、〇〇〇

巴里 五法九四參 五五七、〇〇〇

里昂 五法一三參 五五七、〇〇〇

計			
單一稅	稅率一ナラス	一、二二〇、〇〇〇	一、二二九三、〇〇〇
入市稅	全上	九五八、〇〇〇	三、四三八、〇〇〇
租稅合計			六五六、〇〇〇
「ブランデー」「アブサント」「リキユール」			一六、三八八、〇〇〇
一般ノ消費稅			
樽入蒸酒及	一五六法二五參	五八四、〇〇〇	九一、二一三、〇〇〇
「ブランデー」			
樽入「ブランデー」樽入			
並ニ樽入「リキユール」	二一八法七五參	五二、〇〇〇	一一、三三三、〇〇〇
及「アブサント」			
檢査上調定シタル一般ノ消費稅			
樽入蒸酒及	一五一法五七參	二五〇、〇〇〇	三七、八九八、〇〇〇
「ブランデー」			
樽入「ブランデー」樽入			
並ニ樽入「リキユール」	二一二法一九參	一三、〇〇〇	二、七二九、〇〇〇
及「アブサント」			
巴里ノ代稅			
樽入蒸酒及	一八六法二五參	一〇四、〇〇〇	一九、四三九、〇〇〇
「ブランデー」			
樽入「ブランデー」樽入			
並ニ樽入「リキユール」	二四八法七五參	一、五〇〇	三九二、〇〇〇
及「アブサント」			

計			
入市稅	稅率一ナラス	一、〇〇四、〇〇〇	一六二、九九五、〇〇〇
租稅合計		二九二、〇〇〇	六、〇〇八、〇〇〇
麥酒			一六九、〇〇三、〇〇〇
強麥酒	三法七五參	四、七一〇、〇〇〇	一七、六六〇、〇〇〇
輕麥酒	一法二五參	二、九〇三、〇〇〇	三、六二九、〇〇〇
救濟院ニ於テ製造シタル麥酒	稅率一ナラス	七、〇〇〇	七、〇〇〇
合計		七、六二〇、〇〇〇	二二、二九六、〇〇〇
送出シ「サンチーム」稅	四〇參	送出 度數一〇、二九〇、六七二	四、一一六、〇〇〇
「アオル、サンチーム」稅			一八二、〇〇〇
飲料稅收入高總計			四〇〇、三三六、〇〇〇
右ノ表ハ頗ル繞密ナルモノト云フヘシ已ニ前章ニ論述シタル小賣ノ葡萄酒ハ二十五リートル以上ヲ富民ニ賣リタル者ニ比スレハ其價格ニ對シテ遙ニ重稅ヲ負擔スルノ事實ヲ證スルニ足ラン今之ヲ約言スレハ該稅ハ累進ニシ			

テ生産者ハ其消費スル所全國消費高ノ三分ノ一ニシテ此ニ對シテ租稅ヲ負擔セヌ一時ニ巨量ヲ買フ者ハ全國消費高ノ三分ノ一餘ニシテ僅ニ輕稅ヲ拂ヒ勞力者ノ如キ細民ニシテ小買ヲナス者ハ全國消費高ノ凡五分ノ一ニシテ其拂フ所ノ租稅ハ巨量ヲ買フ者ニ比スレハ一「エクトリートル」ニ付五倍以上ニ達ス而シテ細民ノ消費スル所ノ葡萄酒ハ富民ノ消費スル所ノ者ニ比スレハ其品位モ亦下等ナルヤ疑ヲ容レサルナリ然ラハ則チ佛國葡萄酒稅ノ組織タル不正ノ甚キモノト云ハサルヲ得ス

已ニ數々論及シタル千八百七十五年ノ法律ニ由リ人口一萬以上ノ市府ニ於テハ多少右ノ不平均ヲ減少セリ是等ノ市府ニ於テハ小賣ノ稅ヲ廢シ葡萄酒ニ係ル者ハ入市ノ一稅ニ止ル之ヲ以テ勞力者カ小買シタル葡萄酒モ富民カ大買シタル葡萄酒ヨリ大ナル租稅ヲ負擔セス方今ハ只葡萄酒ノ品位ノ差違ヨリ其價格ニ大小アルカ爲メニ生スル所ノ不平均アルノミ千八百七十五年ノ法案ヲ發スルニ當リ大藏卿レオン、セー氏ハ其說明ニ於テ佛國ノ葡萄酒稅法ノ性質ヲ記載セリ其言ニ曰ク

葡萄酒林檎酒梨酒ニ關シテ現今行ハル、所ノ徵稅法ヲ約言スレハ鄉村ニ於テ生産者ハ毫モ租稅ヲ負擔セス市府ニ於テハ此輩ハ地方ノ入市稅ヲ負擔ス鄉村ニ於テハ樽入ニテ購求スル所ノ各個人ハ輕小ナル運轉稅ヲ拂フノミ市府ニ於テハ此輩ハ運轉稅ノ外地方ノ入市稅ヲ拂フ小賣商ハ何ノ地ヲ問ハス小賣稅トシテ賣價ノ一割八分餘(一割八分一九)ヲ拂フ故ニ小賣店ニ於テ小買ヲナス所ノ消費者ハ右ノ重稅ヲ負擔セサルヘカラス加ルニ市府ニ於テハ尙ホ地方ノ入市稅ヲ拂ハサルヘカラス云々

大藏卿セー氏ハ尙ホ小賣稅ノ大不便ヲ説テ曰ク

諸民輻湊ノ地ニ於テハ皆多ク飲料品小賣ノ檢査ヲ厭ヒ多少之ヲ嫌惡セサルナク加之ナラス實地上ノ大困難ヲ免レスシテ國庫ノ收入多キヲ得ス元來此ノ如キ場處ニ於テハ一家單立シテ居住スルヲ甚タ稀レニ飲料品小賣商カ開店スル所ノ家屋ハ殆ト皆數家族ノ居住スル所タリ此場合ニ於テハ一ノ穴藏ヲ數箇ニ分界シ一部分ハ酒ノ小賣商之ヲ使用シ他ノ部分ハ一人之ヲ使用ス之ヲ以テ小賣商カ同借家人ト協議シテ其名ヲ借テ葡萄酒林

檣酒ヲ穴藏ニ藏シ四倍若クハ五倍ノ小賣稅ヲ拂ハス單ニ運轉稅ヲ拂ヒ然
 ル後密ニ之ヲ小賣スルモ如何トモスルヲ能ハス方今此奸計次第ニ發達シ
 クリエーゾーモントルーソソリヴ、デ、ジールシヅホール等其他營業ノ盛
 ナル市府ニシテ小賣高多ク惣消費高ノ大部分ヲ占ル地ニ於テ小賣稅ヲ徵
 收スルヲ僅ニ四分五分六分七分若クハ八分ノ割合ニ過キス然ラハ則チ此
 奸計ヲ防禦スルカ爲メニ改正ヲナスハ實ニ方今ノ急務トナス云々
 大藏卿ノ辨明スル所此ノ如シ小賣稅ノ非常ニ平均ヲ得サル又之カ爲メニ奸
 詐ノ行ハル、ハ毫モ疑ヲ容レサル所ナリ此ニ於テ佛國政府ハ遂ニ人口一萬
 以上ノ市府ニ於テ該稅ヲ廢セリ否ナ之ヲ以テ他稅ニ換ヘリ然ルニ尙ホ此措
 置ヲ以テ足レリト云フヘカラス佛蘭西全國ニ於テ之ヲ廢スルヲ要ス若シ全
 ク葡萄酒林檎酒梨酒ノ稅ヲ廢スルヲ欲セサレハ小賣稅ヲ廢シテ入市稅ヲ減
 セハ尙ホ人民ノ道德上及衛生上ニ益スルヲ鮮小ナラサルヘシ何ヲ以テ余輩
 ハ人民ノ衛生上ニ益スト云フ曰ク近年葡萄酒ノ偽造盛ニ行ハレ只ニ此良酒
 ニ水ヲ交ルノミナラス有毒有害ノ物ヲ以テ水ヲ染ムルノ弊アルヲ以テナリ

是等奸惡ノ所業ヲ以テ商業ノ罪トナスハ理ナキニアラスト雖モ商賈ハ政府
 ノ意ヲ奉シテ知ラス識ラス教唆ヲナス者トモ云フヘクシテ其原因ヲ尋レハ
 租稅ノ重斂ナルカ爲メニ生産者若クハ商賈ヲシテ此ノ如キ惡計ヲナサシム
 ルニ至ル者ニシテ其罪實ニ政府ニアリト云フヘシ
 已ニ陳セシ如ク千八百七十六年ニ於テ佛國政府飲料稅ノ收入高ハ四億、フラ
 ンクナリ之ニ加フルニ同品ノ輸入稅千五百萬、フランクヲ以テセハ凡ソ四億
 千五百萬、フランクトナル今酒精稅ノ收入高ヲ扣除セハ葡萄酒稅林檎酒稅梨
 酒稅麥酒稅ノ收入高ハ凡ソ二億二千五百萬、フランクトナルヘシ若シ佛國ニ
 於テ是等普通用ニシテ健康ニ益アル飲料品ノ稅ヲ全廢セハ政府ノ收入ヲ減
 スル者ハ則チ此二億二千五百萬、フランクナリ
 葡萄酒林檎酒梨酒麥酒ノ入市稅トシテ市邑ニ收入スル者此他ニ九千萬乃
 至一億、フランクアリ
 若シ小賣稅ヲ全廢シテ之ニ代フルニ運轉稅ヲ以テセハ政府ノ收入ヲ減スル
 一、僅ニ三千萬、フランクニ過キサルヘシ此不足ノ如キハ運轉稅ヲ增加セハ以

テ之ヲ補フヲ敢テ難キニアラサルヘシ
 余輩ハ今ヨリ砂糖及煙草ノ二稅ヲ論セン抑モ此巨大ナル消費稅ハ佛國及其
 他開明諸國ニ於テ盛行ハル所ノ者ニシテ余輩モ其主義ニ於テハ敢テ間然
 スル所ナシ是等ノ稅ハ關稅ニ於テ課スル所ノ咖啡及椰子ノ稅ト均ク最後ニ
 廢止スヘキ者ニシテ余輩ハ今日之ヲ廢スヘシト云ハサルナリ此二稅ハ歲入
 中最大額ヲ得ル所ノ諸稅ニ列スル者ニシテ佛國ニ於テハ千八百七十八年砂
 糖稅ノ收入一億八千二百五十萬フランクアリ煙草稅ハ尙之ヨリ大ニシテ同
 年ノ惣收入三億三千二百萬フランクアリ然ルニ其製造費六千萬フランクヲ
 扣除セサルヘカラサルヲ以テ純收入ハ二億七千萬フランクトナル然ラハ則
 チ此二大消費稅ヲ以テ中央政府ニ得ル所ノ純收入高ハ四億五千萬フランク
 ニシテ佛國ノ惣直稅ノ正稅收入高ニ過ルモノト云フヘシ
 百般ノ消費稅中砂糖稅ハ通例最モ能ク被稅者ノ資力ノ割合ニ應スルモノト
 ス假令諸國悉ク然ラサルモ佛國ノ如ク熱シタル飲料ヲ用ヒサル國ニ於テハ
 然ラサルヲ得ス英國ニ於テ砂糖稅ヲ廢シタルハ其歲計ノ裕カナルヲ以テ能

ク之ヲ廢スルヲ得タルモノナリト雖モ元來英國人民常用ノ飲料ハ茶ニアリ
 英國ノ茶ニ於ルハ尙ホ佛國ノ葡萄酒林檎酒ニ於ルカ如シ之ヲ以テ英國ニ於
 テハ工夫勞力者ニ至ルマテ日ニ之ヲ以テ其飲料ニ供ス然ルニ茶ハ砂糖ナケ
 レハ之ヲ用ルヲ得サルモノナリ是故ニ砂糖稅ハ一般ノ飲料品ニ課スル所
 ノ者トナレリ佛國ハ否ラス佛國人民ノ常用飲料ハ葡萄酒林檎酒ナルニ依リ
 砂糖ハ特異驕奢ノ消費ニ供スルニ過キス之ヲ以テ砂糖ヲ消費スルハ常ニ中
 等以上ノ人民ニシテ之ニ稅スルハ大ニ憂フヘキニアラサルナリ或ハ云ン砂
 糖ハ病人ニ用アリト然ト雖モ疾病ハ人生特異ノ事件ニシテ且ツ砂糖ハ必ス
 シモ百般ノ藥ニ混用スルモノニアラス由是觀之ハ佛國ノ如ク人民ノ負擔大
 ニシテ加フルニ砂糖ヲ用ル飲料品ヲ常用トセサル國ニ於テハ以テ砂糖稅ノ
 廢止ヲ議スル能ハサルナリ加之ナラス砂糖稅ヲ減スルモ亦敢テ大利益ナカ
 ルヘシ故ニ該稅ハ政府ニ最大ノ收入ヲ得ル所ノ稅率ヲ行フヘク又之ヲ行ハ
 サルヘカラスシテ此稅率ヲ發見スルハ經驗ト研究トヲ要ス
 余輩カ此章ニ於テ獨リ人民ノ負擔大ナル國ニ於テハ砂糖稅ヲ廢スヘカラ

スト云フ所以ノモノハ甜菜砂糖ニ課スル所ノ税ノ如キハ多少農業ヲ妨ケ
 佛國ノ北部ニ於テ最モ報酬ノ大ナル生産物ノ一ヲ減スヘキヲ以テナリ
 抑モ消費税ヲ課スルヲ甚タ重キ所ノ物品多クハ其使用割合ニ近年ニ起リシ
 モノナルハ奇ナリト云フヘシ實ニ今ヲ距ル凡三百五十年前ニアリテハ砂糖
 ハ今日ノ機那ニ於ルカ如ク一ノ藥品ニシテ藥種店ニ於テ賣買セシモノナリ
 砂糖蔗ハ元ト印度ノ産ニシテサラセン人之ヲシシリニ移殖シ而ル後アン
 ダル―シーニ移セリ之ヲ亞米利加ニ移殖シタルハ西班牙人ナリ而シテ殊ニ
 亞米利加ニ於テ其耕殖速ニ發達セリ歐洲大陸ニ於テ甜菜砂糖ノ製造ヲナス
 ニ至リシハ第十九世紀ニアリ
 諸國ニ於テ初ヨリ砂糖ハ租税ヲ課スルニ適スル者トセラレタリ其然ル所以
 ノモノ三アリ

- 第一 人生必要ノ物品ニアラサルヲ
- 第二 消費高ノ増加速カナルヲ
- 第三 近年ニ至ルマテ歐洲諸國ニ於テハ内地ノ産物ニアラスシテ皆海外

ヨリ輸入シタルヲ

右ノ三形情ニ由テ之ヲ觀レハ第一敢テ人生ノ必要ヲ害セサルヲ以テ租税ヲ
 課スルヲ妨ケス第二收入常ニ増加シテ止マサルヲ以テ政府ニ利アリ第三税
 關ニ於テ監視スレハ足ルヲ以テ租税ノ徵收容易ナリ

其議論ノ多キ變動ノ甚キ蓋シ砂糖税ノ立法ノ如キモノアラサルナリ實ニ砂
 糖ノ問題ト云フ語ハ久ク已ニ按山子ノ一種トナリ此問題ハ一切間税ノ最大
 困難ヲ集合シタル者ノ如シ此ノ如キ繞密ヲ來セシ所以ノモノハ砂糖税ノ設
 置ハ純然タル財政ノ點ヨリセスシテ政府ノ歳入ヲ得ントスルノ目的ニ混ス
 ルニ他ノ意ヲ以セシニアリ往日ハ主錢主義ノ名ヲ以テシ今日ハ保護ノ名ヲ
 以テ知ラレタル貿易論カ砂糖ニ關スル立法上ニハ一大勢力ヲ有スルモノナ
 リ

元來佛國政府ハ該品ニ租税ヲ課スルニ當テ獨リ消費者若クハ生産者ノ負擔
 ヲ最小ニシ收入ヲ最大ニスルヲカメスシテ多少私民ノ利益ヲ謀レリ是レ
 政府ハ特權ヲ以テ此輩ニ與フルニ足ルト考ヘシニ由ル此利益ヲ與ヘント欲

シタル者ハ第一殖民地ノ移民ニシテ政府ハ久ク已ニ之ヲ保護シテ外國殖民者ノ競争ニ當ラシメント欲シタルモノナリ第二佛國ノ航海營業者ニシテ是亦政府ハ保護ヲ以テ外國ノ同業者ノ競争ニ當ラシメント欲シタルモノナリ第三砂糖精製業ニシテ政府ハ之ヲ保護シテ外國ノ競争ニ當ラシメ又殖民地ニ於テ同業ノ起ルヲ防ント欲シタルモノナリ此ノ如ク立法官ノ精神ハ種々ノ思想ニ繫カレ時トシテハ同時ニ時トシテハ單立ニ殖民者内國ノ船主砂糖精製者ヲ保護セントセシモノナリ是等ノ趣意ヲ達セント欲シテ思想ヲ錯亂シ立法官ハ無數ノ法律ヲ作り朝令暮改ノ弊大ニ起レリ

今已ニ既往ニ屬シ再ヒ將來ニ見ルヲ得ヘカラサル立法ノ事ヲ詳述スルハ無用ニ似タリ故ニ余輩ハ單ニ當今尙ホ此問題ニ付キ再生スル所ノ爭論ヲ解スルニ要用ナル者ノミヲ講述セン

第一帝政ノ時ニ至ルマテ砂糖ハ全ク佛國ニ於テハ殖民地品即チ熱國ノ産品ト稱シ專ラ砂糖蔗ヲ以テ之ヲ製セリ元來砂糖製造ノ事業ハ之ヲ分テ二種トナス第一ハ砂糖ヲ絞取シテ多少黄色ヲ帶ルカ若クハ濕氣ヲ有スル細粉トナ

ス一第二ハ其細粉ヲ以テ結晶シタル塊トナス一此塊ハ佛國ニ於テ甚タ不當ノ名ヲ附シテ麵包塊形ト稱ス此初歩ノ製造ニ係ル砂糖即チ細粉ノ砂糖ヲ粗製砂糖ト稱シ第二ノ製造ヲ經タル者ヲ精製砂糖ト稱ス道理上ニ於テハ此二種ノ事業ハ同一ノ場處同營業所ニ於テナスカ假令ヒ然ラサルモ二者互ニ接近ノ地ニ於テナスヘキ者ノ如シ然ルニ近世ノ立法官ハ法律上之ヲ分離シタルヲ以テ分レテ二級ノ營業トナリ製造家ト精製家トハ通例隔絶ノ地ニアリ砂糖蔗ヨリ砂糖ヲ絞取シテ細粉トナス所ノ事業ハ自然ノ勢トシテ獨リ生産地即チ殖民地ニ於テ爲スヲ得ヘシ然ルニ保護貿易ノ政策ニ由リ殖民人ヲシテ精製ノ事業ヲナスヲ禁セリ之ヲ禁シタル所以ノモノハ精製ノ營業ヲ盛ニシ且ツ航海營業者ヲシテ運送スヘキ荷物ヲ増スヲ得セシメントスルニアリテ主錢主義若クハ保護貿易ノ制度ニ於ル無數ノ不條理中ノ一トナス第一ノ事業ニ從事スル砂糖製造家ト第二ノ事業ヲ執ル精製家ト相分立スル所ノ由來ハ此ノ如クニシテ製造家ハ往時皆殖民地ニアリ精製家ハナントホルドールセーユバ里ノ諸大港ノ如キ生産地即チ殖民地ニ最近ノ地ニアリテ方今

尙ホ之ヲ存セリ砂糖精製ノ業ハ爾後大ニ發達シ其利潤益大ニシテ佛國ノ諸大府亦從テ之カリヲ受ルト少ナカラス

此ノ如キ形情ナリシヲ以テ租稅ノ徵收容易ナルヲ得タリ元來砂糖ノ稅ハ之ヲ殖民地ノ生産者ニ徵課スルヲ得ヘク又物品輸入ノ時ニ於テスヘク又或ハ精製所ヨリ賣出ノ時ニ於テスルヲ得ヘキ者ナリ然ルニ政府ハ殖民地ノ生産者ニ向テ租稅ヲ任拂ハシムルヲ欲セス如何トナレハ此ノ如クスル時ハ租稅ヲ前約セシムルモノニシテ大ニ負擔ヲ重フスルニ至レハナリ政府ハ之ヲ厭ヒ且ツ徵收ノ容易ナルヲ以テ砂糖輸入ノ時ニ於テ租稅ヲ課シ粗製砂糖ノ買手ヲシテ之ヲ納メシメタリ而シテ外國ノ砂糖ハ之ヲ輸入スルヲ禁セリ右ノ徵收法ハ甚タ簡單ナリシモ二箇ノ改良事件起リテ忽チ非常ノ精密ヲ來スニ至レリ二箇ノ改良トハ内國ニ於テ甜菜砂糖ノ製造起リシヲ砂糖精製法ノ間斷ナキ進歩是ナリ

ナボレオン第一世ノ時海外諸國ト通信斷絶セシヲ以テ化學家ハ内國ノ產品ヲ以テ砂糖蔗ノ代用トナサンコトヲ討究シ甜菜ヲ以テ適當ノ植物トセリ該植

物ハ重ニ東北ノ諸縣ニ於テ蕃殖セラレタリ此砂糖製造法起リテ内國砂糖ノ營業分レテ二種トナリ最モ完備シタル精製所ハ諸港ニアリテ他ニ之ヲ新設センコトヲ思フ者ナク東北ノ諸縣ニ於テハアンチル諸島ニ於ルカ如ク專ラ細粉ノ砂糖若クハ濕氣アル砂糖ノ製造ニ從事セリ

甜菜砂糖ノ發達ハ其初メ遅々トシテ頗ル困難ナリシモノナリ千八百十五年海外諸國ノ通信再ヒ復スルヤ内國砂糖ノ生産高ハ僅ニ三百五拾萬キログラムニシテ其餘ハ殖民地ノ砂糖ヲ以テ消費ヲ補足セリ千八百十六年八月二十六日ノ法律ヲ以テ殖民地産ノ砂糖稅ヲ定メテ百キログラムニ付四十五「フランクト」セリ然ルニ内國産ノ砂糖ニ稅スル時ハ其生産消絶スヘシト考ヘ敢テ此ニ稅セサリシヲ以テ甜菜砂糖ノ生産發達シ精製所モ亦北部ニ起レリ此ノ如ク内國ノ砂糖ハ保護ヲ被リ殖民地ノ生産者内國ノ船主諸港ノ精製家ハ忽チ抑壓セラレタリ其苦情ヲ訴シモ亦宜ナラスヤ千八百三十七年ノ法律ヲ以テ甜菜砂糖ニ稅ヲ課セリト雖モ蔗砂糖ニ比スレハ遙ニ輕ク百キログラムニ付初年ニ八十「フランク」次年ニ八十五「フランク」千八百四十年以後ハ二十五「フ

ラング「トセリ然ルニ尙ホ殖民地産ノ砂糖ニ課スル所ノモノニ比スレハ遙ニ及ハサルモノト云フヘシ總テ是等ノ租稅ハ精製砂糖百「キログラム」ノ割合ニ課セリ然ルニ之ヲ徵課シタルハ粗製砂糖ニ於テセリ如何トナレハ精製營業所ヲシテ政府ノ檢査ニ服セシムルヲ欲セサリシヲ以テナリ

精製砂糖ニ課スル割合ヲ以テ粗製砂糖ニ課スルハ如何ナル方法ニ由リシヤヲ尋ルニ制規ノ指定法ヲ以テ粗製砂糖若干量ハ精製砂糖幾許ヲ産スル者ト定メタル者ナリ元來粗製砂糖ハ他物ト混合スルヲ以テ若シ其混交物ノ割合幾許ナルヤヲ知り而シテ其割合常ニ同キモノナレハ精製砂糖ノ量ヲ指定シテ粗製砂糖ニ租稅ヲ課スルモ不平均ナカルヘシト雖モ頗ル完全ヲ欠クヲ免レス然ルニ佛國政府ハ千八百四十年ニ粗製砂糖ノ品位ニ應シテ其得ル所ノ精製砂糖ヲ百分ノ七十乃至七十三ト定メ粗製砂糖ノ量目ノ七割乃至七割三分ニ對シテ租稅ヲ課セリ如何トナレハ法律上ノ豫定高ヲ精確ナリトスルハ精製家ハ粗製砂糖ノ品位ニ應シテ僅ニ七割乃至七割三分ノ精製砂糖ヲ得ヘキヲ以テナリ

内地ノ砂糖製造家ハ千八百三十七年ノ法律(初メテ内地産ノ砂糖稅ヲ課シタル者)ハ内國砂糖製造ノ營業ヲ芟除スル者ナリト斷言セリ然ルニ該營業ハ尙ホ依然トシテ益發達セリ次テ殖民地ノ生産者内國ノ船主諸港ノ精製家等ノ苦情新々ニ起レリ其困難ヲ芟除セント欲シテ佛國政府ハ千八百四十三年ニ内地ノ砂糖製造業ヲ廢止シ佛國ニ於テ甜菜砂糖ノ生産ヲ禁シ現時ノ製造家ニ與フルニ五ヶ年賦四千萬「フランク」ノ償金ヲ以テスルノ議案ヲ發セリ右ノ議案ハマクラツク氏ノ同意ヲ表スル所ナレトモ實ニ無謀ノ狂策ニシテ其廢案トナリシハ幸ト云フヘシ若シ此計畫ニシテ行ハル、時ハ佛國ニ於テ隆盛ヲ極メタル所ノ農業ノ一ヲ失フニ至リシナルヘシ千八百四十三年七月二日ノ法律ハ遙ニ其宜キヲ得タルモノナリ該法律ニ據レハ年々内地産ノ砂糖稅ヲ増加シ遂ニ千八百四十七年ノ九月ニ至リ殖民地ノ砂糖稅ト同一ニ歸スヘキモノナリ爾後該法ハ繼續シテ行ハレタルナラント考フヘキカ如シト雖モ砂糖稅ノ問題ハ決シテ豫定ノ履行ヲ期スヘカラス變動常ナラス千八百四十八年奴隸解放ノ舉行ハレ殖民地生産者ノ苦情起リ却テ内地生産ノ砂糖ニ對

シテ殖民地ノ砂糖ヲ保護センコトヲ請求スルニ至レリ其請求ノ理由トスル所
 二アリ一ハ奴隸解放ノ爲メニ殖民地生産ノ組織ヲ破ルニ至リシコト一ハ殖民
 地ノ制度ニ於テ其生産品ヲ送ルハ佛國市場ニ限ルモノナルニ其市場ノ遠隔
 ナルコト是ナリ
 千八百五十一年佛國政府ハ更ニ新法案ヲ國會ニ提出セリ其計畫タル粗製砂
 糖ノ税ヲ廢シテ精製砂糖ノ税トナスニアリテ惣テ法律上ノ指定ヲ廢セリ是
 レ則チ吾人ノ所謂消費税ノ法ナリ然ルニ之ヲ行フ時ハ検査法ヲ行ヒ精製家
 内地ノ砂糖製造家及ヒ已ニ検査ヲ受ル所ノ製造家兼精製家皆共ニ税吏ノ監
 視ニ服セサルヘカラス政府ニ於テモ從來ノ法律上ノ指定ハ不當ニシテ精製
 砂糖七割ヲ生産スヘシト定メテ税シタル粗製砂糖ハ通例七割五分ノ精製砂
 糖ヲ生スルヲ知レリ而シテ無税ノ五キログラムハ有税ノ砂糖ト共ニ同一ノ
 價ヲ以テ消費者ニ賣ラレタリ然ラハ則チ精製家ノ利スル所頗ル大ナリシト
 云フヘシ
 千八百五十一年ノ法律ハ千八百五十二年ヨリ實施セララルヘキモノナリシニ

此時ニ當リ政府ノ變更アリテ遂ニ此實施ヲ止メ獨リ殖民地砂糖ノ減税ノミ
 ヲ行ヘリ右ノ減税法ハ數年間ノミ行フヘカリシ者ニシテ數其期限ヲ延ヘ遂
 ニ千八百七十年一月一日マテ延期セリ其方法タル殖民地ノ距離ノ遠近ト忽
 然奴隸ノ解放ニ依テ生シタル困難ノ大小ノ割合ニ應シテ税額ヲ減セシモノ
 ナリ此ノ如ク新法ヲ以テ殖民地ノ砂糖ハ内地ノ砂糖ニ對シテ保護セラレタ
 リ
 余輩ハ今ニ至ルマテ專ラ内地ノ消費ニ就テ論究セリト雖モ砂糖精製ノ營業
 ハ大ニ隆盛ニ至リ之ヲ輸出スルニ至レリ然ルニ如何ナル税法ニ由テ此輸出
 ヲナスニ至リシヤヲ論セサルヘカラスアンチル諸島ヨリ來ル所ノ粗製砂糖
 ハ法律ヲ以テ精製砂糖ノ量七割ト定メ之ニ租税ヲ課シ税關ヲ過キテ輸出セ
 ラルハ時ハ此精製砂糖七十キログラムニ對シテ粗製砂糖百キログラムニ徵
 課シタル租税ヲ返付セリ之ヲ稱シテ拂戻シト云フ然ルニ百キログラムノ粗
 製砂糖ヲ以テ往々精製砂糖七十五キログラム多キハ八十キログラムヲ得タ
 リ是故ニ精製家ハ輸出ヲナス時ハ五キログラム乃至十キログラムニ對シテ

ハ嘗テ納メサル所ノ租税ノ拂戻ヲ受ル者ニシテ輸出ノ恩賜金ヲ受ルニ均ク
 頗ル巨利ヲ得タルモノナリ
 千八百五十六年ノ法律ハ精製砂糖ノ粗製砂糖ニ對スル法律上ノ指定割合ヲ
 増シテ七割五分トナシ右ノ弊害ヲ矯正セントスルニアリ然ルニ砂糖ノ製造
 法ハ常ニ改良進歩スルヲ以テ右ノ改正割合モ尙ホ其當ヲ得スシテ精製家ハ
 依然トシテ輸出ノ時其若干量ニ對シテハ嘗テ納メサル所ノ租税ノ拂戻ヲ得
 タリ

千八百六十年以後ハ更ニ他ノ制度ヲ行ヘリ則チ千八百六十年三月二十三日
 ノ法律ヲ以テ砂糖税額ノ殆ト半ヲ減シ五十四「フランク」ヨリ三十「フランク」ト
 セリ然ルニ尙ホ奸計ヲ防禦シ又營業ヲ進歩セシメンカ爲メ粗製砂糖ノ品位
 如何ヲ問ハス一切同一ノ租税ヲ拂フヘントセリ此ニ於テカ内國ノ消費ニ供
 スル者ハ皆法律上ノ指定割合ヲ用ヒサルニ至レリト雖モ輸出ニ供スル者ハ
 尙ホ之ヲ存シ輸出ノ時拂戻ヲナスハ濕氣アル砂糖百「キログラム」ニ付七十六
 「キログラム」ノ割合トセリ千八百六十三年以後増シテ七十九「キログラム」トセ

リ右ノ如ク法律上ノ指定割合ヲ増セシニ拘ハラヌ製造法精製法ノ改良進歩
 次第ニ盛ニシテ實際精製砂糖ヲ得ル割合益増加シテ常ニ法律上ノ割合ニ超
 過シ輸出ヲナス所ノ精製家ハ其若干量ニ於テ未タ嘗テ納メサル所ノ租税ノ
 拂戻ヲ受ケ常ニ輸出ノ恩賜金ヲ得タリ

右ノ如ク精製家ノ利ヲ得タル者ハ國庫ノ損失タリ又一方ニハ内國ノ製造家
 ニシテ其砂糖質ノ少ナキ粗製砂糖ヲ生産シ砂糖質ノ多量ナル者ヲ生産スル
 能ハサル者ハ其負擔スル所ノ租税ノ畫一ナルヲ以テ頗ル苦情ヲ唱ヘリ
 千八百六十四年ノ法律ハ大ニ從來ノ法ヲ改修シ暫時免税ノ法ヲ施シテ拂戻
 ノ法ヲ廢セリ新法ニ依レハ精製家カ輸出ヲナサント欲スル時ハ粗製砂糖ニ
 租税ヲ拂ハス或ル一定ノ期日ニ於テ之ニ該當スヘキ精製砂糖ヲ輸出スルカ
 若シ輸出ノ証狀ヲ提出セサル時ハ税額ヲ完納スヘキ保証アル約束ヲナス者
 トス是レ單ニ租税仕拂ノ停止ニ過キサルモノニシテ此ノ如クスレハ國庫ハ
 意外ニ其領收セサル所ノ租税ヲ拂フカ如キ患ヲ免ルヘシ
 然ルニ千八百六十四年ノ法律ノ大改革ハ租税ノ徵收ニ付テ數級ヲ設置スル

ニ至レリ

元來砂糖ノ純粹ナラサル者ハ黃色ヲ帶ルヲ以テ粗製砂糖色ノ淡濃ニ由リ其含有スル所ノ砂糖質ノ多少ヲ知ルニ足ルモノト信セリ嘗テ荷蘭政府ハ砂糖色ノ淡濃ニ據リ慎密ニ階級ヲ分テ二十種トナシ賣買セラル、砂糖ヲ以テ之ニ對照セリ其色ハ番號ノ高キニ從テ淡ク第二十號ニ至テ其色最モ純白ナル者トス

佛國ニ於テハ右ノ分級ヲ基礎トシテ砂糖ヲ分テ四級トナシ多少其含有スル砂糖質ノ割合ニ應シ稅率ヲ分テ四種トセリ則チ左ノ如シ

第十三號以下ノ砂糖 稅額百「ヤログラム」ニ付 四十二フランク

自第十三號至第二十號 砂糖 全 全 四十四フランク

白紛砂糖 全 全 四十五フランク

製造所ニ於テ精製シタル砂糖全 全 四十七フランク

此ノ如ク法律ヲ變更セリト雖モ輸出ノ場合ニ於テハ尙ホ粗製砂糖ヨリ得ラ
ルヘキ精製砂糖ノ量ヲ定メサルヘカラス如何トナレハ精製家カ精製砂糖若

干量ヲ輸出スルニ方テハ幾許ノ粗製砂糖ニ稅ヲ免スヘキヤヲ定メサルヘ
カラサレハナリ實際得ル所ノ精製砂糖カ法律上ノ割合ヨリ多クシテ輸出ニ
恩賜ヲ與フル「アル」ヲ廢止センカ爲メ佛國英國英國ハ爾後砂糖稅ヲ廢セリ
白耳義荷蘭ノ四國ハ「コローン」ニ會シ共ニ粗製砂糖ノ稅ヲ定メタリ此時ニ當
リ各種ノ色ニ依テ粗製砂糖ノ精製砂糖ヲ得ヘキ割合ヲ檢定スルカ爲メニ試
驗ヲナシ萬國普通ノ割合ヲ定メ輸出ノ時免稅ヲ行フ基礎トナスヘキモノト
セリ余輩ハ其決定シタル租稅ノ階級ヲ詳述スルヲ欲セハ只該制ノ爲メニ生
シタル混雜ヲ説カン元來砂糖色ノ淡濃ハ實際含有スル砂糖質ノ標準トスル
モ決シテ精確ナル者ニアラス加ルニ砂糖ノ色ハ化學ノ作用ヲ以テ變更スル
ヲ得ヘキモノナリ化學ノ作用ヲ以テ砂糖ノ色ヲ變更スル好策ハ大ニ行ハレ
サリシト雖モ之ニ反シテ製造法ノ進歩ニ依リ粗製砂糖ヨリ實際精製砂糖ヲ
得ル割合ハ大ニ「コローン」ノ試驗ニ據テ定メタル法律上及國際上ノ割合ニ過
キタリ例ヘハ「コローン」ノ試驗ニ據テ檢定シタル最下級ノ砂糖ニシテ第七號
以下ノ砂糖ト稱スル者ノ如キハ六割七分ノ精製砂糖ヲ含有スル者トシ精製

砂糖ヲ輸出スル所ノ精製家ハ第七號以下ノ粗製砂糖百「キログラム」ニ對シテ
 納ムヘキ租稅ヲ免除スヘシトセリ然ルニ此七號以下ノ粗製砂糖ハ只ニ六割
 七分ノ精製砂糖ヲ生スルニ止ラス往々八割ヲ製出セリ是故ニ精製砂糖六十
 七「キログラム」ヲ輸出シタル精製家ハ第七號以下ノ粗製砂糖百「キログラム」ヲ
 買入レタル時納ムヘキ租稅ヲ免除セラレ而シテ其粗製砂糖ハ精製砂糖六十
 七「キログラム」ニ止ラス八十「キログラム」ヲ生スルヲ以テ精製家ハ租稅ヲ拂ハ
 サル精製砂糖十三「キログラム」ヲ得テ内地ニ於テ租稅ヲ拂ヒタル者ト共ニ同
 價ニ賣ルヲ得ヘシ然ラハ則チ精製家ハ此十二「キログラム」ノ精製砂糖ニ對シ
 テ拂フヘキ租稅ヲ私有シ國庫ハ私民ヲ肥シテ其額ヲ失フ者ニアラスヤ
 砂糖ノ色ニ依テ租稅ヲ定ルハ到底能クスヘキニアラサルヲ以テ砂糖稅ヲ課
 スルニ二箇ノ方法ノ行フヘキモアリ一ハ砂糖質測知法一ハ消費稅即チ砂
 糖精製所ノ檢査法トナス砂糖質測知法ニ依レハ分種法ヲ存シテ或ル場合ニ
 於テハ「サツカリメトリ」ト稱スル砂糖質ヲ測量スル器械ヲ用ヒ又時トシテ
 ハ化學上ノ分析ヲ用ヒテ誤謬ヲ校正スルニアリ之ニ反シテ精製所ノ檢査法

ニ依レハ被稅品ノ量ヲ檢定シ消費ニ供シタル分ニ對シテ精密ニ租稅ヲ徵課
 スルニアリ

余輩カ此ノ如ク喋々稅法ノ變革ヲ講述セシハ讀者ヲシテ明解スルヲ得セシ
 メンカ爲メナリ惣テ砂糖ノ法律ニ於ル是等ノ變動ヲ見レハ立法官カ同時ニ
 數種ノ營業ヲ保護セントシテ其不便ト困難ノ大ナル殆ト爲ス所ヲ知ラサリ
 シモノアルヲ見ルニ足ル元來砂糖ノ如ク生産ハ聚合シ偽造奸造ノ難キ者ハ
 租稅ヲ課スルニ最モ容易ナリトス只粗製砂糖ノ製造所若クハ精製所ニ官吏
 ヲ派遣シテ被稅品ノ量ヲ檢定スルヲ以テ足レリトナスモノナリ然ルヲ此ニ
 出テスシテ深ク侵入シ其易キヲ變シテ難キトナシ自ラ困難ヲ招キシモノト
 云フヘシ佛國ニ於テハ政府ノ檢査ヲ受ケ稅吏ノ監視ニ服スル所ノ營業少ナ
 カラス然ルヲ何ノ故ニ精製家ハ其檢査ニ服從セシムヘカラサルカ何故ニ此
 輩ハ蒸溜家「ステヤリン」紙石鹼ノ製造家粗製砂糖ノ製造家ニ比スレハ利益上
 營業上ニ於テ尊重ナルカ精製家ノ如キハ其數甚々小佛國內ノ精製家ハ十五
 乃至二十ニ過キスト云フニシテ檢査ヲ行フヲ甚々容易ナリ然ルニ精製家ハ

富豪ニシテ勢力アリ其苦情ハ能ク政府ニ徹シ議院ヲ動カスニ足ル元來佛國ニ於テハ(哀ムヘキ事情ナカラ)貴族營業平民營業ト見做ス所ノモノアリテ貴族營業ハ即チ砂糖精製所木綿紡績所蒸溜所ニシテ常ニ恩惠ヲ被フリ平民營業ハ之ニ反シテ卑賤ニシテ國家ニ關係スル所小ナリトナシ之ヲ虐待シ租稅ヲ課シテ之ヲ苦ムルヲ意トセサルモノ、如シ實ニ佛國ノ消費稅中其性質ニ於テ最モ負擔ノ平均ヲ得徵課ノ簡單ナル砂糖稅ノ如キモノアラサルナリ然ルニ立法者ノ失策ヨリシテ最モ困難ニシテ最モ變革ノ多キ亦該稅ノ如キモノアラサルナリ

佛國ノ諸時代ニ於ル被稅砂糖ノ量ハ左ノ如シ

年代	殖民地及外國 砂糖ノ輸入高 キログラム	內國砂糖 キログラム	合計 キログラム
千八百四十八年	八五、一一一、〇〇〇	二五、六九八、〇〇〇	一一〇、八〇九、〇〇〇
千八百五十年	七五、〇二九、〇〇〇	六五、〇九二、〇〇〇	一四〇、一二一、〇〇〇
千八百五十九年	一五二、九三八、〇〇〇	一一一、二五五、〇〇〇	二七四、一九三、〇〇〇
千八百六十八年	一二一、五八八、〇〇〇	一五四、二一〇、〇〇〇	二七五、七九八、〇〇〇

千八百七十六年 九一、〇〇〇、〇〇〇 一七二、〇〇〇、〇〇〇 二六三、〇〇〇、〇〇〇
 千八百五十九年ヨリ千八百六十八年ニ至ルノ間租稅ノ輕減アリシニ抱ハラ
 ス外形上被稅砂糖ノ量ヲ増加セサリシ所以ノモノハ千八百五十九年ノ頃ホ
 ヒハ租稅拂戻ノ制ヲ行ヒ千八百六十八年ノ頃ホヒハ暫時免稅ノ法ヲ施シタ
 ルニ由ル租稅拂戻ノ法ニ依レハ粗製砂糖ヲ輸入スル時ハ租稅ヲ拂ハシメ之
 ヲ輸出スル時其額ヲ返付シ暫時免稅ノ法ハ粗製砂糖ノ輸入者カ或ル一定ノ
 期日ニ於テ精製砂糖ヲ再輸出スヘキ約束ヲナス時ハ粗製砂糖ノ輸入稅任拂
 ヲ停止スルニアリ故ニ拂戻ノ制ニ於テハ被稅品ノ量大ナリト雖モ輸出ノ時
 拂戻シタル稅額ヲ扣除セサルヘカラス暫時免稅ノ法ニ於テハ輸出ノ時毫モ
 拂戻スコナント雖モ其輸入稅額ハ却テ減少ス之ヲ約言スレハ千八百五十九
 年ヨリ千八百六十九年ニ至ルマテ佛國ニ於テ砂糖ノ消費高ヲ増加セサリシ
 ニアラス千八百四十年ヨリ千八百六十八年マテニ消費高ノ増加一倍餘ニ至
 レリ之ニ反シテ千八百七十年以後ハ殆ト増加スル所ナシ今此ニ諸時代ニ於
 ル租稅ノ收入高ヲ舉レハ左ノ如シ

千八百四十年 三八、三五一、〇〇〇フランク
 千八百五十年 七三、〇七五、〇〇〇フランク
 千八百五十九年 一三九、二五五、〇〇〇フランク
 千八百六十八年 一一一、〇一三、〇〇〇フランク
 千八百七十八年 一八二、五〇〇、〇〇〇フランク

右最後ノ二項ハ拂戻ヲ行ハサル時ナルヲ以テ純然タル歳入ト云フヘキモ千八百四十年千八百五十年千八百五十九年ノ數ハ拂戻シタル租税ノ額ヲ扣除スヘキモノトス

佛國ノ砂糖税ハ千八百六十年前ニ於テハ百「キログラム」ニ付五十四「フランク」ナリシモ同年ニ之ヲ減シテ三十「フランク」トナシ千八百六十二年ニ又平均四十二「フランク」トナシ被税品ノ價格ニ對シ平均七割ニ當レリ佛普戰争後直ニ千八百七十一年七月三日ノ法律ヲ以テ三「デシム」ヲ増シ千八百七十二年之ヲ再加シ千八百七十三年以降之ヲ實施スヘキモノトセリ是ニ於テ戰後ノ増加十分ノ五半トナリ今日ニ於テハ被税品ノ殆ト一倍二割ニ當ル佛國ニ於テ

租税ノ減少セシニ拘ハラス千八百五十九年ヨリ千八百六十八年ニ至ル時代ニ於テ砂糖消費高ノ發達千八百五十年ヨリ千八百五十九年ニ至ル時代ニ及ハサル所ノ者ハ二箇ノ形情ニ由ル者ト云フヘシ第一千八百五十年ヨリ千八百五十九年ニ至ル時代ニ於テハ砂糖原價ノ減少千八百五十九年ヨリ千八百六十八年ニ至ル時代ニ於ルヨリ大ナルヘキ「第二佛國人民ノ大半ハ通常熱シタル飲料品ヲ用ヒスシテ砂糖ヲ使用スルハ驕奢ニ屬ス之ヲ以テ其消費高ノ發達ハ遅々トシテ小ナラサルヲ得サル」是ナリ

咖啡ニ於テモ事實相同シ千八百十六年ヨリ千八百五十九年ニ至ルマテ咖啡ノ税ハ百「キログラム」ニ付平均百「フランク」ノ割合ニシテ其重キ「通常品」ノ價ノ三分ノ二ニ當レリ消費高ノ増加ハ着々異同ナク千八百五十年ヨリ千八百五十九年ニ至ル時代ニ於テ六割六分ノ増加ヲナセリ千八百六十年ニ租税ヲ減シテ百「キログラム」ニ付五十「フランク」ノ半額ノ減少トナセリ然レトモ消費高ノ増加ノ割合ハ敢テ往日ニ超過セス故ニ千八百七十年七月二十七日開戰宣告ノ時再ヒ租税ヲ増シ百「キログラム」ニ付百「フランク」トナシ千八百七十一年以

後増シテ百五十「フランク」トセリ爾後又副稅ヲ加ヘテ少シク増加セリ是レ恰モ粗生品ノ原價ニ當ルモノナリ然ルニ尙ホ消費高ニハ敢テ影響ヲ及ボサ、リシト雖モ租稅增加ノ後二年ニシテ奸曲頗ル行ハレ千八百七十五年ニ至リ之ヲ剷除セリ千八百二十年前佛國咖啡ノ消費高ハ六百萬乃至七百萬「キログラム」ニシテ人口ニ比スレハ平均一人ニ付二百三十「グラム」ナリシモ千八百七十五年以降ハ消費總高五千萬「キログラム」ニシテ人口ニ比スレハ平均一人ニ付一「キログラム」ト三分ノ一ニ當ル

英國砂糖稅ノ法律ノ沿革ハ右ニ論述セシ所ノ佛國砂糖稅ノ沿革ト相似タリ立法ノ精神ハ久ク保護貿易ノ思想ヲ有シ英國殖民地產ノ砂糖ニ利益ヲ與ルカ爲メニ不同稅ヲ行ヘリ然レトモ砂糖稅ノ立法ニ關シテ佛國ト英國ノ間三箇ノ大ニ異ナルモノアリ

第一英國ニ於テ粗製砂糖ノ生産發達セサリシハ稅法ヲシテ佛國ノ如ク縊密ニ至ラサラシメシ所以ナルヲ
第二英國人民ハ一般ニ砂糖ヲ混和スル熱キ飲料品ヲ常用トスルヲ以テ英

國ニ於テハ砂糖ハ佛國ノ如ク驕奢品ニアラス之ヲ以テ消費高ノ増加ハ佛國ニ比スレハ遙ニ速カナルヲ

第三前條ノ次第ナルヲ以テ英國ヲシテ其財政ノ景況富裕ナルニ當テ全ク砂糖ノ稅ヲ廢スルニ至ラシメタルヲ

英國稅法ノ變動ニ從テ砂糖ノ消費高進歩ノ景況ハ左ノ如シ

年代

千八百四十四年

自由貿易ノ主義行ハレテ英國外國ノ殖民地產ノ砂糖稅ヲ同一ニセシ時

二三七、一四三噸

千八百六十四年

英國佛國荷蘭白耳義ノ國際會議ノ年

五二九、九一九噸

千八百六十九年

被稅品ノ品位ニ應シテ五十「キログラム」ニ付十「フランク」乃至十五「フランク」ノ稅ヲ課

六一二、六九二噸

千八百七十年	シタル時 半減ノ稅ニシテ品位ニ應シ 五十「キログラム」ニ付五「フラ ンク」乃至七「フランク」半ヲ課 シタル時	六九五〇二九噸
千八百七十一年	全稅	六九七三九二噸
千八百七十二年	全稅	七一五〇〇〇噸
千八百七十三年	五月租稅ヲ半減シテ五十「キ ログラム」ニ付二「フランク」半 乃至三「フランク」七十五「サン チム」トナシタル時	七七九〇〇〇噸
千八百七十四年	四月租稅ヲ廢シタル時	八三〇、〇〇〇噸
千八百七十五年	無稅ノ時	九二〇、〇〇〇噸

右ノ如ク英國ニ於テ砂糖ノ消費高ハ方今佛國ニ於ルヨリ多キヨ三倍餘ナリ

勿論佛國ニ於テハ假令租稅ヲ全廢スト雖モ其消費高ハ英國ト同額ニ達スル
 一ナカルヘシ如何トナレハ兩國各使用スル所ノ飲料品ノ性質ニ於テ砂糖ハ
 英國ニ於テ一般ノ消費品トナレトモ佛國ニ於テハ例外ノ消費品トナレハナ
 リ稅率ニ由テ果シテ歲入ニ如何ナル影響ヲ生スヘキヤニ至テハ余輩ハ後篇
 ニ於テ之ヲ論究セン(輕重稅率ノ影響ヲ論スル篇ヲ見ルヘシ)

英國砂糖ノ收入最大ノ額ニ達シタルハ千八百六十二年度ニシテ一億六千萬
 「フランク」(六百四十二萬七千九百二十三「ポンド」)ナレトモ千八百七十六年佛國
 ノ砂糖稅收入ノ額(一億八十萬「フランク」)ニ比スレハ頗ル及ハサルモノト云フ
 ヘシ英國ニ於テ大ニ砂糖稅ヲ輕減シタル前年千八百六十九年度ノ砂糖稅收
 入ノ額ハ一億三千五百萬「フランク」(五百三十九萬六千五百六十一「ポンド」)ナリ
 砂糖稅ニ關シテ余輩ノ論究セシ所ノ要ヲ約言スレハ少ナクモ佛國ノ如ク人
 民カ砂糖ヲ混和シタル飲料品ヲ以テ常用トセサル者ニアリテハ砂糖稅ハ諸
 間稅中最モ國民ノ歲入ニ對シテ比例ノ宜キヲ得ルヲ以テ出產上不便ヲ來ス
 一最モ少ナク而シテ徵收最モ容易ナル者ニ列スヘシト云フニアリ

余輩ハ今ヨリ最後ノ大消費稅即チ煙草稅ヲ論セン抑モ煙草稅ハ頗ル重率ヲ以テ之ヲ徵課スルヲ得ヘク其徵收ハ特占法ニ依リ之カ製造ヲ政府ニ歸シテ以テ之ヲ行フヲ得ヘシ故ニ今更ニ喋々之カ當否ヲ論スルヲ須ヒサルナリ該稅ノ如ク無害ニシテ道德上ノ利アリ容易ニシテ收入多キ所ノ者ヲ廢スルハ國家ノ財政大ニ富裕ナラサルヘカラス凡ソ煙草ハ他ノ物品ノ製造ニ使用スルモノニアラス故ニ租稅ヲ課スルモ他ノ生産ヲ害スルニ至ラス酒精稅又砂糖稅ニ至テハ此ト同シカラス且ツ煙草ハ眞ニ人間ニ要用ナルモノニアラス砂糖ニ至テハ否ラス砂糖ハ病者小兒等ニハ或ル場合ニ於テハ之ヲ用ルヲ良シトスルヲアリ或人ノ說ニ據レハ煙草ハ却テ身體ノ健康ニ害アリ又腦力ニ害アリ只其可トスル所ハ細民ハ勞働中ニ之ヲ用ヒテ神ヲ休メ慰勞ヲ覺ユヘシト云フニアリ然ルニ煙草ヲ用ヒサルモ其元氣ヲ改メ精神ヲ休ムル者少ナカラス何ソ必スシモ煙草ヲ要センヤ加フルニ吸烟者ハ公路公場ニ於テ隣接スル者若クハ行路ノ人ヲシテ或ハ其好マサル所ノ香氣ニ接セシメ他人ノ自由ヲ妨ルヲナキニアラス是等ノ事アルヲ以テ煙草稅ヲ課スルハ可ナリ否ナ

寧ロ當然ナリト云ハンノミ實ニ余輩ハ其過用シテ健全ニ害アルカ爲メニ政府ハ之ニ重稅ヲ課スルモ可ナリト云フニアラス然ト雖モ政府カ巨額ノ負債ヲ有シ巨大ノ軍備ヲ要シ消費稅ヲ設置セサルヘカラサル不幸ノ場合ニ當テハ其物品ノ使用ニ害アリ而シテ其同物品ニ就テ巨額ノ歲入ヲ得ヘキ者ナレハ之ニ依テ立法者ノ思想ヲ感動セシムヘシ或ハ煙草稅ヲ可ナリトシテ曰フ煙草稅ヲ拂フヲ欲セサレハ只其意ニ任スル者ニシテ該稅ハ則チ隨意ト云フヘキナリト余輩ハ前篇ニ於テ納否隨意ノ稅ハ果シテ利ナルヤ否ヤヲ論シ遂ニ其利ナキヲ示セリ元來其主義ニ於テハ隨意稅ヲ以テ最良ノ稅ト云フヲ得ス如何トナレハ萬一全國ノ人舉テ租稅ヲ拂フヲ欲セサレハ遂ニ收入ヲ得ル所ナケレハナリ然ト雖モ煙草稅ニ於テハ敢テ此ノ如キ恐レヲ有セス方今煙草ノ消費高八年ニ増加シ其減少シテ遂ニ消費ヲ全廢スルニ至ルハ尙ホ未タ遠シ尤モ數百年ノ後ハ歐洲人民ノ嗜好ヲ變シ數世後ノ子孫ニ至テ煙草ノ使用ヲ廢スルヲ尙ホ今人カ其祖先ノ濫用シタル蜂蜜水及或ル飲料品ヲ廢シタルカ如キモノナシト云

フヘカラス然ルニ其實驗ニ由テ之ヲ見ルニ一般ノ習慣ヲ動カスヲ殊ニ全ク之ヲ變更スルヲハ決シテ一朝夕ノ能スル所ニアラス必ス數百ノ星霜ヲ經過セサルヘカラス故ニ煙草ノ使用盛ニ行ハルニ當テハ佛國巨大ノ歲出ヲ償フカ爲メニ之ニ重稅ヲ課スルヲ得ヘク又之ヲ課セサルヘカラス

學士デ、フオヴェル氏佛國經濟雜誌ニ於テ物價變動論ヲ著ハシ煙草稅及煙草消費ノヲヲ略述セリ(千八百七十五年九月四日刊行佛國經濟雜誌ヲ見ルヘシ)佛國煙草稅ノ起源ハ遠ク千六百二十一年ニアリ其始メ稅率ハ量目百「ポンド」ニ付四十「ス」ナリシモ久シカラスシテ増加シ百「ポンド」ニ付十「リ」ヴル「ト」ナレリ千六百七十四年製造及賣買ノ特權ヲ定ム千七百八十一年ノ農地令ヲ以テ或ル地方ノ居民ノ外佛國ニ於テ煙草ヲ耕殖スルヲ禁セリ千七百八十九年其收入已ニ頗ル巨額ニシテ三千萬「リ」ヴルニ達セリ

千七百九十一年當時ノ精神ニ基キ特占ヲ廢シ佛國內何レノ地ニ於テモ自由ニ煙草ヲ耕殖スルヲ許シ獨リ外國ノ煙草ニ租稅ヲ課セリ然ルニ歲出入相償ハサリシヲ以テ革命第七年ノ法律ヲ以テ再ヒ煙草ノ製造稅ヲ設置シ爾後又

其賣買稅ヲ設置セリ然ルニ又奸曲盛ニ行レタルヲ以テ千八百十年政府特占ノ法ヲ行ヘリ凡ソ特占法殊ニ政府特占法ノ弊ハ競争ヲ絶ツカ爲メニ製造法ヲ死守シ製造所ノ職員若クハ所長ハ利益ニ關係ナキヲ以テ注意少ナク思慮ヲ勞スルヲ少ナク作業ノ進歩上最モ要用ナル狀件即チ競争ノ刺撃ト自己ノ利益トヲ欠クニアリ此ヲ以テ政府特占ノ法ヲ排撃スル者頗ル盛ナリシ然ト雖モ他ノ方法ヲ以テ煙草稅ニ就テ純歲入貳億八千萬「フラン」クノ巨額ヲ得ル能ハス又民ニ損害ヲ加フル程ノヲナク且此ヲシテ煩則ニ苦マシムルヲ少ナキハ政府特占ノ法ニ及フ者アラサルナリ然ラハ則チ假令之ヲ永遠ニ行フヘカラストナスモ今日ニ當テハ特占法ヲ以テ宜キヲ得タルモノト云フヘシ

千八百三十五年大ニ特占法ノ利害得失ヲ調査研究シ遂ニ期限ヲ定メテ特占法ヲ繼續スヘキニ決シ爾後其期限滿ル毎ニ之カ延期ヲナセリ之ヲ以テ佛國煙草ノ特占法ハ暫時ノ制度ナリト雖モ尙ホ英國ノ歲入稅ニ於ルカ如何レノ日カ其終ルヲ知ラサルモノナリ

加之ナラス製造及生産品質ノ黜ヨリ之ヲ見ルモ煙草ノ特占ハ不便甚々小ナ

リ元來租稅重ケレハ奸曲從テ起リ不正品ノ生産行ハルモノトス然ルニ政府ニ於テ特占ヲ有スル時ハ租稅甚タ重シト雖モ其物品ハ正當ニシテ有害ノ贗造品等ヲ生産スルノ患ナキハ疑フヘカラサルモノナリ千八百七十七年千八百七十八年日耳曼ノ國會ニ於テ煙草稅ノ議アルニ當リ副議長デ、スタウフエ
ンホルク氏衆ニ云テ曰ク

吾人吸烟者ハ能ク烟草ヲ喫スルヲ知ルト雖モ吾人ノ喫スル所ノ者ヲ知ラス方今煙草ノ代用品ヲ使用スルト盛ニ行ル吾人ノ用ル所ノ刻烟草卷烟草ニ混和スル所ノ者ハ甜菜葉ヨリ櫻葉ニ至ルマテ悉ク皆舉テ其植物ヲ解説セント欲セハ其數ノ無量ナル此ヲ以テ一篇ノ植物書ヲ編スルニ足ルヘシ其然ル所以ノモノハ煙草ニ課スルニ五十五フランク七十五フランクノ重稅ヲ以テスルニ由ルニアラスヤ云々

佛國ノ煙草稅ハ日耳曼論者ノ云フ所ニ比スレハ尙ホ遙ニ重ク而シテ生産品ハ純粹ナリ由是觀之ハデ、スタウフエンホルク氏ノ言フ所ハ則チ特占法ヲ維持スル所以ノ一大要點ト云フヘシ抑モ佛國ノ通常煙草ノ聲價アルハ世ノ知

ル所ナリ佛國大藏省ノ統計官報(千八百七十七年三月發行)ニ據レハハヴハナ卷煙草ノ賣高ヲ減少セリト雖モ是只ニ消費スル所ノ者ヲ移轉セシニ過キサルヲ知ルヘシ其言ニ曰ク

政府作業所ノ理事員カ直チニ生産地ニ就キ有名ナルハヴハナノ粗製煙草ヲ買ヒ之ヲ以テ佛國ニ於テ製造シタル卷煙草ヲ以テ外國製品ニ代用スルト少ナカラス是レ國庫及國家ノ作業ニ於テ兩益タリ而シテ佛國製品消費高ノ増加ハ外國製品消費高ノ減少ニ過キタリ云々

煙草ノ如ク製造簡單ニシテ注意及忠實ヲ要スルト少ナク加ルニ却テ有害ナル物品ナル時ハ特占ヲ行フモ敢テ不可ナリト云フヘカラス況ヤ政府ニ純收入ヲ得ルニ億七千萬若クハ二億八千萬フランクニ達スルニ於テヲヤ煙草稅徵課ノ方法數種アリ一ニハ普魯士ニ於テ方今ニ至ルマテ行フ所ノ平方稅ノ法アリ該法ニ依レハ煙草ヲ耕殖スル土地ノ廣狹ニ從フカ若クハ收穫ノ重量ニ應シテ土地ニ租稅ヲ課スルニアリ然ルニ此方法ハ收入最モ少ナキモノニシテ日耳曼帝國ハ其最良ノ年度即チ千八百七十六年度ニ於テモ煙草

税ノ純收入僅ニ千七百八十五萬二千「フランク」ヲ得タルノミ加ルニ右ノ税額ハ殆ト皆外國煙草ニ課シタル關稅ノ收入ニシテ内國煙草ノ税ハ僅々百八十四萬二千「フランク」ヲ收入セシノミ往昔「バーデン」侯國ニ於テ煙草税ヲ課スルニ煙草カ生産者ノ手ヨリ購買者ノ手ニ移轉スル時ニ於テセシ「アリア」又ウル「テンボルク」ニ於テハ煙草税ヲ課スルニ會社税ノ一種ヲ以テシ其營業ノ割合ニ比例シテ商賈ト製造家ニ分賦スルノ法ナリ然ルニ普魯士ノ平分税ハ全日「耳曼」帝國ニ及ヒ「バーデン」及ウル「テンボルク」皆共ニ改メテ平分税トナレリ合衆國魯西亞ノ二國ハ煙草ノ耕殖ヲ放任シ製造賣買免許税ノ法ヲ以テ煙草税ヲ徵收ス財政上ヨリ之ヲ見レハ都テ是等ノ方法ハ縝密ニシテ巨大ノ收入ヲ得ルニ足ラス敢テ良法ト云フヲ得サルナリ

大國ニ於テハ煙草税ヲ以テ二三億「フランク」ノ歲入ヲ得ル「ト」難キニアラス若シ此ノ如キ巨額ノ歲入ヲ得ント欲セハ二箇ノ方法ノ以テ撰ムヘキアリ第一内地ニ於テ煙草ノ耕作ヲ嚴禁シ關稅ヲ煙草ニ重課スル英國ノ如クスル「ト」第二製造ノ特占法ヲ設ケ佛國及澳地利「匈牙利」ノ如ク政府直轄ノ事業トスルカ

若クハ以太利ノ如ク請負事業トナス「ト」二者ノ中政府直轄ノ特占ヲ好トス如何トナレハ消費者ニ與ルニ確實ノ保証ヲ以テスレハナリ

佛國ニ於テハ製造賣買共ニ政府ノ特占ニ歸シ以テ煙草税ヲ徵收ス之ヲ以テ左ノ結果ヲ生ス

第一一個人ノ使用ニ供スル少量ノ外ハ人民自ラ外國ノ煙草ヲ輸入スルヲ

嚴禁スル「ト」

第二政府ノ爲メニスルカ若クハ政府ノ許可ヲ得テ輸出ノ爲メニスルニア

ラサレハ内地ニ於テ煙草ヲ耕作スルヲ禁スル「ト」

内國煙草及外國煙草ヲ購求スルハ一切政府ノ手ニ係ルモノトス千八百十六年ノ法律ニテ内國ニ於テ少ナクモ六分ノ五ヲ耕作スヘキモノトシ千八百三十五年ノ法律ニテ之ヲ減シテ多キモ五分ノ四ニ過クヘカラストセリ此改正ヲ行ヘル所以ノ者ハ外國煙草ハ内國煙草ニ比スレハ優等品ナルヲ以テ消費者ノ便ヲ謀リシモノナリ佛國ニテハ煙草製造所十六、倉庫三百五十九、小賣店三萬三千アリ而シテ此ニ從事スル所ノ者ハ職員ヲ始メ皆悉ク政府ノ命スル

所トス

千八百十六年ノ法律ヲ以テ間稅局ニ許スニ「カンチーン」ト稱スル烟草ヲ製造
 スルヲ以テシ其賣價ハ一「キログラム」ヲ超ユヘカラサル者トセリ間稅局ハ此
 權利ヲ用ヒテ邊境ニ接スル諸州ノ奸計ヲ防遏センコトヲ謀レリ千八百三十四
 年ノ王令ヲ以テ外國品輸入ノ便ヲ得タル地方ニ於テ「カンチーン」烟草ノ價ヲ
 減シ殆ト密賣烟草ノ價ト同フセリ右ノ稅法ハ分區稅法ト稱スル者ニシテ佛
 國人民ニ不同稅ヲ課シ内部ノ人民ニ重課シ邊境ノ人民ニ輕課スルノ不便アリ
 リ則チ北部東部ノ諸州ニ於テ一「キログラム」ニ付二「フランク」五十「サンチム」
 三「フランク」四「フランク」五「フランク」ニ賣ル所ノ烟草ハ佛國ノ内部ニ於テ十「フ
 ランク」ニ賣ル所ノ者ト毫モ異ナルナシ千八百七十年ヨリ千八百七十一年ニ
 至ル戰爭後區數五ヨリ減シテ三トナシ邊境區ノ居民ニ與ヘタル恩惠ヲ減シ
 驕奢品ナル卷烟草ノ價ヲ増加セリ

佛國烟草稅ノ重キ諸國其比ヲ見ス平均凡ソ被稅品價格ノ五倍ニ當ル普通品
 ニシテ需要最モ大ナル烟草一「キログラム」ニ付小賣商カ政府ニ納メタル價ノ

沿革ハ左ノ如シ

- 八「フランク」五十「サンチム」 千八百十一年五月九日ノ法令ニ由ル
- 六「フランク」四十「サンチム」 千八百十二年十二月二十九日ノ法令ニ由ル
- 七「フランク」二十「サンチム」 千八百十六年十月九日ノ命令ニ由ル
- 七「フランク」二十五「サンチム」 千八百四十八年五月二日ノ法令ニ由ル
- 九「フランク」 千八百六十年十月十九日ノ法令ニ由ル
- 十一「フランク」五十「サンチム」 千八百七十二年二月二十九日ノ法律ニ由ル

優等品ノ烟草ノ價モ亦同一ノ割合ニ増加セリ不幸ニシテ該稅ハ常ニ被稅品
 ノ價格ニ比例セス下等品ヲ用ル所ノ細民ハ驕奢ナル卷烟草ヲ用ル者ニ比ス
 レハ租稅ヲ負擔スルコト割合ニ重シ此事タル佛國ノ消費稅ニ於テ往々見ル所
 ニシテ非難ヲ免レサル所ナリ消費高ノ増加ニ至テハ租稅ノ増加ニ拘ハラヌ
 頗ル盛ニシテ千八百六十一年ヨリ千八百六十九年ニ至ルマテハ毎年ノ増加
 僅ニ二分二五ナリシモ千八百七十三年ヨリ千八百七十七年ニ至ルマテハ每
 年三分ヲ増加セリ佛國烟草消費高ノ發達并ニ租稅收入ノ増加ヲ示スコト左ノ

如シ	年代	消費高 <small>キログラム</small>	惣收入(賣下價) <small>フランク</small>	國庫純收入 <small>フランク</small>
	千八百三十年	一一、一六九、五六〇	六七、一四九、六七三	
	千八百四十年	一六、〇一八、四九五	九五、一六九、四一七	
	千八百五十年	一九、二一七、二八三	一二二、一一七、八六三	
	千八百五十九年	二八、六〇二、〇〇〇	一七九、七四八、〇〇〇	一二九、六六〇、〇〇〇
	千八百六十五年	三〇、一二二、〇〇〇	一三三、七、二二二、〇〇〇	一七七、九二一、〇〇〇
	千八百六十八年	三一、三八〇、〇〇〇	二四八、五八七、〇〇〇	一九〇、〇九七、〇〇〇
	千八百六十九年	三二、五七四、〇〇〇	二五五、七〇七、〇〇〇	一九七、二一一、〇〇〇
	千八百七十二年	二七、〇〇〇、〇〇〇	二六九、四三六、〇〇〇	二一八、七二〇、〇〇〇
	千八百七十三年	二八、三四二、〇〇〇	二九〇、九四八、〇〇〇	二三五、一七六、〇〇〇
	千八百七十四年	二九、一二七、〇〇〇	二九八、七六九、〇〇〇	二四一、〇三二、〇〇〇
	千八百七十五年	三〇、三七一、〇〇〇	三一二、四四〇、〇〇〇	二五五、〇九〇、〇〇〇
	千八百七十六年	三一、四三五、〇〇〇	三二二、三七二、〇〇〇	

千八百七十七年 三二、一一九、〇〇〇 三二九、四五〇、〇〇〇
 千八百七十八年 三三、一一七、〇〇〇

千八百三十年ヨリ千八百六十九年ニ至ルマテニ佛國ノ烟草消費高ハ殆ト三倍シ租税ノ惣收入ハ殆ト四倍ヨリ佛國普戰争後ハ租税増加ノ爲メニ暫時消費高ヲ減少セリ否ナ密賣ノ爲メニ被税高ヲ減少シ千八百七十五年ニ於テ被税高再ヒ千八百六十九年ノ舊ニ復セリ(若シアルサーズロレーンノ二州ヲ失ヒタルヲ酌量スレハ)抑モ方今佛國烟草税ノ惣收入高ハ三億三千万フランクニシテ買入及製造ノ費用ハ凡ソ六千万乃至六千五百萬フランクナルヲ以テ租税ノ高ハ平均其價ノ五倍ニ當ル千八百七十七年烟草ノ賣高三千二百萬キログラムニシテ一キログラムニ付十一フランク五十サンチムノ價ナル通常ノ吸烟草ハ其千三百萬キログラム特權ヲ得タル區内ニ於テ低價ニ賣ラレタル者及海陸軍人若クハ諸救濟院ヘ低價ニ賣ラレタル者ハ七百萬キログラムニ餘通常ノ吸烟草七百萬キログラム紙卷烟草六十萬キログラム其他ハ驕奢ニ屬スル上等ノ烟草トス

英國ノ烟草稅モ亦頗ル重シ其徵收方法ハ佛國ト異ナリト雖モ其嚴密ナルニ至テハ佛國ニ讓ラサルナリ而シテ英國内ニ於テハ一切烟草ヲ耕殖スルヲ禁シ惣テ專ラ稅關ニ於テ之ヲ徵收スルモノトス千八百七十六年度ニ於テ英國烟草稅ノ收入高ハ概數一億九千五百萬フランクアリ然ルニ此額タル佛國ノ如ク惣收入ヲ云フニアラスシテ純收入トナス故ニ英國烟草稅ノ收入高ハ實際佛國ノ收入高ノ三分ノ二餘ニ當ル千八百六十四年英國烟草稅ノ收入ハ僅ニ一億五千萬フランク五百九十八萬四千ポンドナリシヲ以テ之ヲ見レハ收入ノ増加ハ毎年凡ソ三百五十萬フランクニ當ルモノト云フヘシ

歐洲大陸諸國ノ烟草特占法ヲ設置シタル者ハ之ニ依テ巨大ノ歲入ヲ得又此制ヲ廢セント欲スルモノナシ以太利ハ此特占ヲ一會社ニ請負ハシメ賣高ニ應シテ政府ニ特占料ヲ納メ又利益ノ一部ヲ納ル者トス千八百六十八年即チ該制ヲ施シタル初年以太利政府ハ六千八百五十萬フランクノ收入ヲ得タリ其六千六百八十九萬四千フランクヲ特占料トシ百六十五萬二千フランクヲ利益ノ歩制トス然ルニ千八百七十六年ニハ同稅ノ收入八千七百萬フランクヲ

ヲ得テ七千九百五十萬フランクハ特占料ヨリシ五百萬フランクハ利益ノ歩割ヨリシ二百五十萬フランクハ附加稅ヨリセリ墾地利ノ烟草特占ノ起源ハ頗ル古ク千六百七十年ニ於テ請負ノ法ヲ以テ之ヲ設置セリ方今ハ政府自ラ此事業ヲ執ル之ヲ匈牙利ニ施シタルハ實ニ千八百五十一年トス諸國ノ中烟草ノ農産及製産ノ高最モ大ナル者ヲ墾地利匈牙利トナス其特占シテ執ル所ノ事業ハ内國烟草ノ耕作烟草ノ耕作ヲナス者ハ豫メ政府ノ許可ヲ得ル者トス内國産外國産ノ烟草葉ノ購買製造烟草ノ賣捌ニシテ殆ト佛國ノ制ニ同シ只其異ナル所ハ假令一般ニ行ハサルモ少ナクモ匈牙利ニ於テハ主管局ニ於テ直チニ耕作ノ改良ニ干涉スルニアリ而シテシスライタニ一匈牙利各々別ニ其主管局アリ千八百五十一年烟草稅ノ惣收入高ハ全帝國ニ於テ七千五百萬フランクニシテ其純收入ハ僅ニ三千六百五十萬フランクニ過キス千八百七十四年ニハシスライタニ一特占ト匈牙利ノ特占トヲ合シテ其惣收入二億千五百萬フランクニシテ純收入ハ一億二千萬フランクナリ由是觀之ハ千八百五十一年以來經費ノ増加ハ僅ニ一倍三割ニシテ純收入ノ増加ハ三倍餘

ニ達セシ者ト云フヘシ

日耳曼帝國ノ大丞相ビスマルク氏カ日耳曼ニ於テ烟草特占ノ法ヲ施サント欲シタルハ敢テ怪シムニ足ラサルナリ抑モ國家ノ經費巨大ナル者ニシテ其方法ヲ善良ニセハ敢テ國家ノ經濟ヲ害セスシテ其六倍多キハ十倍ノ歳入ヲ生スヘキ租稅ヲ以テ僅ニ千八百萬乃至二千萬フランクノ收入ヲ得テ而シテ満足スルハ却テ其意ヲ解スル能ハサルナリ日耳曼ニ於テハ烟草ニ稅スルコト葡萄酒其他衛生上ノ利アル飲料品ニ於ルヨリ輕シ財政ノ措置ヲ轉倒シ道義ニ背戾スルコト甚シト云フヘシ或ハ云フ日耳曼ニ烟草ノ特占ヲ施行セント欲セハ設置ノ費用三億フランクヲ要シ加ルニ種々ノ抵抗ニ會セサルヘカラスト然ルニ假令一時巨額ノ經費ヲ費スモ一時民心ノ不滿ヲ起スモ其結果ノ望ミアル是等ノ困難ニ超過スルニ足ルモノアラン瑞士ニ於テモ方今財政ノ困難ニ會セリ宜ク烟草特占ノ法ヲ設置スヘシ若シ烟草特占ノ法ヲ行ハサル諸國ニ於テ余輩ニ諮詢スルニ該法設置ノ事ヲ以テセハ余輩ハ單ニ言ハントス人民既ニ此方法ニ慣ル、所ノ佛國ニ於テハ余輩ハ斷然該法ヲ維持セント欲ス

スル者ナリト萬一佛國ニ於テ此方法ヲ改革スルカ如キコトアラハ實ニ怨スヘカラサル失策ト云フヘシ余輩カ烟草稅ノ最モ重キヲ以テ最モ長シトスルハ特ニ國庫ニ收入スルコトノ最モ大ナルヲ以テナリ是故ニ巨萬ノ大軍巨萬ノ國債ニシテ存セハ佛國ハ烟草ノ特占ヲ存セサルヘカラス

諸國烟草稅ノ景況ハ大藏省發行ノ統計及行政比較官報ニアリ就テ千八百七十七年ノ二月三月六月七月發行及千八百七十七年ノ二月三月四月發行ノ分ヲ見ルヘシ

佛國烟草稅收入ノ年々増加スルコト尙ホ未タ久ク止マサルヘシ進テ諸國ノ烟草消費ノ景況ヲ見ルニ佛國ハ人民吸烟ノ量最モ少ナキ國ニ列スヘシ其全國ニ於テ消費スル所ノ烟草ノ量ハ平均百人ニ付僅ニ九十キログラム一人ニ付一キログラムニ上ラストス白耳義ハ百人ニ付二百五十キログラム荷蘭ハ二百キログラム日耳曼ハ百五十キログラム墺地利ハ百二十四キログラム那威ハ百二十キログラム暹國ハ百キログラム匈牙利ハ九十四キログラムニシテ皆佛國ニ過キタリ或ハ云ン是等ノ諸國ニ於テハ烟草稅輕クシテ佛國ノ如ク重

カラスト曰ク然リ然レトモ墾地利及匈牙利ノ如キハ烟草税頗ル重シ魯西亞ニ於テハ烟草ノ消費ハ百人ニ付八十三キログラムナリ是レ佛國ノ平均高ト殆ト相似タルモノト云フヘシ之ニ反シテ英國百人ニ付六十二キログラム以太利百人ニ付五十七キログラム西班牙百人ニ付四十六キログラムノ平均消費高ハ遠ク佛國ニ及ハス余輩ヲ以テ之ヲ見ルニ烟草消費ノ多少ハ人種ノ差異ト多少關係ヲ有スルモノ、如シ佛國ニ於テ吸烟多キハ市府及工業ノ盛ナル諸縣ニシテ山地方ノ諸縣ニ於テハ少ナシ則チパーテ、カレニ於テハ烟草ノ消費高百人ニ付二百四十七キログラムノルドニ於テハ二百十二キログラムセーニ於テハ百七十五キログラムブーシ、ヂコ、ローニ於テハ百五十八キログラムゾールニ於テハ百三十四キログラムナリ然ルニドルドギユニ於テハ減シテ百人ニ付平均三十三キログラムオート、サヴリニ於テハ三十一キログラムアヴェーロンニ於テハ三十キログラムロゼールニ於テハ二十八キログラムナリ由是觀之ハ市府ノ人民多キニ從テ烟草ヲ好ムト多キヲ知ルヘシ此二十年以來烟草ノ使用擴張セシ一原因ハ毎年軍人ノ消費スル所多キヲ

加ヘタルニアリ而シテ今後ト雖モ尙ホ此部分ノ消費高ノ増加ハ決シテ小ナラサルヘシ如何トナレハ兵營ハ吸烟ヲ學フノ一學校ナレハナリ
余輩ハ此篇ニ於テ消費税ノ重要ナルモノヲ論究セリ然ルニ余輩カ未タ此ニ論究セサル所ノ者アリ何ソヤ人間ノ暗愚ナル立法者ノ淺慮ナル往々意外ノ物品ニ課税スルコトアルヲ免レサレハナリ近年摺附木ニ税シタルカ如キ之ヲ一例トス而シテ此事タル同時ニ保護政策ノ狂謀ニ惑ハサレ自由貿易ノ主義ヲ措テ顧ミサル所ノ執政者カ陥リ得ヘキ失策ヲ証スルモノト云フヘシ佛國ノ如ク巨大ノ軍ヲ擁シ巨額ノ債ヲ負フ所ノ政府ニ於テハ消費税ヲ全廢スルヲ得ヘカラス之ヲ實驗ニ徵スルニ消費税ヲ課スル所ノ物品ハ力メテ種類ノ少ナキヲ要ス加之ナラス製造ノ粗生品トナル物品ト雖モ若シ之ニ税シテ營業ノ進歩ヲ妨ルコトナケレハ製造品ト均ク租税ヲ課スルヲ妨ケサルナリ若シ其有効若クハ無害ノ順序ニ依テ各種ノ消費税ヲ列記セハ余輩ハ烟草税ヲ以テ第一トシ第二ヲ咖啡税トシ第三ヲ砂糖税トシ第四ヲ鹽税トシ特ニ酒精税ヲ第五トシ麥酒葡萄酒林檎酒ノ税ヲ以テ第六位ニ置カン第六位ノ諸税ハ之

ヲ課スルニ平均ヲ得セシムルヲ甚タ難シ織物紙石鹼ステアリン等ノ諸税
ニ至テハ深謀遠慮ノ國ニ於テハ決シテ設置スヘキモノニアラサルナリ

租税論

第十五篇

地方税

若シ單ニ國税ヲ論シテ地方税ニ及ハサレハ一國ノ財政法ニ於テ未タ悉サ、
ル所アリ抑モ地方ノ歳計ハ數々中央政府歳計ノ三分一ニ至リ時トシテハ其
半額ニ達スルコトアリ殊ニ地方自治ノ國ニシテ政權地方ニアルモノハ地方歳
計ノ肝要ナル却テ國家歳計ノ右ニアリ

元來地方税ノ良法ヲ得ルハ諸國皆難シトスル所ニシテ其良法ヲ得タルヲ以
テ世ニ誇ルニ足ル者甚タ稀ナリ佛國ニ於テハ市邑入市税ノ不便ナルハ世人
ノ徧ク知ル所タリ英國ニ於テハ地方直税ノ賦課宜キヲ得ス負擔重キカ爲メ
ニ財産ヲ害スルコト少ナカラス之ヲ以テ方今地方税改正ノ論題ハ最モ英國人
民ノ心ヲ勞スル所ノ問題ノ一ニアリ又亞米利加合衆國ノ諸州及諸府ニ於テ
徵課スル資本税ノ不當ナルハ已ニ前篇ニ於テ論究セシ所ノ如シ
地方税國税ヲ問ハス税法ノ宜キヲ得ント欲セハ嚴ニ費用ヲ節セサルヘカラ

ス經費其必要若クハ即今有用ナル所ノ者ニ超過スル時ハ租稅增加シ稅法紊亂スヘキハ決シテ疑ヲ容サル所ナリ

方今歐洲諸國ノ行フ所ヲ見ルニ或ハ地方ノ徵稅權ヲ制限シ或ハ被稅ノ物件ヲ定メテ地方ノ權ヲ制限セリ此ノ如キ制限ヲ定メ中央政府ニ於テ地方ノ財政ヲ統制スルハ頗ル要用ニシテ敢テ之ヲ可否スヘキモノナシ元來中央政府ハ全國ヲ統治スル者ニシテ能ク全國一般ノ形情ニ通シ事ヲ見ル公平ニシテ且ツ先見ノ明アリ余輩ヲ以テ之ヲ見ルニ全國ニ於テ或ハ地方稅ノ負擔重キニ過キ其極遂ニ國稅ヲ負擔スルニ堪サルカ如キ地方アルニ至ラシメサルハ中央政府ノ當ニカムヘキ要件ト云フヘシ英國及佛國ニ於テハ郡(カウンティ)若クハ縣(テパルトマン)若クハ市邑(ボロー)又ハミユニシパリター)ニ於テ公債ヲ募集スルノ權ヲ抑制シ公債ヲ募集スルハ期限ヲ短クシテ仕拂フヘキモノトナス(ポリユ)氏著千八百七十二年巴里府ギローマン氏出版佛國及英國地方政治ヲ見ルヘシ)

斯ノ如ク中央政府ハ其自己ニ於ルヨリ却テ其部下ヲ處スルニ至テハ慎重ニ

シテ心ヲ用ヒ地方ヲシテ自ラ永遠ノ公債證書ヲ發行スルヲ許サスト雖モ中央政府自己ノ公債ニ至テハ此危險ナル方法ヲ執テ顧ミサル者ノ如シ亞米利加合衆國諸州ノ如キモ亦此點ニ於テ地方政府ノ權ヲ制スルノ必要ナルヲ覺エタルヲ以テ中央政府ハ敢テ干涉スル所ナシト雖モ諸州多クハ各自ノ憲法ヲ以テ公債ヲ募集スルヲ得ヘキ條件ヲ定メ其場合ニ當テハ確乎タル償還法ヲ立ルニアラサレハ公債ヲ起スヲ得サラシム(メルン)氏著千八百六十年ノ財政年誌ニ於テ合衆國諸州ノ財政組織ノ篇ヲ見ルヘシ)

歐洲諸國ノ政府ハ地方ニ於テ課稅スルヲ得ヘキ物件ヲ定メ地方ノ經費ニ宛ルカ爲メニ重ニ直稅ヲ課セシメ又ハ地方所有地ノ收入ヲ以テ之ニ宛テ又ハ用水瓦斯等ノ特占權ヲ與ヘテ歲入ヲ得ルヲ計ラシムルヲ常トス佛國ニ於テハ市門ニ於テ課スル所ノ入市稅ノ法ニ依テ大ニ地方ノ間稅ヲ發達セシメタリ

佛國及英國ニ於テハ直稅ハ特ニ縣及郡ニ行フヲ法トス佛國ハ四箇ノ正稅即チ地租、分頭及動產稅、門窓稅、營業稅ノ副稅トシテ縣ノ租稅ヲ徵收ス此方法々

ル其性質ニ於テハ間然スル所ナシト雖モ其可否得失ニ至テハ余輩カ已ニ論究シタル四直税ノ可否得失ト相伴フヤ明カナリ是故ニ若シ地租ノ正税ニシテ賦課宜キヲ得サレハ其副税モ亦負擔ノ平均ヲ得ス加之ナラス副税ノ不均ハ却テ正税ノ不平均ヨリ甚キヲ加フヘシ如何トナレハ正税ハ數十年以來久ク已ニ定リ容易ニ變更スル所ナシト雖モ副税ハ每年増加スルヲ以テ地租原簿ノ不當益甚キヲ加ヘ其弊害益甚キヲ覺ユヘケレハナリ其他分頭及動産税門窓税、營業税ノ副税ニ於テモ皆均ク其正税ト可否得失ヲ共ニス余輩ハ已ニ佛國直税ノ可否ヲ講究セリ宜ク前篇ニ反リテ之ヲ見ルヘシ其可否ノ如何ヲ問ハス現行ノ直税ニ加ルニ増減スルヲ得ヘキ副税ヲ以テシ之ヲ補フニ縣有財産ノ收入ヲ以テシ之ヲ以テ專ラ縣費ノ財源トナスニ至テハ頗ル良法ト云フヘシト雖モ縣若クハ市邑ニ附スルニ歲入税ヲ設置シ若クハ之ニ附加税ヲ課スルヲ議決スルノ權ヲ以テスルカ如キハ頗ル危殆ナルカ如シ如何トナレハ歲入税ノ徵課ハ須ラク慎重ヲ要スルモノニシテ中央政府獨リ此權ヲ有スヘキモノナルヲ以テナリ

或ル國ノ地方ニ於テ往々歲入ノ全部若クハ營業ノ利益ニ租税ヲ課スルノ權ヲ有スル者アリト雖モ其結果ハ常ニ非常ノ精密ヲ致スニ至ル例ヘハ西班牙ニ於テマドリツド州ハ銀行及會社ノ利益ニ一割四分五ノ税ヲ課シ而シテ嘗テ其州内ニ線路ヲ有スル鐵道會社ノ利益ニ之ヲ及ホサントセシムアリ

若シ此權ヲ以テ地方ニ委ヌル時ハ某地方殊ニ市邑ノ如キハ之ヲ濫用スルノ恐レアリ間税ニ至テハ往昔ノ州郡關稅ヲ復シテ公衆ニ大害ヲ被ラシムルニ至ラサレハ縣若クハ郡ノ爲メニ利アルヤ敢テ疑ヲ容レサル所ナリ佛國及英國ノ重要ナル行政區即チ縣郡及邑(ボロー)ノ收入ノ殆ト全額并ニ市邑(コムミューン)ノ收入ノ一大部分ハ直税ニアリト雖モ其賦課ノ方法ニ至テハ兩國大ニ相異ナリ佛國ニ於テハ國家ノ直税ニ附加スルニ増減スルヲ得ヘキ租税ヲ以テシ之ヲ稱シテ副税ト云ヒ成法ニ據テ定メタル制限内ニ於テ地方議會之ヲ議決シ中央政府ノ官吏之ヲ徵收ス故ニ佛國ニ於テハ直税ノ事ニ付新法ヲ設ルヲ得ス地方ノ直税ハ國家ノ直税ノ附庸ニシテ國家ノ直税

ト其性質ヲ均フシ從テ其利害得失ヲ共ニスルモノナリ斯ノ如ク佛國直税ノ法ハ畫一ニシテ國稅地方稅ノ間其程度若クハ歩合ニ於テハ異ナルアルモ其性質ニ至テハ毫モ異ナル所ナシ之ヲ以テ地方行政官ノ思想ヨリ生スヘキ不規則ノ所業ヲ防禦スルヲ得又其會計上ニ於テモ甚タ簡單ナルヲ得タリ

英國ハ此ニ異ナリ地方ノ直税ハ全ク國家ノ直税ト關セス郡稅(カウンチーレ―ト)邑稅(ホーローレ―ト)救貧稅(プーワレ―ト)ノ如キハ中央政府ノ設置ニ係ル地租(ランドタツキス)若クハ家屋稅(ハウスヂューチー)ト相連絡スル所ナク地方ノ直税ハ地方ノ官吏之ヲ徵收ス是等ノ官吏ハ會計檢査局ノ檢査ノ及フ所ニアラス其檢査官ハ地方自ラ之ヲ命ス政治學史(ゲシヒト、デル、スタアツヴイツセンシャフテン)ノ著者デモル氏嘗テ云ヘルアリ曰ク

エングランド及ウエールスニ於テハ百七十三箇ノ諸法律ニ據リ賦課徵收スル所ノ諸稅二十四種ヲ下ラス其賦課徵收ニ關スル所ノ官吏ハ無給ナル者頗ル多キモ十八萬人アリ右諸稅ノ中徵收ノ方法甚タ煩冗ニ計算精確ナラス會計ノ法完備セス大ニ冗費ヲ増シ租稅從テ増加セサルヲ得ススコフ

トランド及アイヤランドニ於ルモ亦相全シ只此ノ如ク甚シカラサルノミ此ノ如キ有様ニシテ千二百萬ポンド即チ三億フランクヲ徵收スト云フ誰カ之ヲ信スルヲ得ンヤ云々

モル氏ノ政治學史世ニ出テ、ヨリ英國地方稅ノ額大ニ増加シ千八百七十三年度ニ於テ徵收シタル者ハ僅ニ三億フランクニ止マラスシテ七億三千百萬フランクニ達セリ而シテ其直税ヲ以テ徵收シタル者ハ實ニ六億八百萬フランクナリ亞米利加合衆國ノ法モ亦英國ノ法ニ均シ該二國ニ於テハ中央政府ハ其財務官吏ヲシテ決シテ地方ノ財務ニ與ラシメス却テ時トシテハ國稅ノ賦課ニ關シテ地方ノ財務吏員ノ立會ヲ要スルヲアリ則チ歲入稅ノ如キ其著ルシキ者トス

是等二種ノ稅法ノ得失如何ヲ見ルニ英國及合衆國ノ法ニ於テハ佛國ノ法ニ比スレハ一層自治ノ主義ニ基クモノニシテ大ニ地方ノ精力ヲ發達スルモノトス其地方ヲシテ全ク自治ノ權ヲ得セシムルヲ得ルハ之ヲ捨テ、又他ニ方法ナカルヘシ之ニ反シテ佛國ノ法ニ依リ現行ノ直税ニ附加スルニ増減スル

ヲ得ヘキ副税ヲ以テシ會計ノ法ヲ畫一ニシ中央政府ノ官吏ヲシテ地方ノ直
 税ヲ徵收セシムル時ハ地方ノ財務ヲシテ一層簡易明瞭ナラシメ其費用ヲ節
 セシメ官金ノ竊取民金ノ收斂ヲ防禦スルノ手段トナル之ヲ以テ佛國法ノ取
 ルヘキハ余輩ノ斷シテ疑ハサル所ナリ假令英國ニ於テハ英國法ノ大不便ヲ
 見サルモ合衆國ニ於テハ已ニ非常ノ弊害ヲ驗ハセリ即チ紐育府ノ「ママニ」
 リングト稱シ世ニ知ラレタル未曾有ノ大變ノ如キハ若シ地方ノ直税ニシテ
 其徵收會計及監督ニ於テ中央政府ノ直税ニ附屬セシメハ決シテ生スルヲ得
 ヘカラストウイード氏及其黨與ノ大盜ハ忽チ發覺セラレヘキナリ
 前章ニ掲載シタル所ノモル氏ノ言ハ英國租税ノ繞密ナルヲ説クコト少シク其
 實ニ過キタルカ如シ抑モ英國ノ地方ニ於テハ余輩カ已ニ前篇ニ論難シタル
 特別税ノ法ヲ行ヒ救貧税(ブーワレイト)郡税(カウンチーレイト)邑税(ポロー
 レイト)警察税(ウオッチレイト)點火税(ライチングレイト)下水税(スーワルスレ
 ート)等アリ尙ホ此類ヲ少ナシトセス佛國ニ於テモ亦時トシテ市邑ノ特別税
 アリ即チ鋪石税掃除税(巴里)ニ於テ機橋税共有牧夫維持税ノ如キ是ナリ然レ

トモ特別税ハ佛國ニ於テハ例外ト云フヲ得ヘキモ英國ニ於テハ通規ナルカ
 如シ

然ルニ二三十年以來英國ノ税法ハ大ニ其面目ヲ改メ今日ニアリテハ特別税
 ノ法モ其名目ノミニシテ其實少ナシ元來租税ヲ特別ニスルノ功能ハ被税者
 ヲシテ其徵收セラレ所ノ金錢ノ使途ヲ明知セシムルニアリ加之ナラス或ハ
 云フ甲科目ノ金額ヲ乙ノ科目ニ移シ之ヲ流用スルヲ妨ケ濫費ヲ防クヘク又
 監督ヲシテ容易ナラシムヘシト是等ノ功能アルニ拘ハラズ特別税ノ制ハ今
 日殆ト廢セラレ若シ此制ヲシテ實功アラシメント欲セハ各特別税ノ賦課ヲ
 區分シ被税者ニ課スルニ各々其點火掃除下水警察ニ就テ受クヘキ利益ノ割
 合ニ應シテ點火税掃除税下水税警察税等ヲ以テセサルヘカラス此ノ如クス
 ル時ハ取扱ヲシテ非常ニ繞密ナラシメ地方ノ財政法ヲシテ殆ト解スヘカラ
 サルニ至ラシムヘシ英國人民ハ能ク之ヲ知り救貧税ヲ擇テ以テ地方税ノ基
 礎トナシ尙ホ佛國ノ四直税ニ於ルカ如ク一切他ノ地方税ヲ以テ救貧税ニ附
 加セリ

或ル附加税ノ收入ヲ以テ特定ノ費途ニ宛ルハ佛國ニ於テモ之ヲ行ハサルニ
 アラス則チ地租取調費、野守給與費、取引所及商法會議所ノ設立及維持費、村道
 費、小學校費ノ爲メ特別ニ賦課スル所ノ副税是ナリ此ノ如ク基金ノ使途ヲ特
 定シ某々ノ事務ニ使用スヘキ者トシテ副税ヲ徵課スルハ良法ト云フヘシ然
 ルニ費途ヲ特定シテ租税ヲ徵收スルハ要用ナルモ其租税ノ性質及賦課ヲ特
 別ニスルコト即チ都テ是等ノ地方直税ヲシテ互ニ相連係スル所ナク又諸財產
 負擔ノ比例相同シカラサル所ノ者タラシムルコトハ無用ノ贅法ニシテ且ツ嫌
 厭スヘキモノトス

佛國ノ地方副税ハ均ク四箇ノ直税ニ附加スルニアラス千八百三十八年ノ法
 律ニ於テ特ニ定メラレタル如キ一般縣費ノ爲メニ諸縣ニ於テ徵課スル所ノ
 通常副税(サンチーム、オルヂ子ール)專用副税(サンチーム、フハキユルタチーフ)
 ト稱スル副税ハ獨リ地租及分頭及動産税ニ附加ス特別副税(サンチーム、スベ
 シオー)即チ某事務ノ發達ノ爲メニ定法ニ據テ徵課スル所ノ副税ハ又別ニ賦
 課ノ法アリ故ニ小學校費、村道費ノ爲メニ徵課スル所ノ副税ハ地租若クハ分

頭及動産税ニ及フノミナラス又門窓税及營業税ニ及フモノニシテ悉ク四箇
 ノ直税ニ附加ス非常副税(サンチーム、エキストラオルヂ子ール)モ亦均ク四直
 税ニ附加ス千八百六十六年ノ縣會ニ關スル法律ハ此主義ヲ擴張シ都テ通常
 副税若クハ非常副税ハ悉ク四直税ニ附加スヘキモノトセリ斯ノ如クシテ立
 法官ハ動産及營業ヲシテ一層縣費ヲ負擔セシメント謀レリ千八百七十四
 年度ノ收入決算ニ據レハ縣費ノ副税ハ平均地租ニ五十一(サンチーム)門窓税
 ニ二十六(サンチーム)營業税ニ二十七(サンチーム)ナリ分頭及動産税ニ附加ス
 ル者ハ殆ト地租ニ同シ

斯ノ如ク縣費ノ爲メニ副税ヲ附加スル者ハ地租ヲ以テ最トナス或ハ云ン縣
 費ノ一大部ヲ占ムル所ノ土木事業ハ殊ニ農ヲ利スルヲ以テ地租ノ附加ヲ重
 フスルハ當然ナリト是レ多少其實ナキニアラスト雖モ縣費ヲ使用スルハ專
 ラ公益ノ土木ニ止マラス故ニ千八百六十六年ノ法律ヲ以テ營業税ニ附加ス
 ルニ通常副税若クハ非常副税ヲ以テシ工業家及商業家ノ負擔ヲ加ヘタルハ
 宜キヲ得タル者ト云フヘシ

市邑費ノ爲メニ附加スル所ノ副稅ハ殆ト縣費ノ爲メニスル者ト相均ク其通
 常副稅ハ獨リ地租及分頭及動產稅ニ附加シテ營業稅ノ一「フランク」毎ニ
 八「サンチーム」ヲ扣除シテ市邑費ニ供スルヲ得セシム之ニ反シテ非常副稅ハ
 悉ク四直稅ニ附加シ特別副稅即チ或ル法律ニ據テ一定ノ事務例ヘハ村道小
 學校ノ如キ費用ニ供スヘキ所ノ副稅ハ亦多ク此ニ同シ之ヲ約言スレハ市邑
 ニ於テモ尙ホ縣ニ於ルカ如ク地租及分頭及動產稅ニ副稅ヲ附加スルイ他ノ
 二直稅ヨリ大ナリトス千八百七十四年市邑費ノ爲メ佛國ニ於テ副稅ヲ附加
 シタルハ平均地租及動產ニハ各々四十一「サンチーム」門窓稅ニ三十六「サンチ
 ーム」營業稅ニハ僅ニ三十一「サンチーム」ナリ右ノ組織ハ其性質ニ於テハ不可
 ナル所ナシト云フヘシ如何トナレハ佛國ノ直稅中主義ノ最良ナルハ地租及
 動產稅即チ家賃稅ナルヲ以テナリ不幸ニシテ余輩カ前篇ニ論究シタル如ク
 此二稅ノ賦課甚タ其宜キヲ得ス若シ期限ヲ定メテ地租原簿ノ算定ヲ改正シ
 五年若クハ十年毎ニ家賃價格ノ修正ヲ行ヒ副稅ヲ課スル所ノ基礎稍新タナ
 レハ地方稅ノ賦課ニ於テ敢テ非難スル所ナカルヘシ然ルニ地租原簿ノ算定

ハ一定シテ動カス家屋ノ家賃價格ハ定期ノ修正ヲ行ハス之ヲ以テ其日ニ増
 加スル所ノ縣及市邑ノ副稅ハ益其不正平ヲ加フ近年佛國政府ハ意ヲ國家直
 稅ノ基礎ノ改正ニ注カス以爲ラク其弊害極マルニ至ラハ縣會ハ各地方ニ於
 テ自ラ地租原簿ノ改正ヲ謀ルニ至ルヘシト之ヲ地方ノ所爲ニ委放セリ然ト
 雖モ中央政府已ニ斯ノ如シ何ヲ以テ地方議會ハ獨リ銳意改正ノ發議ヲナス
 ノ理アラシヤ凡ソ佛國ノ如キ風習民俗ノ國ニ於テハ國稅地方稅共ニ租稅ノ
 改正若クハ改良ノ發議ヲナスハ中央政府ニアリ英國ノ如ク古來國民自治ノ
 國ニ於テハ地方稅ノ弊害ヲ矯正セント欲スレハ國民自ラ進ンテ之ヲ中央政
 府即チ細言スレハ國會ニ建議ス英國ノ國會ハ未タ嘗テ此論題ニ就テ處スル
 所ナシト雖モ其開會ノ時ニ於テハ毎ニ之カ說ヲナスモノアリ
 佛國ノ副稅ハ常ニ増加シテ其止ル所ヲ知ラス而シテ其額ノ如キハ各縣各市
 邑之ヲ異ニス千八百七十四年度ノ收入決算ニ據レハ副稅ノ割合ハ平均地租
 ニ九十四「サンチーム」分頭及動產稅ニ百十三「サンチーム」門窓稅ニ八十二「サン
 チーム」營業稅ニ百二十一「サンチーム」ナリ尤モ右ノ副稅中央政府ニ收入スル